2-649-402-01(1)

SONY

DVDレコーダー

RDR-HX92W
RDR-HX82W

スゴ録
DVDレコーダー

スゴ録はここが便利！

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/
「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター
● ナビダイヤル*…………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
● FAX…………………………………0466-31-2595
受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし，内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。
1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Malaysia

2-649-402-01 (1)

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は全て、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

3～4ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。88～89ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら

❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

指のケガに注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

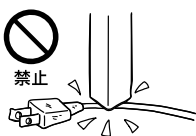
感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

➡万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

➡万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。

➡内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴り出したら、本体や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。また、コンセントの定格を超えて使用しないでください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上、

または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

大音量で長時間続けて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、

聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。

➡呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、

製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

トレイの前に物を置かない

ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。

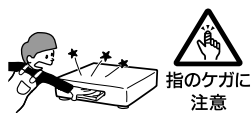
本体の前に物を置かないでください。

⚠注意

電池についての安全上のご注意

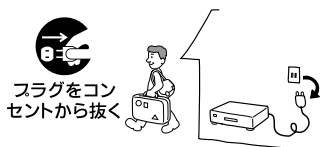
液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

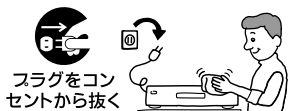
幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

コード類は正しく配置する

電源コードやAVケーブルは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

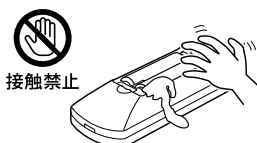
電源プラグを差し込んだまま、お手入れをすると、感電の原因となることがあります。

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

⚠警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけがが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

➡液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

➡液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

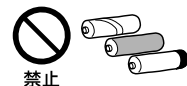
➡万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

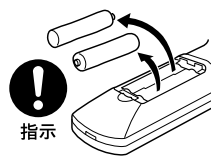
電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡マンガン電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

リモコンのフタを開けて使用しない

リモコンのフタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。

➡マンガン電池を使用し、フタを閉めて使用してください。

目次

次のページにつづく⇨

録画・予約する

見る

消去・編集する

ディスクに残そう

他機で見るなら

ダビングする

他機から録画する

設定

その他

スゴ録の使いかた

大容量ハードディスク(HDD)に、見たい番組をしっかりたっぷりデジタル録画、賢く自動で録れる「スゴ録」。ビデオとは違う、新しい楽しみが広がります。以下は代表的な使いかたの例です。

まず、番組表(EPG)を正しく受信します！

番組表を表示するには、放送局から送られる番組表データを正しく受信する必要があります。
初めて番組表を受信するまでに1日程度かかります。接続と準備1 ~ 6(13 ~ 22ページ)の後、電源を切った状態でお待ちください。
正しく受信できるか確認するには、27ページをご覧ください。

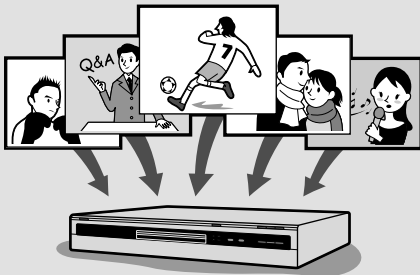
録画・予約する

● **電子番組表**(EPG)で、かんたん録画(40ページ)。

→ 画面上の番組表(チャンネル別/時刻別/ジャンル別)から録画したい番組を選ぶだけで予約完了です。

さらに「スゴ録」なら…

- 気になる番組をHDDにどんどん自動録画☞**おまかせ・まる録**(42ページ)
- ダブルチューナーで録画したい番組が重なっても大丈夫☞**2番組同時録画**(46ページ)
- スポーツ番組の延長で放送時間が変わっても逃さず録画☞**スポーツ延長対応**(48ページ)
- ドラマの最終回など拡大版の番組も最後までしっかり録画☞**番組追跡録画**(48ページ)

スポーツ延長機能、番組追跡録画も2番組同時録画に対応しています。

ビデオテープとは、ココが違う！

テープの交換やテープの残量を気にせずに録れます。自動的にディスクの空き部分に録画されるので、録画済みの番組を消してしまう心配もありません。

見る

● 見たい番組(タイトル)を一覧表示(**タイトルリスト**)からすばやく再生(54ページ)。

→ 再生したい番組をラクラクすばやく選べます。

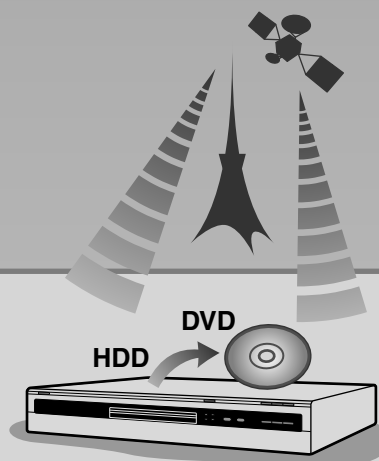
さらに「スゴ録」なら…

- 録画しながら他の録画済み番組を再生☞**同時録画再生**(57ページ)
- 録画中の番組でも、終了を待たずに頭から再生☞**追いかけ再生**(57ページ)
- 見たいシーンをすばやく見つけて再生☞**ビジュアルサーチ**(56ページ)

ビデオテープとは、ココが違う！

録ったテープを1本ずつ確かめたり、見たい番組を探すのに早送りや巻戻しなどをする必要がありません。

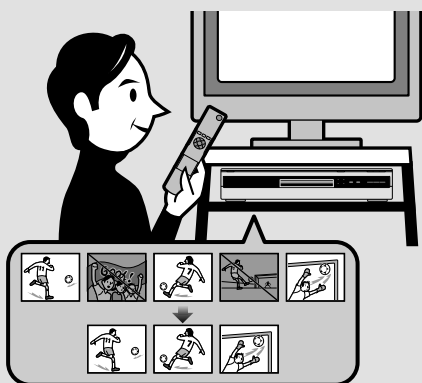
HDDにどんどん録画してDVDにダビング！

DVDに直接録画することもできます。
DVDに録画/ダビングするときは、「使えるディスク」(51ページ)をご覧ください。

消去・編集する

● 見終わったタイトルは、一覧からラクラク一発消去(62ページ)。

→ HDDに録画できる空き容量が増えます。消したくないタイトルは、保護もできます。

さらに「スゴ録」なら…

- 不要なシーンをサクサク消去☞**チャプター選択消去**(64ページ)
- 大切なオリジナルの映像はそのまま、納得いくまで編集☞**プレイリスト**(65ページ)

ビデオテープとは、ココが違う！

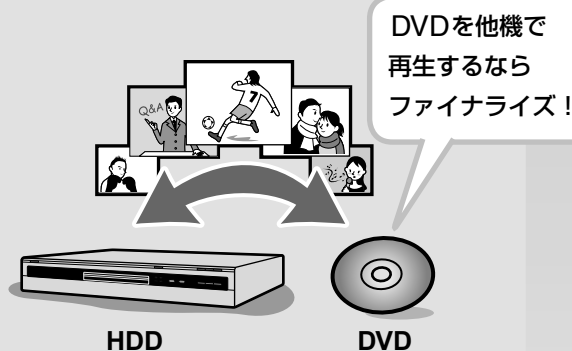
テープのように誤って上書きしたり、録画機と再生機を用意したりする必要がありません。

ダビングする

● 残しておきたいHDDのタイトルを、最大約64倍速でDVDへ保存(**高速ダビング**)(68ページ)。

● DVDを他のプレーヤーでも再生するには**ファイナライズ**(71ページ)。

さらに「スゴ録」なら…

- デジタルビデオカメラで撮影した映像を取り込んで、DVDへ保存☞**DVダビング**(73ページ)

DVDではここが肝心！

- DVDにはいくつかの種類があり、できることが異なります(70ページ)。
- 他機で再生するためには、互換性のためにファイナライズが必要になるディスクもあります(71ページ)。

ビデオテープとは、ココが違う！

デジタルならではの画質の劣化を抑えた高速ダビングが可能です。DVDに保存すれば、ライブラリーも省スペースです。

メニューのしくみ

スゴ録は、機能やできる操作の一覧（メニュー）をテレビ画面に表示して、その中からしたいことを選ぶことで、かんたんに操作できます。

システムメニューの操作

システムメニューはスゴ録のさまざまな機能の入り口です。以下のように、メニューからそれぞれの画面へ進みます。

↑↓で選び、決定

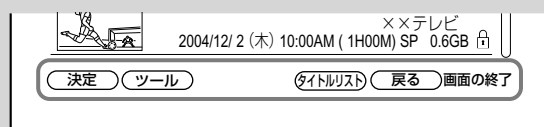
（例：タイトルリスト）

システムメニュー項目

- **タイトルリスト（54ページ）**
  録画した番組（タイトル）の一覧です。
- **番組表（34ページ）**
  テレビ番組の一覧です。
- **予約リスト（46ページ）**
  録画予約している番組の一覧です。
- **おまかせ･まる録（42ページ）**
  自動録画（おまかせ･まる録）の候補になっている番組の一覧です。
- **DV編集（74ページ）**
  DV/Digital8方式のテープの内容を取り込むときに使います。
- **ダビング（68ページ）**
  HDDとDVDの間でダビングを行うときに使います。
- **セットアップ（76ページ）**
  音声や映像など、スゴ録のさまざまな設定項目の一覧です。

システムメニュー画面を消すには

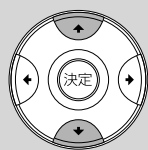
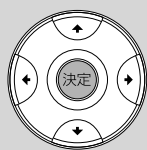
戻るボタンを押します。

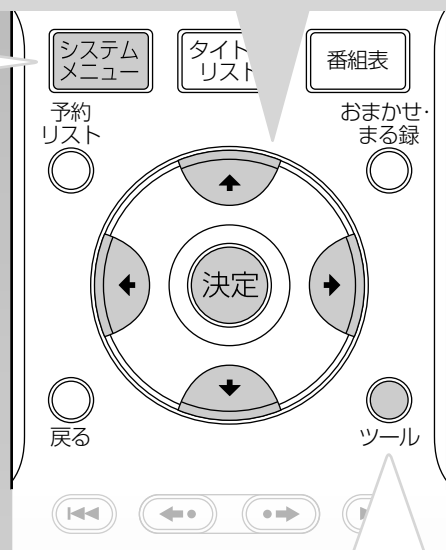
操作ガイドの表示

メニュー画面などの下方に、そのとき使える主なボタンが表示されます。

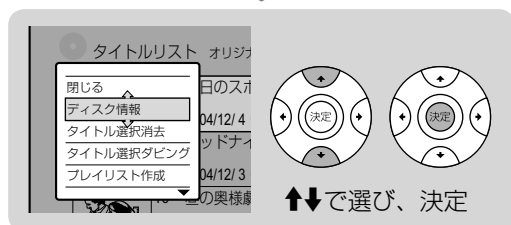
戻るボタンを押すと

前の画面に戻ったり、表示されているメニューを消したりできます。

メニューを操作するボタンはココ！

↑↓でメニューから項目を選び、決定ボタンで決定します。

 で選び、 で決定

本書では上記の操作を「～を選ぶ」、「～を選び、決定する」と記載します。

ツールの操作

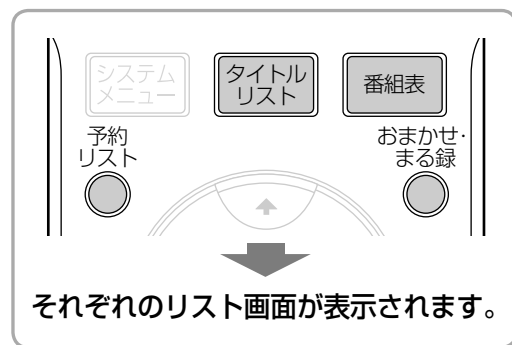
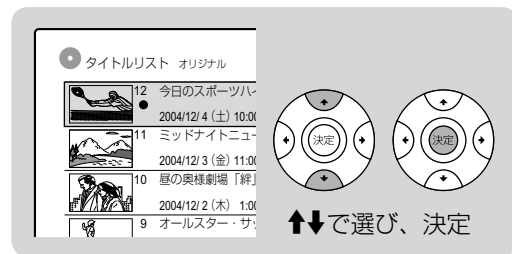
ツールは、状況に応じてそのときできることが表示される便利なメニューです。各種リスト画面を表示中のほか、録画中や再生中にも使えます。

ツールから選んだ操作が実行されます。

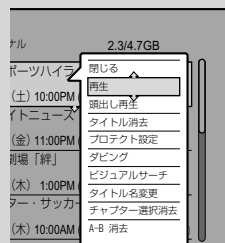
ツールを消すには

もう一度ツールを押すか、ツールの項目から「閉じる」を選びます。

いろいろな画面をボタンで直接表示

タイトルリストや番組表、予約リスト、おまかせ・まる録画面がボタン1つで表示できます。

それぞれのリスト画面が表示されます。

（例：タイトルリスト）

サブメニュー

タイトルリストや番組表、予約リストなどで選んでいる番組について、今操作できる項目が表示されます。

サブメニューから選んだ操作が実行されます。

重要なご注意

内蔵ハードディスクについての重要なお願い

ハードディスクは記録密度が高いため、長時間録画やすばやい頭出し再生を楽しめます。その反面、ほこりや衝撃、振動に弱く、磁気を帯びた物に近い場所での使用は避ける必要があります。大切なデータを失わないよう、次の点にご注意ください。

- 本機に振動、衝撃を与えない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- ビデオやアンプなど熱源となる機器の上に置かない。
- 急激な温度変化(1時間に10℃以上の変化)のある場所では使用しない。結露(露つき)の原因となります(89ページ)。
- 電源プラグをコンセントにさしたまま本機を動かさない。移動するときは、コンセントから電源プラグを抜いて1分間待ってから、振動、衝撃を与えずに行う。
- 電源が入っているときに、電源プラグをコンセントから抜かない。抜くときは、電源を切ってハードディスクが動作していないこと(表示窓に時計が表示され、録画状態、ダビング状態でないこと)を確認後、行う。
- 故障の原因となるため、お客様自身でハードディスクの交換や増設をしない。

ハードディスクが故障した場合、データは修復できません。ハードディスクは性質上、長期的な記録場所として適していないため、一時的な記録場所としてご利用ください。

内蔵ハードディスクの修理について

- 修理や点検の際、不具合症状の発生や改善などを確認するために、必要最小限の範囲でハードディスク上のデータを確認することがあります。ただし、タイトルなどのファイルを弊社で複製や保存することはありません。
- ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合は、弊社の判断で初期化を行わせていただきます。ハードディスクの記録内容が全消去されることを、ご了承ください(著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含みます)。

設置場所について

本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用したりしないでください。水がかかると故障の原因になります。

起動/終了にかかる時間について

本機はシステム全体の最適化を図るため、電源ボタンを押してから実際に起動するまでと、逆に実際に電源が切れるまで、しばらく時間がかかります。
電源が切れる前やハードディスクの動作中に、コンセントから電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

録画について

- 本機で録画したVRモードのDVD-RWおよびDVD-Rは、それぞれVRモードのDVD-RWおよびDVD-Rに対応したDVD機器でのみ再生可能です。通常のDVDプレーヤーでは再生できません。
- 大切な録画の場合には、DVD+RとDVD-R以外のディスクやハードディスクで、必ず事前にためし録りを行い、正常に録画･録音されるか確認してください。

録画内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で記録ができなかった場合や、不具合･修理など何らかの原因で記録内容が破損･消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償及びそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製等はいたしません。あらかじめご了承ください。

著作権について

- あなたが本機で録画･録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は、録画防止機能(コピーガード)を搭載しており、著作者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画できません。
- 本機は、無許諾のDVD(海賊版等)の再生を制限する機能を搭載しており、このようなDVDを再生できません。
- 本機は、接続するテレビの画面に合わせて画郭サイズを選ぶモードがあります。設定項目によってはオリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、本機の設定をお選びください。本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画郭表示機能を利用して再生などを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。

私的録画補償金の問い合わせ先
〒107-0052
東京都港区赤坂5丁目4番6号赤坂三辻ビル2F
社団法人　私的録画補償金管理協会
TEL: 03-3560-3107(代) / FAX: 03-5570-2560

コピー防止信号について

別売チューナーで受信した番組に、コピー防止信号が含まれている場合、録画できないことがあります。ご注意ください。

残像現象(画像の焼きつき)のご注意

本機のメニュー画面やDVDのメニューなどの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。残像現象(画像の焼きつき)を起こす場合があります。特に、プラズマディスプレイパネルテレビや液晶テレビなどは、残像現象が起こりやすいため、ご注意ください。

DVDレコーダーは、コンセントの近くで使用してください。
本機を使用中、変な音やにおい、煙が出たときはすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。

本書の読みかた

- 取扱説明書（本書）では、RDR-HX92WおよびRDR-HX82Wの2機種について説明しています。機種ごとの違いは文章内に記載しています。
- 本書で使われているイラストは、RDR-HX92Wのものです。本書で使われている画面イラストと、実際に表示される画面は異なることがあります。
- 本書でのDVDについての説明は、本機で録画したDVDに対応しています。他機で録画したDVDを本機で再生しても、説明が当てはまらないことがあります。
- 本機および本書では、1GBを10億バイトとして表示しています。

マークの見かた

本機では以下のディスクが使えます。ディスクによってできることが異なるため、本書内ではマークによって区別しています。
本機で使えるディスクについて詳しくは、「使えるディスク」（51ページ）をご覧ください。

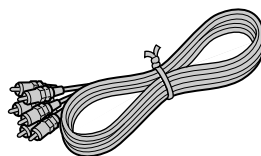
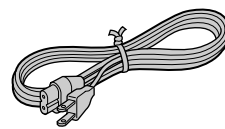
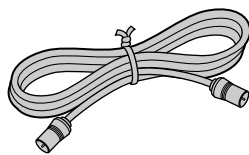
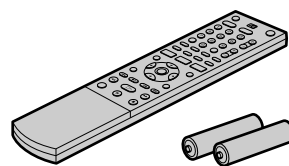
ディスクの種類	本書内のマーク
ハードディスク（本機内蔵）	HDD
DVD+RW	+RW
DVD-RW	-RWVR -RWVideo
DVD+R	+R
DVD-R	-RVR -RVideo
DVDビデオ	DVD
ビデオCD/スーパー VCD	VCD/SVCD
音楽CD	CD
データCD*	DATA CD
データDVD**	DATA DVD

* MP3音声またはJPEG画像が記録されたCD-ROM、CD-RW、CD-R
** JPEG画像が記録されたDVD-ROM、DVD+RW、DVD-RW、DVD+R、DVD-R

接続と準備

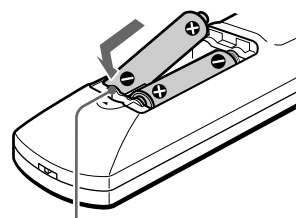
準備1

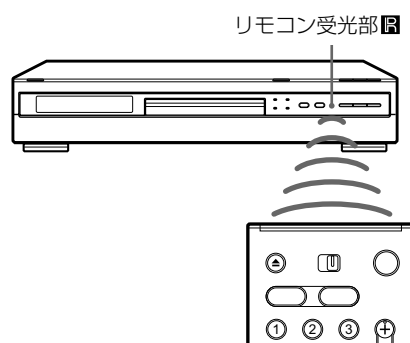
付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品が揃っているか確かめてください。

映像･音声コード（1本）

電源コード（1本）

VHF/UHF用
アンテナ接続ケーブル（1本）

リモコン（1個）と
単3形（R6）乾電池（2本）

取扱説明書（本書）
保証書
ソニーご相談窓口のご案内
（各1部）

→ リモコンに電池を入れる

⊕と⊖を正しい向きで、付属の単3形（R6）乾電池（2本）を入れてください。

必ず⊖側から入れてください。

リモコンは本体のリモコン受光部🅁に向けて操作します。

ご注意

- リモコン受光部🅁に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。操作できないことがあります。

接続と準備

準備 2

アンテナをつなぐ

ご自宅でお使いのアンテナ線の種類に合わせて接続してください。該当しないときは、お客様ご相談センターに、お問い合わせください(裏表紙)。

⚠注意

電源コードは必ず、全ての接続が終わってから接続してください。

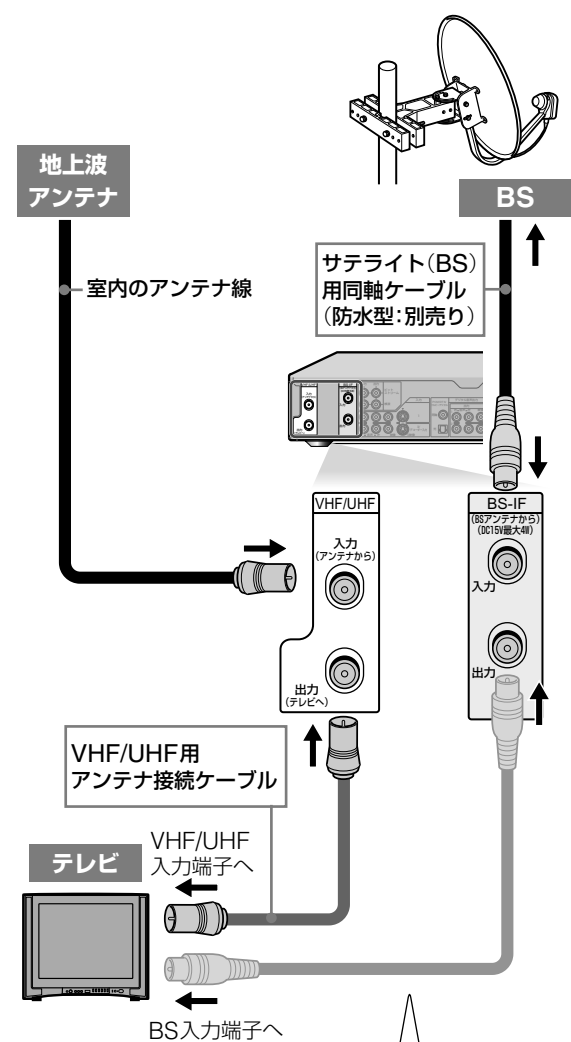
⚠警告

BS-IF入力端子には、必ず専用のケーブルで接続してください。

BS-IF入力端子からはBSコンバーター用の電源が供給されるため、サテライト(BS)用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの事故の原因となります。

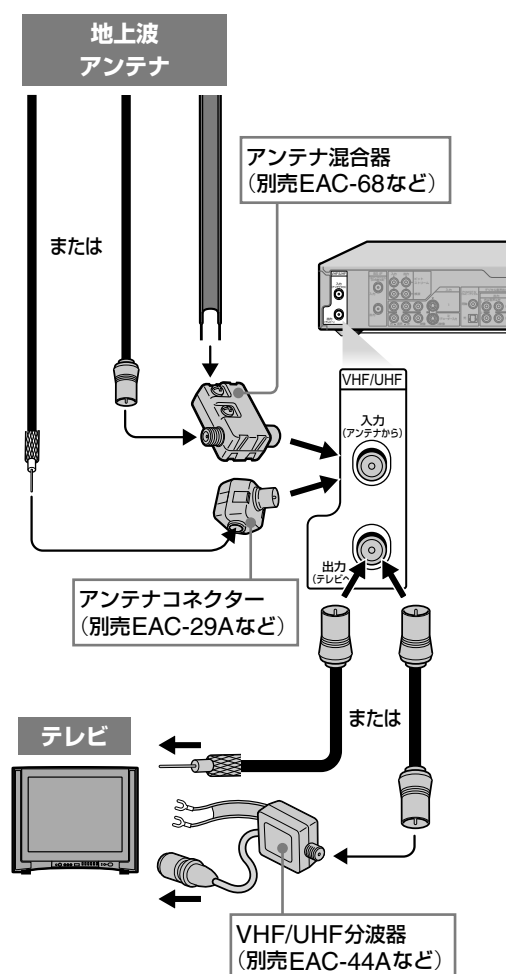
推奨ケーブル

- **室内用** EAC-DS15SS/DS30SS/DS50SSなど

同軸ケーブルアンテナとBSアンテナを接続するとき

テレビがBSチューナー内蔵のとき

サテライト(BS)用同軸ケーブル(室内用:別売り)で接続すると、テレビのBSチューナーも使えます。

フィーダー線や同軸ケーブルのとき

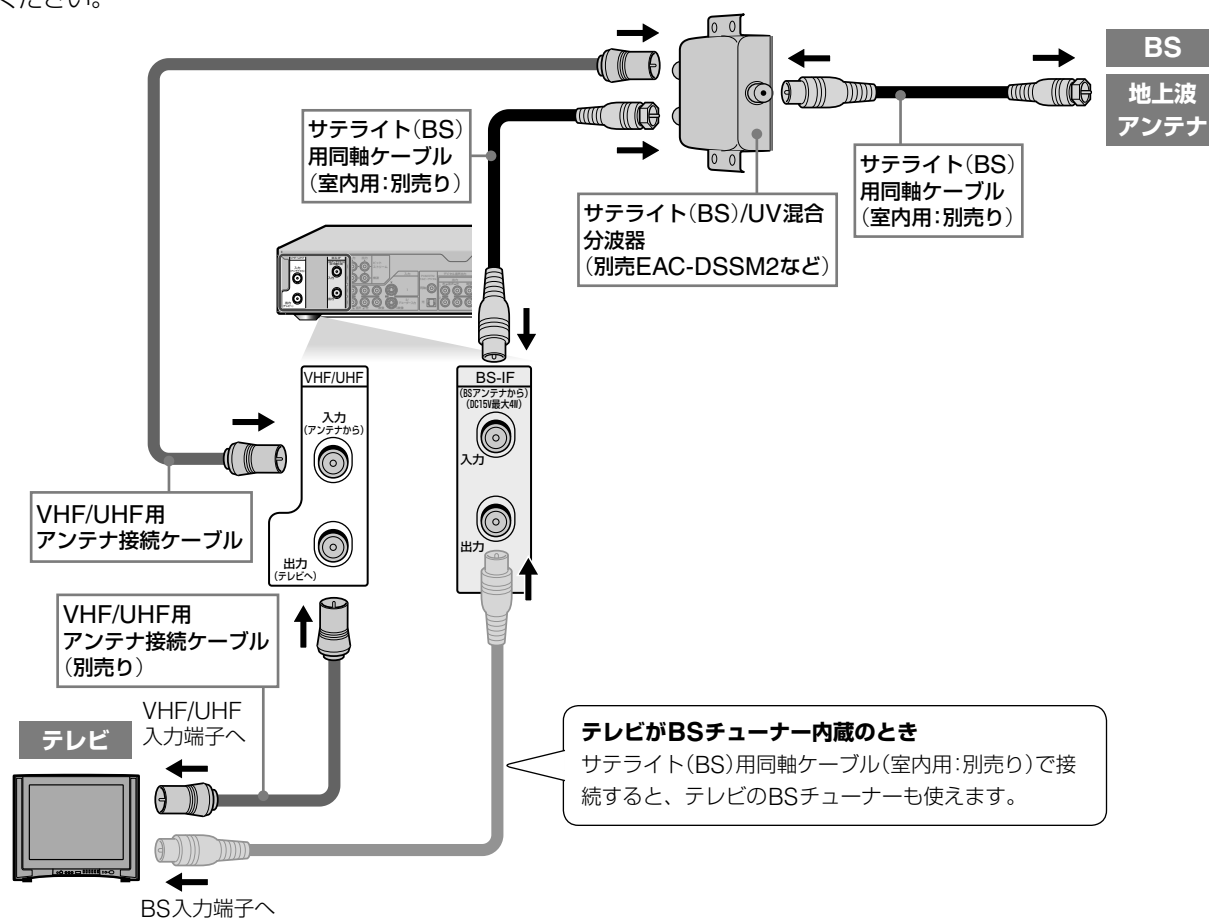
室内のアンテナ線の形状に合わせて接続してください。

ちょっと一言

- 電波が弱く画面にチラつきや斜めじまが入るときは、別売りのアンテナブースターを本機とアンテナの間に接続してください。
- BS放送の受信電波が弱くノイズが出るときは、市販のサテライト(BS)ブースターを本機と壁のVHF/UHF/BS端子の間に接続してください。
- マンションなどの共同受信システムで、BS放送のアンテナレベルが低いときは、サテライトブースターを接続するなど、信号の流れを見直す必要があります。マンション管理会社、管理人、管理組合などに確認してください。
- 本機では、BSデジタル放送と地上デジタル放送を受信できません。

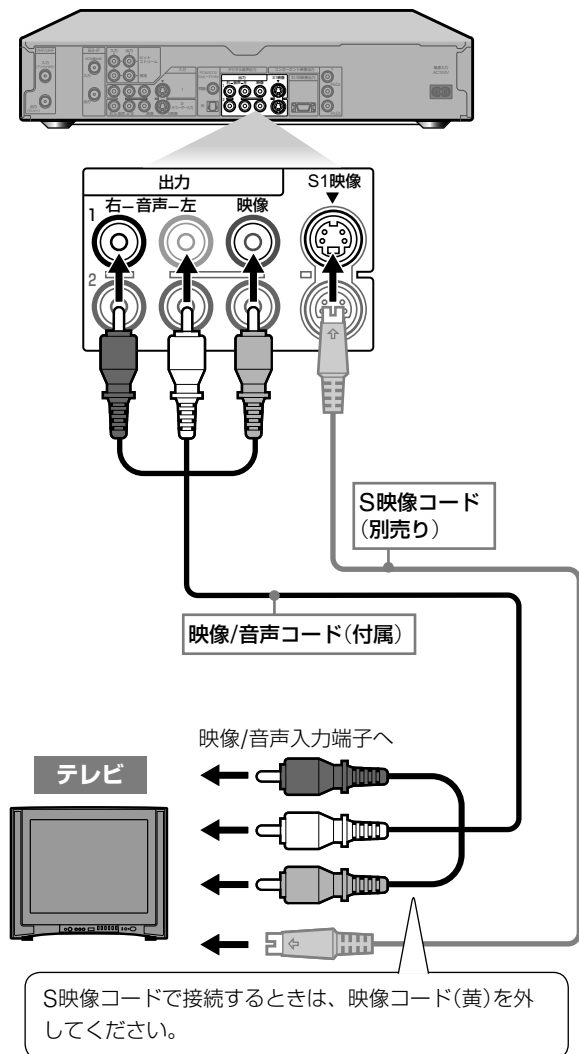
ご注意

- 画像の乱れを防ぐため、以下の点にご注意ください。
  - 本機の上にテレビを直接置かない。
  - アンテナ線はなるべく短くし、本機から離す。特にフィーダー線は雑音電波などの影響を受けやすいため、できる限り離す。
- 次のようなときはBS放送受信に支障をきたすことがありますが、故障ではありません。
  - お住まいの地域またはBS放送を送信する放送衛星会社(45ページ)のある地域が雷雨、強風などの悪天候のとき
  - BSアンテナにゴミや雪が付着しているとき
  - 強風などでアンテナの向きが変わったとき(BSアンテナの向きを調整してください。77ページ)
- 本書記載の別売アクセサリーは、2005年2月現在のものです。万一、品切れや生産完了の際はご容赦ください。

VHF/UHF/BSが混合のとき

BS放送と地上波放送を分波して、本機に接続してください。また、マンションなどの共同受信システムの場合、「かんたん設定」の「アンテナ電源」(22ページ)と、テレビ側のコンバーター用電源を両方とも「切」にしてください。

準備 3

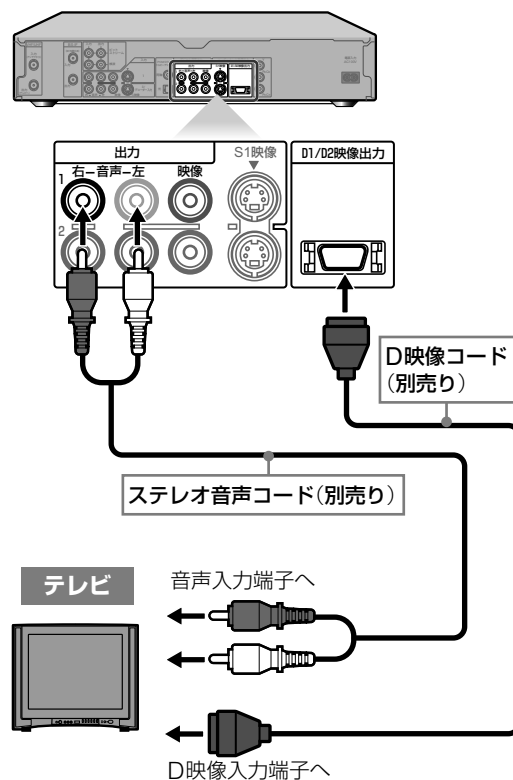
テレビやモニターをつなぐ

以下のように付属の映像･音声コードで接続すれば、すぐにスゴ録の映像が楽しめます。S映像コード(別売り)を使うと、よりきれいな映像が楽しめます。
さらにきれいな映像を楽しむには、右記をご覧ください。

より高画質な映像を楽しむには

次のいずれかの方法で接続すると、プログレッシブ映像信号(55ページ)を出力できます。質問に左から順に答えて、接続方法を選んでください。

テレビにD映像入力端子がありますか?

はい　　いいえ

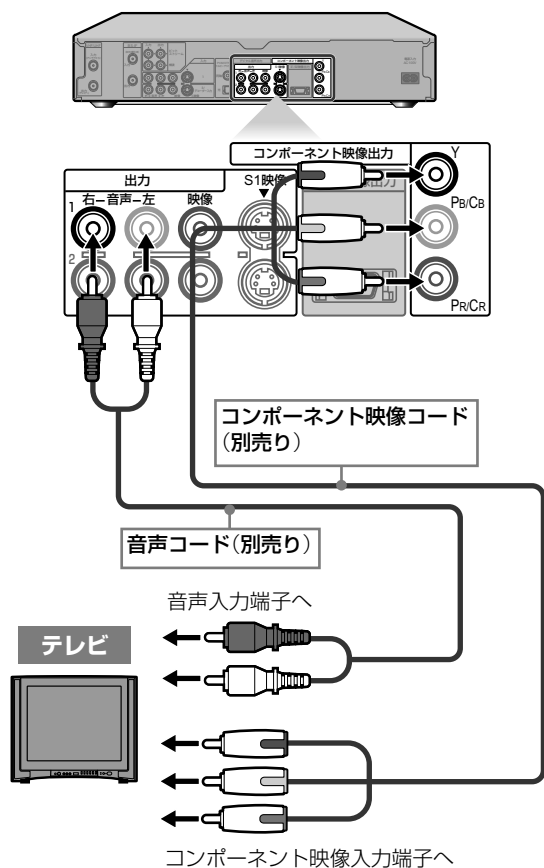
A D映像コード(別売り)1本で、コンポーネント映像を出力できます。輝度(Y)、色差(P_B/C_B, P_R/C_R)信号が独立して出力されるので、映像本来の色を忠実に再現します。

ちょっと一言

- モノラル音声テレビにつなぐときは、ステレオ･モノラル変換コード（別売り）を使ってください。

ご注意

- ハイビジョン専用コンポーネントビデオ入力（Y/P_B/P_R）には対応していません。

テレビのコンポーネント映像入力端子に接続します。

B コンポーネント映像コード（別売り）で、コンポーネント映像を出力できます。輝度（Y）、色差（P_B/C_B, P_R/C_R）信号が独立して出力されるので、映像本来の色を忠実に再現します。

ちょっと一言

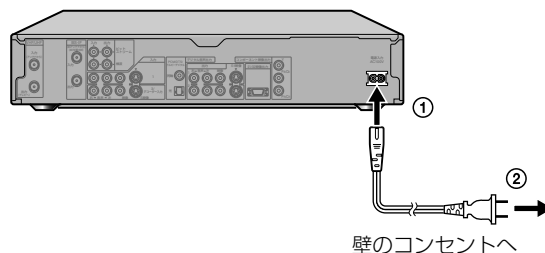
- コンポーネント映像コードの代りに、同じ種類の映像コード3本（別売り）でも接続できます。

電源コードをつなぐ

電源コードは必ず、すべての接続が終わってからつないでください（テレビ以外の機器を接続する場合、［準備**4**］、［準備**5**］が終わってから電源コードを接続してください）。下図の①②の順につなぎます。

電源コードをつないだらそのまましばらく（数10秒）お待ちください。

時計が表示窓に点灯したら、本機を操作することができます。

準備 4

別売りのチューナーやデコーダーをつなぐ

ケーブルテレビ(CATV)・BS/CSチューナーやBSデコーダーを本機の映像・音声入力端子に接続すると、それらの機器からの映像も録画できます。接続しない場合は［準備5］へ進んでください(20ページ)。

番組予約機能を持つCATV/CS/BSチューナーに連動して予約録画ができます(シンクロ録画 72ページ)。この場合は、チューナーを必ず入力1端子に接続してください。その他の入力端子はシンクロ録画に対応していません。

ケーブルテレビ(CATV)チューナーを接続する

CATVを録画できます。CATVチューナーの取扱説明書も併せてご覧ください。CATVについて詳しくは、ご契約のCATV局にお問い合わせください。

デジタルテレビ/デジタルチューナーを接続する

地上デジタルやBSデジタルなど、別売りのテレビやチューナーで受信する番組を録画できます。デジタルCS放送の受信には、専門放送局との受信契約が必要です。接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

CATVを録画するには

① CATVチューナーで、録画したいチャンネルを選びます。
② 本機のチャンネル+/−ボタンを押して、チューナーを接続した入力(「L1」、「L2」、「L3」)に切り換えます。
③ 本機で録画の操作を行います。

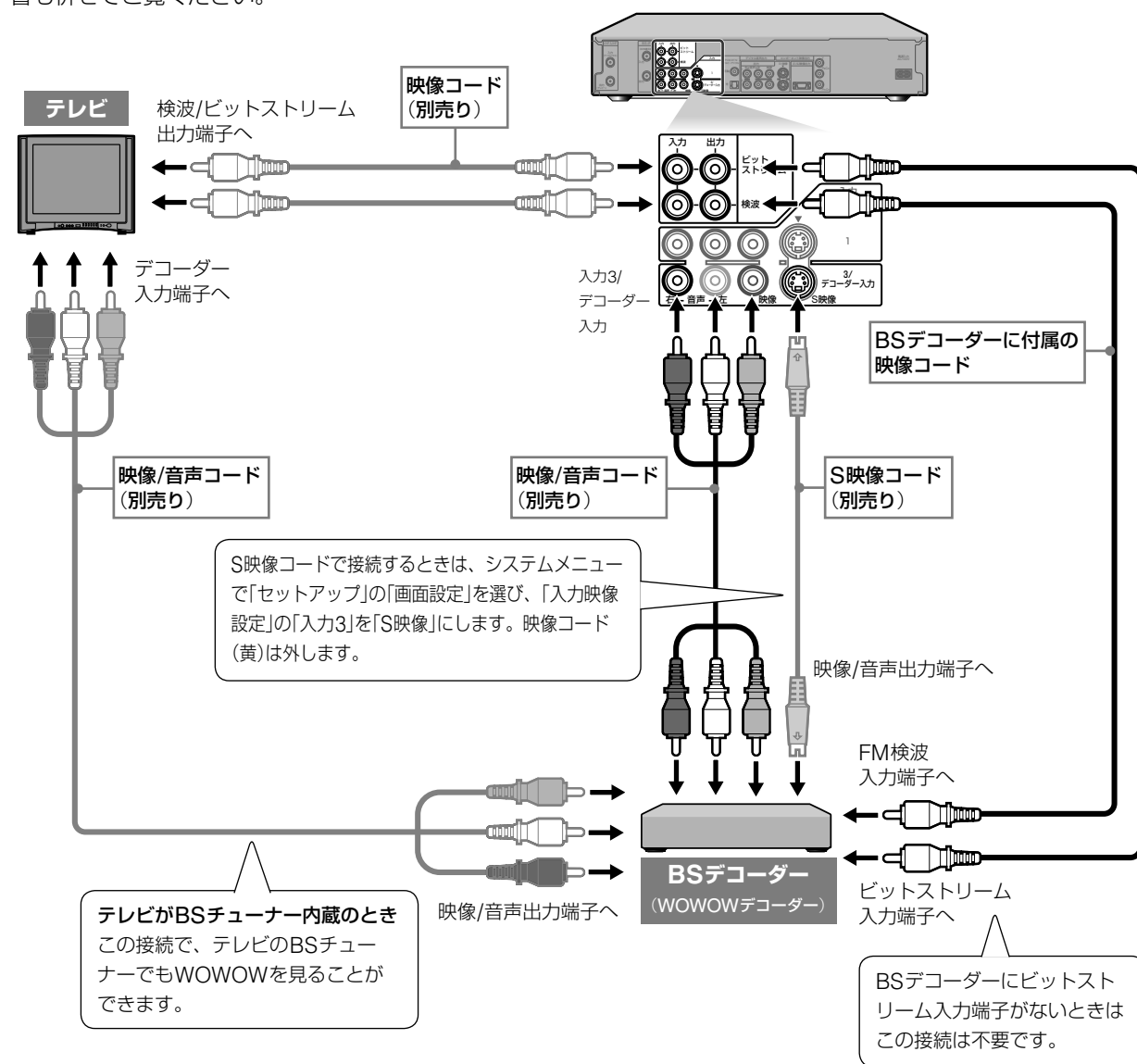
BSデジタルやデジタルCSの映像が乱れるときは

本機の録画防止機能(コピーガード)が働いている可能性があります。この場合、チューナーを直接テレビに接続してください。

ご注意

- 本機は525i（480i）の標準テレビ放送信号で出力された映像を録画します。ハイビジョン信号は録画できません。
- 本機のみでBSデジタルWOWOW放送の受信はできません。
- 本機はMUSEデコーダーと接続できません。

アナログBSデコーダー（WOWOW）をつなぐ

WOWOWと受信契約し、送られてくるBSデコーダーを接続します。同時にBSアンテナも接続してください（14、15ページ）。また、BSデコーダーの取扱説明書も併せてご覧ください。

BSデコーダーにビットストリーム入力端子がないときは

「セットアップ」の「基本設定」から「BS設定」で「チャンネル設定」を選び、表示チャンネル「BS5」を「デコーダー」に設定します（77ページ）。

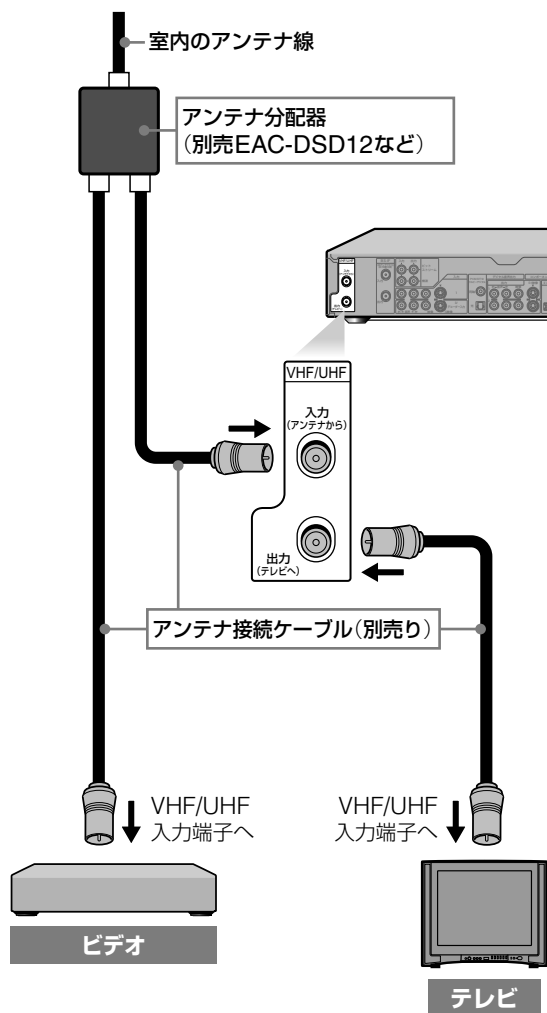
準備 5

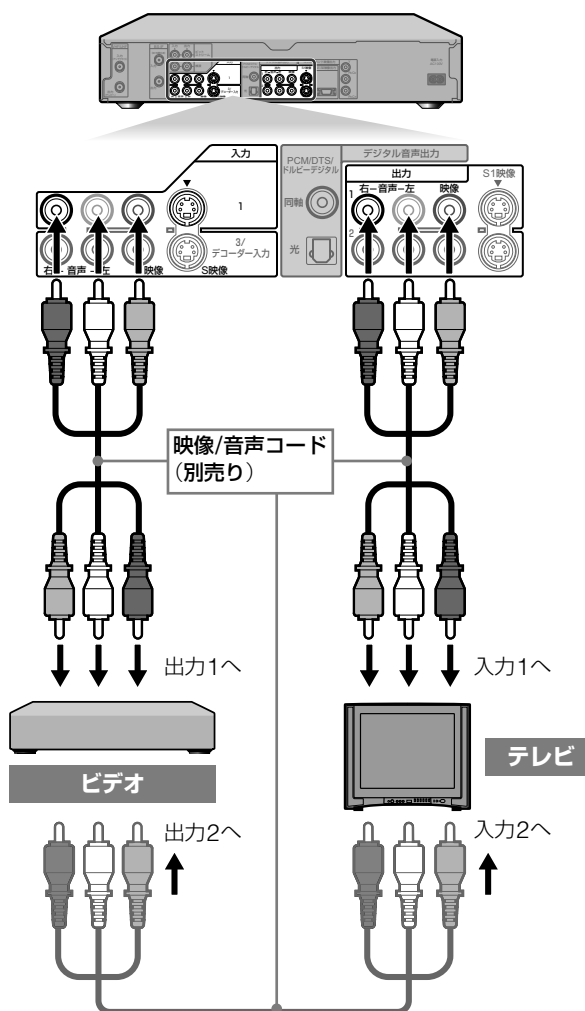
ビデオやAVアンプをつなぐ

ビデオやAVアンプ、ビデオカメラなどを接続します。接続しない場合は[準備6]へ進んでください(22ページ)。

ビデオをつなぐ

アンテナをつなぐ

ビデオでも番組を録画したいときは、アンテナ分配器(別売り)でビデオにもアンテナを接続します。

音声映像コードをつなぐ

本機でビデオからの映像を録画したいときは、ビデオの映像/音声出力端子と本機の映像/音声入力端子を接続します。

ご注意

- ビデオデッキなどの映像記録機器を経由してつなぐと、メニュー画面や映像が乱れることがあります。

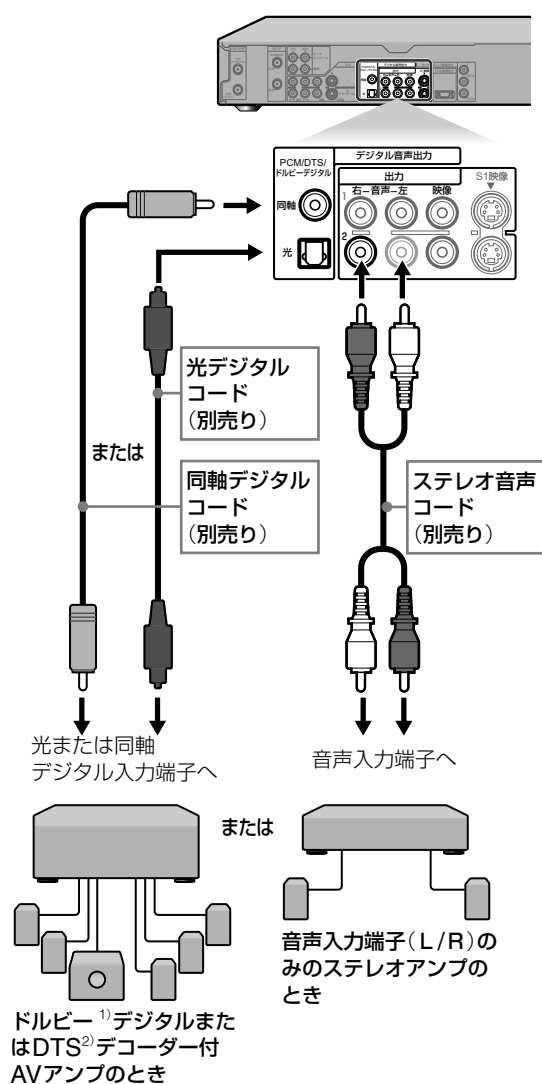
ビデオにS映像出力端子があるときは

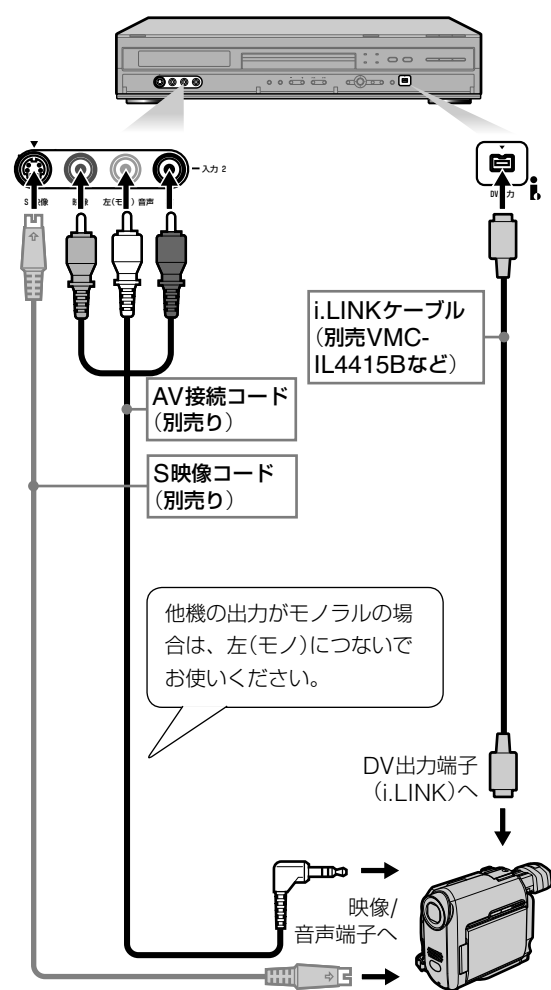
S映像コードでも接続できます。この場合は、システムメニューで「セットアップ」の「画面設定」を選び、「入力映像設定」の「入力1」を「S映像」にします。映像コード(黄)は外します。

AVアンプをつなぐ

アンプの種類や端子に合わせて接続します。

ビデオカメラをつなぐ

前面の入力2端子に接続すると便利です。
DV出力端子（i.LINK端子）付きデジタルビデオカメラなどは、前面のDV入力端子に接続します（73ページ）。

1) ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

2) DTSおよびDTS Digital OutはDigital Theater Systems, Inc.の商標です。

ちょっと一言

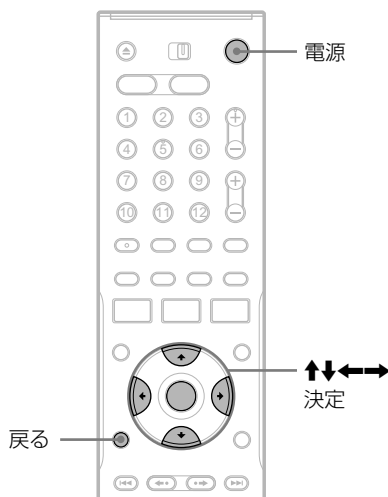
- 入力2端子は、映像コード（黄）、S映像コードのどちらで接続されているかを自動判別します。両方つないだ場合は、S映像端子が優先されます。本機で入力端子の設定は必要ありません。

ご注意

- 本機の出力端子と他機の入力端子を接続し、同時にその機器の出力端子と本機の入力端子を接続しないでください。ブーンという音が出ることがあります。

準備 6

かんたん設定をする

基本の設定をします。かんたん設定の完了後、初めて番組表を表示できるまでに1日程度かかりますので、ご注意ください。

1 電源ボタンを押し、本機の電源を入れ、テレビの入力を本機の映像が映るように切り換える。

「かんたん設定」画面が表示されます。
表示されないときは、システムメニューで「セットアップ」の「かんたん設定」を選んで、かんたん設定を始めます（80ページ）。

2 決定ボタンを押す。

ガイドに従って、以下の項目を設定してください。
各設定は、↑↓←→で選び、決定ボタンで決定します。
1つ前の設定に戻るには、戻るボタンを押します。

アンテナ電源

- ▷「**自動**」：BSアンテナを直接本機に接続時に選ぶ。本機に接続した他のBSチューナー内蔵機器の電源の有無を検知して、BSアンテナ用のコンバーター電源の供給を切り換えます。
- ▷「**入**」：常にBSアンテナ用コンバーター電源を供給する。BSの映りが不安定なときも、「入」を選びます。
- ▷「**切**」：マンションなどの共同受信システムのときに選ぶ。BSアンテナ用コンバーター電源を供給しません。

時刻

年/月/日/時/分/を合わせ、時報に合わせて決定ボタンを押します。

地域番号

「Gガイド/Gコード地域番号･放送局表」（23ページ）から、お住まいの地域番号を選んでください。番組表受信に必要な設定です。
地域番号を迷ったときは、お住まいの地域の放送局を多く含む地域番号を選びます。

自動チャンネル設定

受信できるチャンネルを自動で設定します。

TVタイプ

- ▷「**16:9**」：16:9のテレビに接続している場合。
- ▷「**4:3レターボックス**」：4:3のテレビに接続している場合。ワイド映像はそのまま表示され、画面の上下に黒い帯が表示される。
- ▷「**4:3パンスキャン**」：4:3のテレビに接続している場合。16:9映像の左右をカットして表示。

音声出力

「準備5：ビデオやAVアンプをつなぐ」（20ページ）で選んだ音声コードの接続に合わせます。

- ▷「**はい：アナログ出力（右ー音声ー左）**」：ステレオ音声コードで接続時に選ぶ。
- ▷「**はい：デジタル音声出力**」：デジタルコードで接続時に選ぶ。続けてデジタル出力の設定をします。詳しくは「音声設定」（78ページ）の「音声出力」にある「ドルビーデジタル」および「DTS」をご覧ください。
- ▷「**いいえ**」：本機をテレビとだけ接続しているときに選ぶ。

3 終了画面で決定ボタンを押します。

接続と基本設定が、完了します。

→ CATVを受信しているときは

かんたん設定後、CATVのチャンネルを追加します（30ページ）。
チューナーを使用せず、本機を直接CATVのアンテナ端子に接続している場合は、Gガイド放送局の地域番号（23ページ）をCATV会社にお問い合わせください。

ちょっと一言

- 再度かんたん設定するときは、停止中にシステムメニューの「セットアップ」から「かんたん設定」を選びます（80ページ）。「セットアップ」では設定項目を個別にも設定できます。

ご注意

- 地域番号入力後に番組表の受信が始まると、チャンネル合わせが中断され、チャンネルが正しく設定されない場合があります。その場合、もう一度「かんたん設定」をしてください（80ページ）。
- 地域番号を変えると、番組表からの予約録画が正しくされない場合があります。

Gガイド/Gコード地域番号・放送局表

●付きの放送局（ホスト局）から、番組表データが送信されています（2005年2月現在）。

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル（放送局名は略称を使用しています）	
北海道	札幌（江別）	001	336→3 （NHK総合） 257→1 （HBC）• 291→35 （HTB） 273→17 （TVh）	346→12 （NHK教育） 261→5 （STV） 283→27 （UHB）
	小樽	002	336→11 （NHK総合） 257→9 （HBC）• 291→4 （HTB） 273→24 （TVh）	346→2 （NHK教育） 261→7 （STV） 283→26 （UHB）
	旭川	003	336→9 （NHK総合） 257→11 （HBC）• 291→39 （HTB） 273→33 （TVh）	346→2 （NHK教育） 261→7 （STV） 283→37 （UHB）
	名寄	004	336→4 （NHK総合） 257→10 （HBC）• 291→24 （HTB） 273→33 （TVh）	346→12 （NHK教育） 261→6 （STV） 283→26 （UHB）
	稚内	005	336→28 （NHK総合） 257→10 （HBC）• 291→24 （HTB） 273→33 （TVh）	346→30 （NHK教育） 261→22 （STV） 283→26 （UHB）
	室蘭	006	336→9 （NHK総合） 257→11 （HBC）• 291→39 （HTB） 273→29 （TVh）	346→2 （NHK教育） 261→7 （STV） 283→37 （UHB）
	苫小牧	007	336→51 （NHK総合） 257→55 （HBC）• 291→61 （HTB） 273→47 （TVh）	346→49 （NHK教育） 261→57 （STV） 283→53 （UHB）
	函館	008	336→4 （NHK総合） 257→6 （HBC）• 291→35 （HTB） 273→21 （TVh）	346→10 （NHK教育） 261→12 （STV） 283→27 （UHB）
	帯広	009	336→4 （NHK総合） 257→6 （HBC）• 291→34 （HTB）	346→12 （NHK教育） 261→10 （STV） 283→32 （UHB）
	釧路	010	336→9 （NHK総合） 257→11 （HBC）• 291→39 （HTB） 273→29 （TVh）	346→2 （NHK教育） 261→7 （STV） 283→41 （UHB）
	網走	011	336→3 （NHK総合） 257→1 （HBC）• 291→35 （HTB）	346→12 （NHK教育） 261→5 （STV） 283→27 （UHB）
	北見	012	336→9 （NHK総合） 257→53 （HBC）• 291→61 （HTB）	346→2 （NHK教育） 261→7 （STV） 283→59 （UHB）
青森	青森（弘前）	013	592→3 （NHK総合） 513→1 （青森放送） 290→34 （青森朝日）	602→5 （NHK教育） 294→38 （青森テレビ）•
	八戸	014	592→9 （NHK総合） 513→11 （青森放送） 290→31 （青森朝日）	602→7 （NHK教育） 294→33 （青森テレビ）•
	むつ	015	592→4 （NHK総合） 513→10 （青森放送） 290→56 （青森朝日）	602→12 （NHK教育） 294→58 （青森テレビ）•
岩手	盛岡	016	848→4 （NHK総合） 262→6 （IBC）• 289→33 （めんこい）	858→8 （NHK教育） 547→35 （テレビ岩手） 276→31 （IAT）
	釜石	017	848→2 （NHK総合） 262→10 （IBC）• 289→60 （めんこい）	858→12 （NHK教育） 547→58 （テレビ岩手） 276→62 （IAT）
	二戸	018	848→5 （NHK総合） 262→2 （IBC）• 289→29 （めんこい）	858→12 （NHK教育） 547→37 （テレビ岩手） 276→27 （IAT）
宮城	仙台	019	1104→3 （NHK総合） 769→1 （TBC）• 546→34 （宮城テレビ）	1114→5 （NHK教育） 268→12 （仙台放送） 288→32 （東日本放送）
	石巻	020	1104→51 （NHK総合） 769→59 （TBC）• 546→55 （宮城テレビ）	1114→49 （NHK教育） 268→57 （仙台放送） 288→61 （東日本放送）
	気仙沼	021	1104→2 （NHK総合） 769→4 （TBC）• 546→37 （宮城テレビ）	1114→10 （NHK教育） 268→6 （仙台放送） 288→43 （東日本放送）
秋田	秋田	022	1360→9 （NHK総合） 267→11 （秋田放送） 287→31 （秋田朝日）	1370→2 （NHK教育） 293→37 （秋田テレビ）•
	大館	023	1360→4 （NHK総合） 267→6 （秋田放送） 287→59 （秋田朝日）	1370→8 （NHK教育） 293→57 （秋田テレビ）•
	大曲	024	1360→45 （NHK総合） 267→47 （秋田放送） 287→41 （秋田朝日）	1370→43 （NHK教育） 293→51 （秋田テレビ）•
山形	山形	025	1616→8 （NHK総合） 266→10 （山形放送） 292→36 （TUY）•	1626→4 （NHK教育） 550→38 （山形テレビ） 286→30 （SAY）
	鶴岡（酒田）	026	1616→3 （NHK総合） 266→1 （山形放送） 292→22 （TUY）•	1626→6 （NHK教育） 550→39 （山形テレビ） 286→24 （SAY）
	米沢	027	1616→52 （NHK総合） 266→54 （山形放送） 292→56 （TUY）•	1626→50 （NHK教育） 550→58 （山形テレビ） 286→60 （SAY）
福島	福島（郡山）	028	1872→9 （NHK総合） 523→11 （福島テレビ） 803→35 （福島放送）	1882→2 （NHK教育） 545→33 （福島中央テレビ） 543→31 （TUF）•
	いわき	029	1872→4 （NHK総合） 523→8 （福島テレビ） 803→60 （福島放送）	1882→10 （NHK教育） 545→58 （福島中央テレビ） 543→62 （TUF）•
	会津若松	030	1872→1 （NHK総合） 523→6 （福島テレビ） 803→41 （福島放送）	1882→3 （NHK教育） 545→37 （福島中央テレビ） 543→47 （TUF）•
茨城	水戸	031	2128→44 （NHK総合） 260→42 （日本テレビ） 264→38 （フジテレビ） 524→32 （テレビ東京） 270→14 （MXテレビ）	2138→46 （NHK教育） 518→40 （TBS）• 522→36 （テレビ朝日） 302→39 （ちばテレビ）
	日立	032	2128→52 （NHK総合） 260→54 （日本テレビ） 264→58 （フジテレビ） 524→62 （テレビ東京） 270→14 （MXテレビ）	2138→50 （NHK教育） 518→56 （TBS）• 522→60 （テレビ朝日） 302→39 （ちばテレビ）
栃木	宇都宮	033	2128→29 （NHK総合） 260→25 （日本テレビ） 264→21 （フジテレビ） 524→17 （テレビ東京） 270→14 （MXテレビ）	2138→27 （NHK教育） 518→23 （TBS）• 522→19 （テレビ朝日） 535→31 （とちぎテレビ）
	矢板	034	2128→51 （NHK総合） 260→53 （日本テレビ） 264→57 （フジテレビ） 524→61 （テレビ東京） 270→14 （MXテレビ）	2138→49 （NHK教育） 518→55 （TBS）• 522→59 （テレビ朝日） 535→31 （とちぎテレビ）
群馬	前橋（伊勢崎・高崎）	035	2128→52 （NHK総合） 260→54 （日本テレビ） 264→58 （フジテレビ） 524→62 （テレビ東京） 806→38 （テレビ埼玉）	2138→50 （NHK教育） 518→56 （TBS）• 522→60 （テレビ朝日） 270→14 （MXテレビ） 304→48 （群馬テレビ）
	桐生	036	2128→43 （NHK総合） 260→39 （日本テレビ） 264→35 （フジテレビ） 304→41 （群馬テレビ） 270→14 （MXテレビ）	2138→45 （NHK教育） 518→37 （TBS）• 522→33 （テレビ朝日） 524→31 （テレビ東京） 806→38 （テレビ埼玉）
埼玉	さいたま	037	2128→1 （NHK総合） 260→4 （日本テレビ） 264→8 （フジテレビ） 524→12 （テレビ東京） 270→14 （MXテレビ）	2138→3 （NHK教育） 518→6 （TBS）• 522→10 （テレビ朝日） 806→38 （テレビ埼玉）
	熊谷	038	2128→33 （NHK総合） 260→25 （日本テレビ） 264→21 （フジテレビ） 524→17 （テレビ東京）	2138→35 （NHK教育） 518→23 （TBS）• 522→19 （テレビ朝日） 806→28 （テレビ埼玉）
	秩父	039	2128→51 （NHK総合） 260→53 （日本テレビ） 264→57 （フジテレビ） 524→61 （テレビ東京）	2138→49 （NHK教育） 518→55 （TBS）• 522→59 （テレビ朝日） 806→47 （テレビ埼玉）
千葉	千葉	040	2128→1 （NHK総合） 260→4 （日本テレビ） 264→8 （フジテレビ） 524→12 （テレビ東京） 298→42 （tvk）	2138→3 （NHK教育） 518→6 （TBS）• 522→10 （テレビ朝日） 302→46 （ちばテレビ） 270→14 （MXテレビ）
	銚子	041	2128→51 （NHK総合） 260→53 （日本テレビ） 264→57 （フジテレビ） 524→61 （テレビ東京） 298→42 （tvk）	2138→49 （NHK教育） 518→55 （TBS）• 522→59 （テレビ朝日） 302→39 （ちばテレビ）
東京	23区	042	2128→1 （NHK総合） 260→4 （日本テレビ） 264→8 （フジテレビ） 524→12 （テレビ東京） 298→42 （tvk） 270→14 （MXテレビ）	2138→3 （NHK教育） 518→6 （TBS）• 522→10 （テレビ朝日） 302→46 （ちばテレビ） 806→38 （テレビ埼玉）
	八王子	043	2128→51 （NHK総合） 260→53 （日本テレビ） 264→57 （フジテレビ） 524→61 （テレビ東京） 298→42 （tvk） 270→14 （MXテレビ）	2138→49 （NHK教育） 518→55 （TBS）• 522→59 （テレビ朝日） 302→46 （ちばテレビ） 806→38 （テレビ埼玉）
	多摩	044	2128→30 （NHK総合） 260→26 （日本テレビ） 264→22 （フジテレビ） 524→18 （テレビ東京） 298→42 （tvk） 270→28 （MXテレビ）	2138→32 （NHK教育） 518→24 （TBS）• 522→20 （テレビ朝日） 302→46 （ちばテレビ） 806→38 （テレビ埼玉）

次のページにつづく⇨

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル（放送局名は略称を使用しています）
神奈川	横浜1	045	2128→52（NHK総合） 2138→50（NHK教育） 260→54（日本テレビ） 518→56（TBS）• 264→58（フジテレビ） 522→60（テレビ朝日） 524→62（テレビ東京） 298→48（tvk） 270→14（MXテレビ）
	横浜2	046	2128→1（NHK総合） 2138→3（NHK教育） 260→4（日本テレビ） 518→6（TBS）• 264→8（フジテレビ） 522→10（テレビ朝日） 524→12（テレビ東京） 298→42（tvk） 270→14（MXテレビ）

❺「横浜1」、「横浜2」について
NHK総合を52チャンネルでご覧の方は「横浜1」、それ以外の方は「横浜2」を選んでください。わからない場合は「横浜2」を選び、受信状態を確認後、正しく受信できないときは「横浜1」を選び直してください。

都道府県	地域名	地域番号	ガイドチャンネルと表示チャンネル
神奈川	平塚（茅ヶ崎）	047	2128→33（NHK総合） 2138→29（NHK教育） 260→35（日本テレビ） 518→37（TBS）• 264→39（フジテレビ） 522→41（テレビ朝日） 524→43（テレビ東京） 298→31（tvk） 270→14（MXテレビ）
	秦野	048	2128→47（NHK総合） 2138→49（NHK教育） 260→51（日本テレビ） 518→53（TBS）• 264→55（フジテレビ） 522→57（テレビ朝日） 524→59（テレビ東京） 298→61（tvk） 270→14（MXテレビ）
	小田原	049	2128→52（NHK総合） 2138→50（NHK教育） 260→54（日本テレビ） 518→56（TBS）• 264→58（フジテレビ） 522→60（テレビ朝日） 524→62（テレビ東京） 298→46（tvk） 270→14（MXテレビ）
山梨	甲府	050	2896→1（NHK総合） 2906→3（NHK教育） 773→5（山梨放送） 549→37（UTY）•
長野	長野1	051	2640→44（NHK総合） 2650→46（NHK教育） 779→48（SBC）• 1062→42（長野放送） 542→40（テレビ信州） 532→50（長野朝日）
	長野2	052	2640→2（NHK総合） 2650→9（NHK教育） 779→11（SBC）• 1062→38（長野放送） 542→30（テレビ信州） 532→20（長野朝日）

❺「長野1」、「長野2」について
NHK総合を44チャンネルでご覧の方は「長野1」、それ以外の方は「長野2」を選んでください。わからない場合は「長野2」を選び、受信状態を確認後、正しく受信できないときは「長野1」を選び直してください。

都道府県	地域名	地域番号	ガイドチャンネルと表示チャンネル
長野	松本	053	2640→44（NHK総合） 2650→46（NHK教育） 542→48（テレビ信州） 779→40（SBC）• 1062→42（長野放送） 532→50（長野朝日）
	飯田	054	2640→4（NHK総合） 2650→3（NHK教育） 779→6（SBC）• 1062→40（長野放送） 542→42（テレビ信州） 532→44（長野朝日）
	岡谷・諏訪	055	2640→4（NHK総合） 2650→8（NHK教育） 542→59（テレビ信州） 779→6（SBC）• 1062→47（長野放送） 532→61（長野朝日）
新潟	新潟（長岡）	056	2384→8（NHK総合） 2394→12（NHK教育） 517→5（BSN）• 1059→35（新潟総合テレビ） 285→29（テレビ新潟） 277→21（テレビ21）
	上越	057	2384→3（NHK総合） 2394→1（NHK教育） 517→10（BSN）• 1059→33（新潟総合テレビ） 285→27（テレビ新潟） 277→37（テレビ21）
富山	富山	058	3152→3（NHK総合） 3162→10（NHK教育） 1025→1（北日本放送） 802→34（富山テレビ） 544→32（チューリップ）•
	高岡	059	3152→48（NHK総合） 3162→46（NHK教育） 1025→50（北日本放送） 802→44（富山テレビ） 544→42（チューリップ）•
石川	金沢（小松）	060	3408→4（NHK総合） 3418→8（NHK教育） 774→6（北陸放送）• 805→37（石川テレビ） 801→33（テレビ金沢） 281→25（北陸朝日）
	七尾	061	3408→9（NHK総合） 3418→5（NHK教育） 774→11（北陸放送）• 805→55（石川テレビ） 801→57（テレビ金沢） 281→59（北陸朝日）
福井	福井	062	3664→9（NHK総合） 3674→3（NHK教育） 1035→11（福井放送） 295→39（福井テレビ）•
	敦賀	063	3664→6（NHK総合） 3674→12（NHK教育） 1035→8（福井放送） 295→38（福井テレビ）•
岐阜	岐阜（大垣）	064	4176→39（NHK総合） 4186→9（NHK教育） 1029→5（CBC）• 1281→1（東海テレビ） 1547→11（メ～テレ） 1571→35（中京テレビ） 1061→37（岐阜放送） 537→25（テレビ愛知） 1313→33（三重テレビ）
	高山	065	4176→4（NHK総合） 4186→2（NHK教育） 1029→6（CBC）• 1281→8（東海テレビ） 1547→12（メ～テレ） 1571→26（中京テレビ） 1061→38（岐阜放送） 537→25（テレビ愛知） 1313→33（三重テレビ）
	中津川	066	4176→4（NHK総合） 4186→12（NHK教育） 1029→8（CBC）• 1281→10（東海テレビ） 1547→6（メ～テレ） 1571→26（中京テレビ） 1061→28（岐阜放送） 537→25（テレビ愛知） 1313→33（三重テレビ）
静岡	静岡（清水・焼津）	067	3920→9（NHK総合） 3930→2（NHK教育） 1291→11（静岡放送）• 1315→35（テレビ静岡） 1057→33（静岡朝日テレビ） 799→31（静岡第一）
	浜松	068	3920→4（NHK総合） 3930→8（NHK教育） 1291→6（静岡放送）• 1315→34（テレビ静岡） 1057→28（静岡朝日テレビ） 799→30（静岡第一）
	富士（富士宮）	069	3920→52（NHK総合） 3930→54（NHK教育） 1291→41（静岡放送）• 1315→39（テレビ静岡） 1057→29（静岡朝日テレビ） 799→27（静岡第一）
	三島・沼津	070	3920→53（NHK総合） 3930→51（NHK教育） 1291→55（静岡放送）• 1315→59（テレビ静岡） 1057→57（静岡朝日テレビ） 799→61（静岡第一）
	島田	071	3920→1（NHK総合） 3930→3（NHK教育） 1291→5（静岡放送）• 1315→58（テレビ静岡） 1057→50（静岡朝日テレビ） 799→48（静岡第一）
	藤枝	072	3920→42（NHK総合） 3930→44（NHK教育） 1291→40（静岡放送）• 1315→38（テレビ静岡） 1057→26（静岡朝日テレビ） 799→24（静岡第一）
愛知	名古屋	073	4176→3（NHK総合） 4186→9（NHK教育） 1029→5（CBC）• 1281→1（東海テレビ） 1547→11（メ～テレ） 1571→35（中京テレビ） 537→25（テレビ愛知） 1313→33（三重テレビ） 1061→37（岐阜放送）
	豊橋（豊川）	074	4176→54（NHK総合） 4186→50（NHK教育） 1029→62（CBC）• 1281→56（東海テレビ） 1547→60（メ～テレ） 1571→58（中京テレビ） 537→52（テレビ愛知） 1313→33（三重テレビ） 1061→37（岐阜放送）
	豊田	075	4176→53（NHK総合） 4186→51（NHK教育） 1029→55（CBC）• 1281→57（東海テレビ） 1547→61（メ～テレ） 1571→59（中京テレビ） 537→49（テレビ愛知） 1313→33（三重テレビ） 1061→37（岐阜放送）
三重	津	076	4176→31（NHK総合） 4186→9（NHK教育） 1029→5（CBC）• 1281→1（東海テレビ） 1547→11（メ～テレ） 1571→35（中京テレビ） 1313→33（三重テレビ） 537→25（テレビ愛知）
	伊勢	077	4176→53（NHK総合） 4186→49（NHK教育） 1029→55（CBC）• 1281→57（東海テレビ） 1547→61（メ～テレ） 1571→47（中京テレビ） 1313→59（三重テレビ） 537→25（テレビ愛知）
	名張	078	4176→52（NHK総合） 4186→50（NHK教育） 1029→60（CBC）• 1281→62（東海テレビ） 1547→56（メ～テレ） 1571→54（中京テレビ） 1313→58（三重テレビ） 537→25（テレビ愛知）
滋賀	大津	079	4432→28（NHK総合） 4442→46（NHK教育） 516→36（毎日放送）• 1030→38（朝日放送） 520→40（関西テレビ） 778→42（読売テレビ） 798→30（びわ湖放送） 1058→34（京都テレビ）
	彦根	080	4432→52（NHK総合） 4442→50（NHK教育） 516→54（毎日放送）• 1030→58（朝日放送） 520→60（関西テレビ） 778→62（読売テレビ） 798→56（びわ湖放送） 1058→34（京都テレビ）
京都	京都（宇治）	081	4432→2（NHK総合） 4442→12（NHK教育） 516→4（毎日放送）• 1030→6（朝日放送） 520→8（関西テレビ） 778→10（読売テレビ） 1058→34（京都テレビ） 275→19（テレビ大阪） 548→36（サンテレビ）
	舞鶴	082	4432→51（NHK総合） 4442→49（NHK教育） 516→53（毎日放送）• 1030→55（朝日放送） 520→59（関西テレビ） 778→61（読売テレビ） 1058→57（京都テレビ） 275→19（テレビ大阪） 548→36（サンテレビ）
	福知山	083	4432→50（NHK総合） 4442→52（NHK教育） 516→54（毎日放送）• 1030→58（朝日放送） 520→60（関西テレビ） 778→62（読売テレビ） 1058→56（京都テレビ） 275→19（テレビ大阪） 548→36（サンテレビ）
大阪	大阪	084	4432→2（NHK総合） 4442→12（NHK教育） 516→4（毎日放送）• 1030→6（朝日放送） 520→8（関西テレビ） 778→10（読売テレビ） 275→19（テレビ大阪） 1058→34（京都テレビ） 548→36（サンテレビ）

兵庫	神戸	085	4432→28（NHK総合） 516→18 （毎日放送）• 520→22 （関西テレビ） 548→36 （サンテレビ）	4442→26（NHK教育） 1030→20（朝日放送） 778→24 （読売テレビ） 275→19 （テレビ大阪）
	神戸灘	086	4432→52（NHK総合） 516→54 （毎日放送）• 520→58 （関西テレビ） 548→62 （サンテレビ）	4442→50（NHK教育） 1030→56（朝日放送） 778→60 （読売テレビ） 275→19 （テレビ大阪）
	川西	087	4432→29（NHK総合） 516→35 （毎日放送）• 520→39 （関西テレビ） 548→33 （サンテレビ）	4442→31（NHK教育） 1030→37（朝日放送） 778→41 （読売テレビ） 275→19 （テレビ大阪）
	三木	088	4432→44（NHK総合） 516→34 （毎日放送）• 520→40 （関西テレビ） 548→36 （サンテレビ）	4442→46（NHK教育） 1030→38（朝日放送） 778→42 （読売テレビ） 275→19 （テレビ大阪）
	姫路	089	4432→50（NHK総合） 516→54 （毎日放送）• 520→60 （関西テレビ） 548→56 （サンテレビ）	4442→52（NHK教育） 1030→58（朝日放送） 778→62 （読売テレビ） 275→19 （テレビ大阪）
	明石 （加古川）	090	4432→51（NHK総合） 516→53 （毎日放送）• 520→59 （関西テレビ） 548→55 （サンテレビ）	4442→49（NHK教育） 1030→57（朝日放送） 778→61 （読売テレビ） 275→19 （テレビ大阪）
奈良	奈良	091	4432→51（NHK総合） 516→4 （毎日放送）• 520→8 （関西テレビ） 311→55 （奈良テレビ） 1058→34（京都テレビ）	4442→12（NHK教育） 1030→6 （朝日放送） 778→10 （読売テレビ） 548→36 （サンテレビ） 275→19 （テレビ大阪）
	五條	092	4432→43（NHK総合） 516→33 （毎日放送）• 520→37 （関西テレビ） 311→41 （奈良テレビ） 1058→34（京都テレビ）	4442→45（NHK教育） 1030→35（朝日放送） 778→39 （読売テレビ） 548→36 （サンテレビ） 275→19 （テレビ大阪）
和歌山	和歌山	093	4432→32（NHK総合） 516→42 （毎日放送）• 520→46 （関西テレビ） 1054→30（テレビ和歌山）	4442→26（NHK教育） 1030→44（朝日放送） 778→48 （読売テレビ）
	海南・ 田辺	094	4432→50（NHK総合） 516→54 （毎日放送）• 520→60 （関西テレビ） 1054→56（テレビ和歌山）	4442→52（NHK教育） 1030→58（朝日放送） 778→62 （読売テレビ）
鳥取	鳥取	095	4688→3 （NHK総合） 1537→1 （日本海テレビ） 1314→24（山陰中央）	4698→4 （NHK教育） 1034→22（BSS）•
島根	松江	096	4944→6 （NHK総合） 1034→10（BSS）• 1537→30（日本海テレビ）	4954→12（NHK教育） 1314→34（山陰中央）
	浜田	097	4944→2 （NHK総合） 1034→5 （BSS）• 1537→54（日本海テレビ）	4954→9 （NHK教育） 1314→58（山陰中央）
岡山	岡山 （倉敷）	098	5200→5 （NHK総合） 1803→11（RSK）• 279→23 （テレビせとうち） 1569→25（KSB）	5210→3 （NHK教育） 1827→35（OHK） 265→9 （西日本放送）
	津山	099	5200→2 （NHK総合） 1803→7 （RSK）• 279→56 （テレビせとうち） 1569→62（KSB）	5210→12（NHK教育） 1827→60（OHK） 265→58 （西日本放送）
	笠岡	100	5200→2 （NHK総合） 1803→6 （RSK）• 279→19 （テレビせとうち） 1569→21（KSB）	5210→4 （NHK教育） 1827→60（OHK） 265→17 （西日本放送）
広島	広島	101	5456→3 （NHK総合） 772→4 （RCC）• 2083→35（広島ホームテレビ）	5466→7 （NHK教育） 780→12 （広島テレビ） 1055→31（TSS）
	福山	102	5456→5 （NHK総合） 772→7 （RCC）• 2083→57（広島ホームテレビ）	5466→3 （NHK教育） 780→11 （広島テレビ） 1055→54（TSS）
	尾道	103	5456→1 （NHK総合） 772→10 （RCC）• 2083→24（広島ホームテレビ）	5466→7 （NHK教育） 780→12 （広島テレビ） 1055→26（TSS）
	呉	104	5456→11（NHK総合） 772→9 （RCC）• 2083→24（広島ホームテレビ）	5466→1 （NHK教育） 780→5 （広島テレビ） 1055→26（TSS）
山口	山口 （徳山・ 防府）	105	5712→9 （NHK総合） 2059→11（山口放送） 284→28 （山口朝日）	5722→1 （NHK教育） 1318→38（テレビ山口）•
	下関	106	5712→39（NHK総合） 2059→4 （山口放送） 284→21 （山口朝日）	5722→41（NHK教育） 1318→33（テレビ山口）•
	宇部	107	5712→16（NHK総合） 2059→18（山口放送） 284→31 （山口朝日）	5722→14（NHK教育） 1318→20（テレビ山口）•
	岩国	108	5712→9 （NHK総合） 2059→11（山口放送） 284→28 （山口朝日）	5722→1 （NHK教育） 1318→22（テレビ山口）•
徳島	徳島	109	5968→3 （NHK総合） 1793→1 （四国放送） 1030→6 （朝日放送）	5978→38（NHK教育） 516→4 （毎日放送）• 520→8 （関西テレビ）

香川	高松	110	6224→37（NHK総合） 1569→33（KSB） 1803→29（RSK）• 279→19 （テレビせとうち）	6234→39（NHK教育） 265→41 （西日本放送） 1827→31（OHK）
	丸亀	111	6224→44（NHK総合） 1569→42（KSB） 1803→18（RSK）• 279→16 （テレビせとうち）	6234→40（NHK教育） 265→20 （西日本放送） 1827→22（OHK）
愛媛	松山	112	6480→6 （NHK総合） 1290→10（南海放送） 541→29 （あいテレビ）•	6490→2 （NHK教育） 1317→37（テレビ愛媛） 793→25 （愛媛朝日）
	新居浜	113	6480→2 （NHK総合） 1290→6 （南海放送） 541→27 （あいテレビ）•	6490→4 （NHK教育） 1317→36（テレビ愛媛） 793→14 （愛媛朝日）
	今治	114	6480→32（NHK総合） 1290→34（南海放送） 541→27 （あいテレビ）•	6490→30（NHK教育） 1317→36（テレビ愛媛） 793→17 （愛媛朝日）
	宇和島	115	6480→6 （NHK総合） 1290→10（南海放送） 541→34 （あいテレビ）•	6490→1 （NHK教育） 1317→32（テレビ愛媛） 793→16 （愛媛朝日）
高知	高知	116	6736→4 （NHK総合） 776→8 （高知放送） 296→40 （KSS）	6746→6 （NHK教育） 1574→38（KUTV）•
福岡	福岡	117	6992→3 （NHK総合） 1028→4 （RKB毎日）• 521→9 （TNC） 531→19 （TVQ）	7002→6 （NHK教育） 2049→1 （KBC） 1573→37（FBS）
	久留米	118	6992→46（NHK総合） 1028→48（RKB毎日）• 521→60 （TNC） 531→14 （TVQ）	7002→54（NHK教育） 2049→57（KBC） 1573→52（FBS）
	大牟田	119	6992→53（NHK総合） 1028→61（RKB毎日）• 521→55 （TNC） 531→19 （TVQ）	7002→50（NHK教育） 2049→58（KBC） 1573→43（FBS）
	北九州	120	6992→6 （NHK総合） 1028→8 （RKB毎日）• 521→10 （TNC） 531→23 （TVQ）	7002→12（NHK教育） 2049→2 （KBC） 1573→35（FBS）
	行橋	121	6992→49（NHK総合） 1028→60（RKB毎日）• 521→54 （TNC） 531→19 （TVQ）	7002→46（NHK教育） 2049→57（KBC） 1573→43（FBS）
佐賀	佐賀	122	7760→38（NHK総合） 804→36 （STS） 1573→52（FBS） 1028→48（RKB毎日）•	7770→40（NHK教育） 2315→11（熊本放送） 531→14 （TVQ） 2049→57（KBC）
長崎	長崎	123	7248→3 （NHK総合） 1285→5 （NBC）• 539→27 （長崎文化）	7258→1 （NHK教育） 1829→37（テレビ長崎） 1049→25（長崎国際）
	佐世保	124	7248→8 （NHK総合） 1285→10（NBC）• 539→31 （長崎文化）	7258→2 （NHK教育） 1829→35（テレビ長崎） 1049→17（長崎国際）
	諫早	125	7248→47（NHK総合） 1285→49（NBC）• 539→24 （長崎文化）	7258→45（NHK教育） 1829→42（テレビ長崎） 1049→20（長崎国際）
熊本	熊本 （八代）	126	7504→9 （NHK総合） 2315→11（熊本放送）• 278→22 （KKT）	7514→2 （NHK教育） 1570→34（TKU） 528→16 （熊本朝日）
大分	大分 （別府）	127	8016→3 （NHK総合） 1541→5 （OBS）• 280→24 （OAB）	8026→12（NHK教育） 1060→36（TOS）
	中津	128	8016→48（NHK総合） 1541→51（OBS）• 280→17 （OAB）	8026→45（NHK教育） 1060→37（TOS）
宮崎	宮崎 （都城）	129	8272→8 （NHK総合） 1546→10（宮崎放送）•	8282→12（NHK教育） 2339→35（テレビ宮崎）
	延岡	130	8272→4 （NHK総合） 1546→6 （宮崎放送）•	8282→2 （NHK教育） 2339→39（テレビ宮崎）
鹿児島	鹿児島	131	8528→3 （NHK総合） 2305→1 （MBC）• 800→32 （鹿児島放送）	8538→5 （NHK教育） 1830→38（KTS） 1310→30（鹿児島読売）
	阿久根	132	8528→8 （NHK総合） 2305→10（MBC）• 800→23 （鹿児島放送）	8538→12（NHK教育） 1830→35（KTS） 1310→17（鹿児島読売）
	鹿屋	133	8528→4 （NHK総合） 2305→6 （MBC）• 800→31 （鹿児島放送）	8538→2 （NHK教育） 1830→33（KTS） 1310→25（鹿児島読売）
沖縄	沖縄	134	8784→2 （NHK総合） 1802→10（RBC）• 540→28 （QAB）	8794→12（NHK教育） 1032→8 （OTV）

ご注意

- 放送を受信できても、選んだ地域に登録されていない放送局は、番組表に表示されないことがあります。

準備 7

番組表を正しく受信できるか確認する

通常かんたん設定（22ページ）を完了後、約1日（24時間）経つと番組表を受信・表示できるようになります。ただし、設定内容により、その後も番組表が表示されない場合などがあります。約1日経っても番組表が表示できない場合は、番組表データが正しく受信できるよう設定されているかを、次ページからの方法で確認し、必要に応じて設定を変更してください。

番組表受信のしくみ

本機は「Gガイド」を利用して、番組表データを配信する放送局（ホスト局）から自動的にデータを受信します。
正しく接続と設定を行った後、初めて番組表を受信・表示するまでには、約1日（24時間）程度かかります。
番組表データはホスト局から1日に数回、決まった時刻に配信されるためです。
番組表が配信される時刻に、ホスト局以外の2番組を同時録画しているときは、番組表データを受信できません。

Gガイドとは

Gガイドは、（株）インタラクティブ・プログラム・ガイドがサービス主体となり、特定の放送局の放送波を利用して番組表データを送信するサービスです。番組表のデータ送信は（株）インタラクティブ・プログラム・ガイドと、データ送信を行う放送局側で行われているため、都合によりデータが送信されない場合もあります。

Gガイドのサービス地域について

Gガイドを利用した番組表データは、次の放送局（ホスト局）より送信されています（2005年2月現在）。

- 北海道地域ー北海道放送（HBC）
- 東北地域ー青森テレビ（ATV）、秋田テレビ（AKT）、アイ・ビー・シー岩手放送（IBC）、テレビユー山形（TUY）、東北放送（TBC）、テレビユー福島（TUF）
- 関東地域ー東京放送（TBS）
- 中部地域ー新潟放送（BSN）、信越放送（SBC）、静岡放送（SBS）、中部日本放送（CBC）、テレビ山梨（UTY）、チューリップテレビ（TUT）、北陸放送（MRO）、福井テレビ（FTB）
- 近畿地域ー毎日放送（MBS）
- 中国・四国地域ー山陽放送（RSK）、中国放送（RCC）、テレビ山口（TYS）、山陰放送（BSS）、あいテレビ（ITV）、テレビ高知（KUTV）
- 九州・沖縄地域ー RKB毎日放送（RKB）、長崎放送（NBC）、大分放送（OBS）、熊本放送（RKK）、宮崎放送（MRT）、南日本放送（MBC）、琉球放送（RBC）

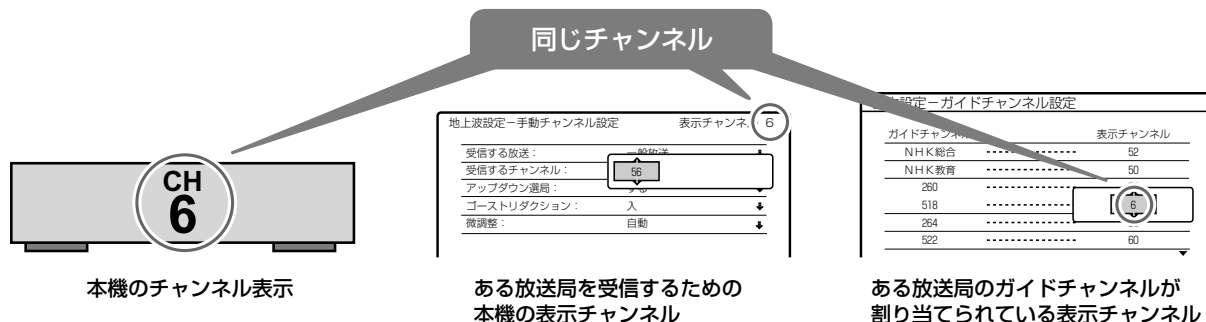
当社では、Gガイドを利用した番組表のサービス内容には関与していません。

ちょっと一言

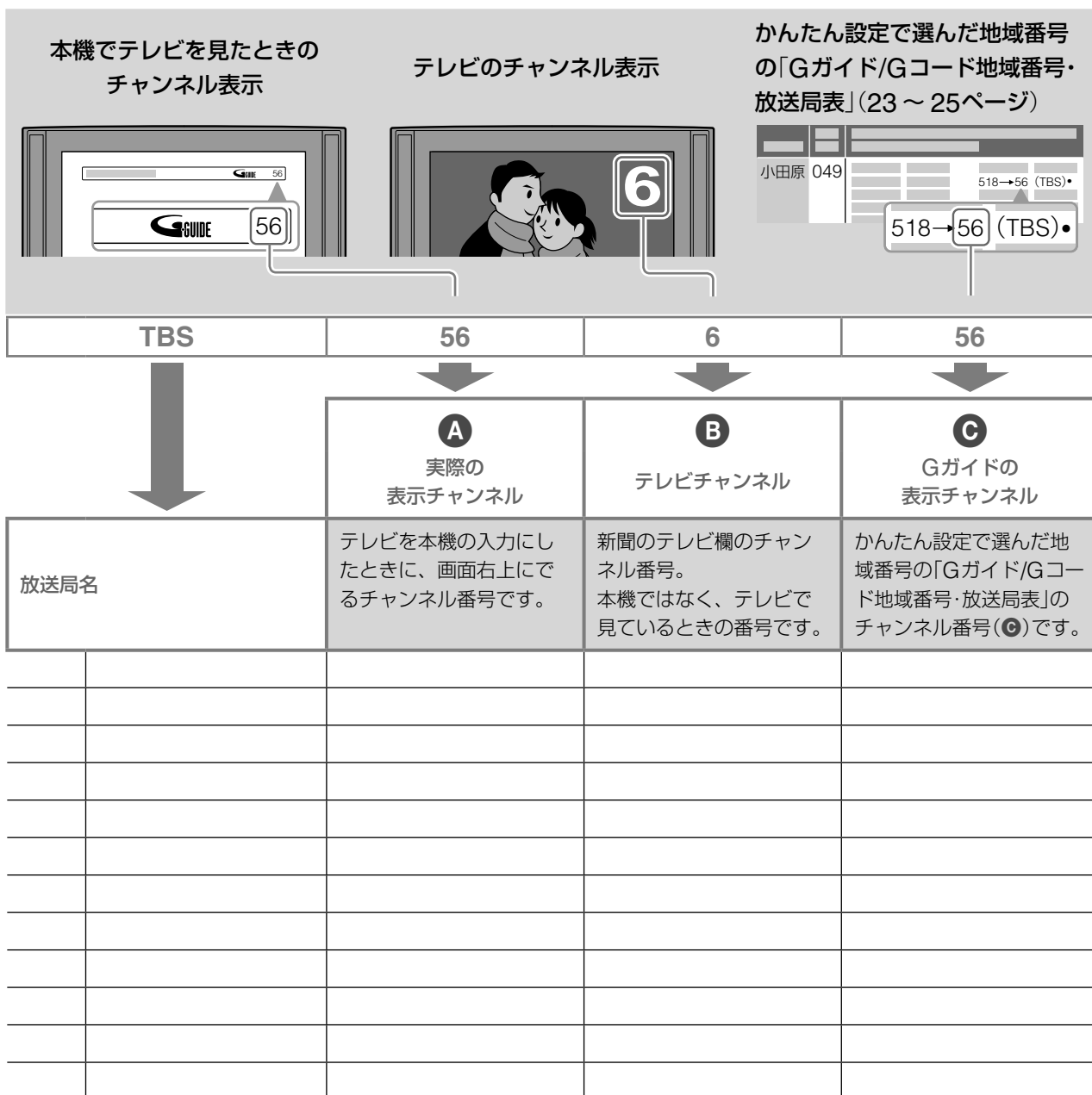
番組表データを受信するには、このようにすべて同じチャンネルにします。

本機のチャンネル表示

ある放送局を受信するための本機の表示チャンネル

ある放送局のガイドチャンネルが割り当てられている表示チャンネル

ステップ1：チャンネルの設定を確認する

下の例に沿って、まず放送局名と各チャンネル番号を、表に書き出してください。その後、次ページに進んでください。

放送局名		A 実際の表示チャンネル	B テレビチャンネル	C Gガイドの表示チャンネル
		テレビを本機の入力にしたときに、画面右上にでるチャンネル番号です。	新聞のテレビ欄のチャンネル番号。本機ではなく、テレビで見ているときの番号です。	かんたん設定で選んだ地域番号の「Gガイド/Gコード地域番号・放送局表」のチャンネル番号（C）です。

ホスト局に●印を付けてください。

「Gガイド/Gコード地域番号・放送局表」で、●印が付いている放送局が「ホスト局」です。番組表データを送信している放送局で、この放送局が正しく受信されると、番組表が取得できます。

次のページにつづく⇨

前ページの表に書き出した数字を見ながら、以下の質問に答えてください。

全ての放送局でⒶ実際の表示チャンネルと、Ⓑテレビチャンネルと、ⒸGガイドの表示チャンネルが同じ数字ですか？

いいえ　はい

（はい）番組表データを正しく受信できます。**ステップ2**以降の操作は不要です。初めて番組表を受信・表示するまでには、約1日（24時間）かかります。

（いいえ）

全ての放送局でⒶ実際の表示チャンネルと、ⒸGガイドの表示チャンネルが同じ数字ですか？

いいえ　はい

（はい）番組表データを正しく受信できます。**ステップ2**以降の操作は不要です。初めて番組表を受信・表示するまでには、約1日（24時間）かかります。
ただし、本機で表示されるチャンネル番号（Ⓐ）は、テレビで見ているときに表示されるチャンネル番号（Ⓑ）とは異なる場合があります。
本機でもテレビと同じチャンネル番号で表示したいときのみ（ⒶとⒷを同じにしたいときのみ）、引き続き、次ページの**ステップ2**以降を行ってください。

（いいえ）

「Gガイド/Gコード地域番号・放送局表」の別の地域でⒸGガイドの表示チャンネルが、全てⒶ実際の表示チャンネルと同じ地域がありますか？

いいえ　はい

（はい）地域設定が違っていたため、番組表データを正しく受信できません。Ⓐの欄と一致した地域番号を入れ直してください。

① **システムメニューボタンを押す。**
② **「セットアップ」を選び、決定する。**
　⬆⬇で選び、決定ボタンで決定します（以下の操作も同様です）。
③ **「基本設定」を選び、決定する。**
④ **「地域番号設定」を選び、決定する。**
⑤ **「地域番号」を選び、決定する。**
⑥ **「Gガイド/Gコード地域番号・放送局表」（23ページ）から、Ⓐと一致する地域番号を選び、決定する。**

（いいえ）前ページの例で、Ⓐが57、Ⓒが56のときなど。
番組表データを正しく受信できません。引き続き、次ページの**ステップ2**以降を行ってください。

ⒷはあるのにⒶが空欄のとき

「受信できるチャンネルを追加する」（30ページ）の操作を行ってください。

ステップ2：Ⓐ（実際の表示チャンネル）をⒷ（テレビチャンネル）と合わせる

例：小田原にお住まいの方が、テレビではTBSテレビを6チャンネルで視聴しているのに、本機では56チャンネルと表示されている。このような場合は、テレビに合わせて表示チャンネルを6チャンネルに変更できます。

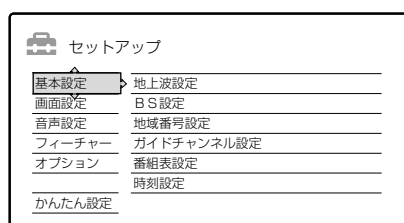
放送局	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ
TBS	56	6	56

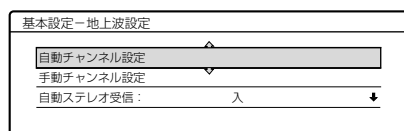
ここを変更して･･･

TBS	6	6	56

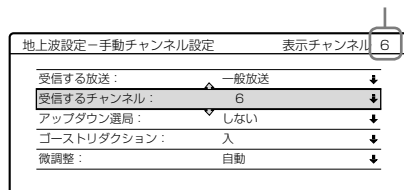
同じにする。

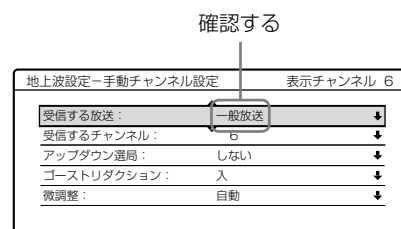
1 **停止中にシステムメニューボタンを押す。**
システムメニューが表示されます。

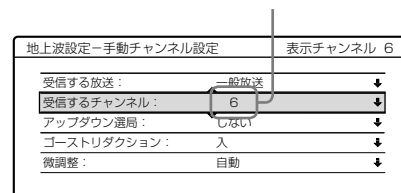
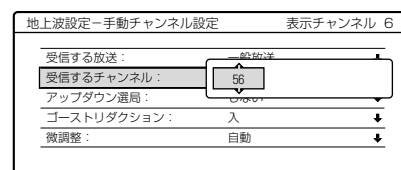
2 **「セットアップ」を選び、決定する。**

3 **「基本設定」を選び、決定する。**

4 **「地上波設定」を選び、決定する。**

5 **「手動チャンネル設定」を選び、決定する。**

6 **チャンネル＋/－ボタンでⒷと同じチャンネル「6」を選ぶ。**

ここが変わる（6にする）。

7 **「受信する放送」が「一般放送」であることを確認する。**
CATVの場合は「CATV」を選び、決定する。

確認する

8 **「受信するチャンネル」を選び、決定する。**

ここを変える

9 **Ⓐのチャンネル「56」を選び、決定する。**
Ⓐ（実際の表示チャンネル）とⒷ（テレビチャンネル）が一致しました。
続けて、**ステップ3**の操作を行ってください。

ステップ3：Ⓒ（Gガイドの表示チャンネル）をⒷ（テレビチャンネル）と合わせる

Ⓐ（実際の表示チャンネル）の変更に伴い、Ⓒ（Gガイドの表示チャンネル）の設定も変更する必要があります。

放送局	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ
TBS	6	6	56

ここを変更して･･･

TBS	6	6	6

同じにする。

10 **戻るボタンを2回押す。**
「セットアップ」の「基本設定」に戻ります。

次のページにつづく⇨

11 「ガイドチャンネル設定」を選び、決定する。

基本設定－ガイドチャンネル設定

ガイドチャンネル		表示チャンネル
NHK総合	-------------------	52
NHK教育	-------------------	50
260	-------------------	54
518	-------------------	56
264	-------------------	58
522	-------------------	60

12 「表示チャンネル」欄にⒸのチャンネル「56」が表示された行を選び、決定する。

ここを変える

基本設定－ガイドチャンネル設定

ガイドチャンネル		表示チャンネル
NHK総合	-------------------	52
NHK教育	-------------------	50
260	-------------------	54
518	-------------------	56
264	-------------------	58
522	-------------------	60

13 Ⓐ、Ⓑと同じチャンネル「6」を選び、決定する。

基本設定－ガイドチャンネル設定

ガイドチャンネル		表示チャンネル
NHK総合	-------------------	52
NHK教育	-------------------	50
260	-------------------	54
518	-------------------	6
264	-------------------	58
522	-------------------	60

ガイドチャンネルが正しく設定され、ⒶとⒷとⒸが一致しました。
他にも変更するチャンネルがあるときは、戻るボタンを2回押し、**ステップ2**の手順**3**以降の操作を繰り返します。
27ページの表で、●の付いた放送局(ホスト局)に対して、**ステップ2**と**ステップ3**を行ったときは、引き続き、**ステップ4**を行ってください。
それ以外の場合は、**ステップ5**に進んでください。

ステップ4：ホスト局の取得チャンネルをⒷに合わせる

例: 小田原のホスト局であるTBSの表示チャンネルを56から6に変更したのに合わせて、「取得チャンネル」も6チャンネルに設定し直す。

ご注意
- 「番組表設定」の設定は、むやみに変更しないでください。誤って変更すると番組表データが受信できなくなります。

1 「セットアップ」の「基本設定」から「番組表設定」を選び、決定する。

2 「取得チャンネル」を選び、決定する。

3 「6」(**ステップ2**で変更したホスト局の表示チャンネル)を選び、決定する。

番組を取得するためのチャンネルが正しく設定されます。
引き続き、**ステップ5**を行ってください。

ステップ5：時刻自動補正の放送(NHK教育)の設定チャンネルをⒷに合わせる

NHK教育テレビに対して、**ステップ2**と**ステップ3**を行ったときは、時刻設定の「設定チャンネル」もテレビチャンネルⒷに合わせる必要があります。

1 「セットアップ」の「基本設定」から「時刻設定」を選び、決定する。

2 「設定チャンネル」を選び、決定する。

3 NHK教育テレビの変更後の表示チャンネルを選び、決定する。

時刻自動補正のためのチャンネルが正しく設定されます。

受信できるチャンネルを追加する

Ⓑがあるのに Ⓐが空欄のときなど、かんたん設定の自動チャンネル合わせで設定されなかったチャンネルを手動で追加します。
例: 小田原で、静岡放送(ガイドチャンネル:1291、表示チャンネル:11)がテレビでは映るのに、本機のかんたん設定では映るよう設定されなかった。これを映るように設定したい。

1 **ステップ2の手順1 ～ 5の操作を行う。**

2 チャンネル＋/－ボタンで追加したいチャンネル（11チャンネル）を選ぶ。

ここが変わる（11にする）

地上波設定－手動チャンネル設定　　表示チャンネル 11

受信する放送：	一般放送
受信するチャンネル：	11
アップダウン選局：	する
ゴーストリダクション：	入
微調整：	自動

3 「受信する放送」が「一般放送」であることを確認する。

CATVの場合は「CATV」を選び、決定する。

確認する

地上波設定－手動チャンネル設定　　表示チャンネル 11

受信する放送：	一般放送
受信するチャンネル：	11
アップダウン選局：	する
ゴーストリダクション：	入
微調整：	自動

4 「受信するチャンネル」を選び、決定する。

5 追加したいチャンネル「11」を選び、決定する。

6 戻るボタンを2回押す。

「セットアップ」の「基本設定」に戻ります。

7 「ガイドチャンネル設定」を選び、決定する。

基本設定－ガイドチャンネル設定

ガイドチャンネル		表示チャンネル
NHK総合	-------------------	52
NHK教育	-------------------	50
260	-------------------	54
518	-------------------	56
264	-------------------	58
522	-------------------	60

8 空欄の行を選び、決定する。

基本設定－ガイドチャンネル設定

ガイドチャンネル		表示チャンネル
74	-------------------	BS7
75	-------------------	BS9
76	-------------------	BS11
77	-------------------	BS13
78	-------------------	BS15
----	-------------------	--

9 ↑↓で追加する放送局のガイドチャンネル「1291」を入力し、➡を押す。

各放送局のガイドチャンネルは「Gガイド/Gコード地域番号·放送局表」（23ページ）をご覧ください。

基本設定－ガイドチャンネル設定

ガイドチャンネル		表示チャンネル
74	-------------------	BS7
75	-------------------	BS9
76	-------------------	BS11
77	-------------------	BS13
1291		--

10 追加したい放送局のチャンネル「11」を入力し、決定する。

基本設定－ガイドチャンネル設定

ガイドチャンネル		表示チャンネル
74	-------------------	BS7
75	-------------------	BS9
76	-------------------	BS11
77	-------------------	BS13
78	-------------------	BS15
1291	-------------------	11

チャンネルが追加され、番組表でも正しく受信できるようになります。他のチャンネルも追加するときは、戻るボタンを2回押し、**ステップ2** 手順**3**以降の操作を繰り返します。

ちょっと一言

- CATVのVHF/UHF 放送の中には、本機で受信できるチャンネルがあります。手順**3**で「CATV」を選んで、チャンネルを設定してください。
- 表示チャンネル（Ⓐ）は62チャンネルまでですが、受信チャンネルはC63まで設定できます。

→ 番組表設定を誤って変更したときは

番組表の設定を誤って変更し、元に戻せなくなった場合は、「セットアップ」の「オプション」から「工場出荷設定」でお買い上げ時の設定に戻します。その後、「かんたん設定」（80ページ）をやり直し、再度**ステップ1** ～**ステップ5**を行います。

→ 番組表が受信できないときは

「故障かな？と思ったら」の番組表の項（82ページ）をご覧ください。

リモコンで他機も操作できるようにする

メーカー番号を設定すれば、テレビのチャンネルや音量、電源などや、AVアンプの音量を、本機のリモコンで操作できます。

1 TV/DVDスイッチを合わせる。

テレビを操作する設定のときは「TV」に、AVアンプのときは「DVD」にする。

2 電源ボタンを押したまま、メーカー番号を10の位、1の位の順で押す。

1の位まで押したら、電源ボタンから指を離す。メーカー番号が複数あるときは、設定したい機器が操作できるまで、順に試してください。

メーカー番号表

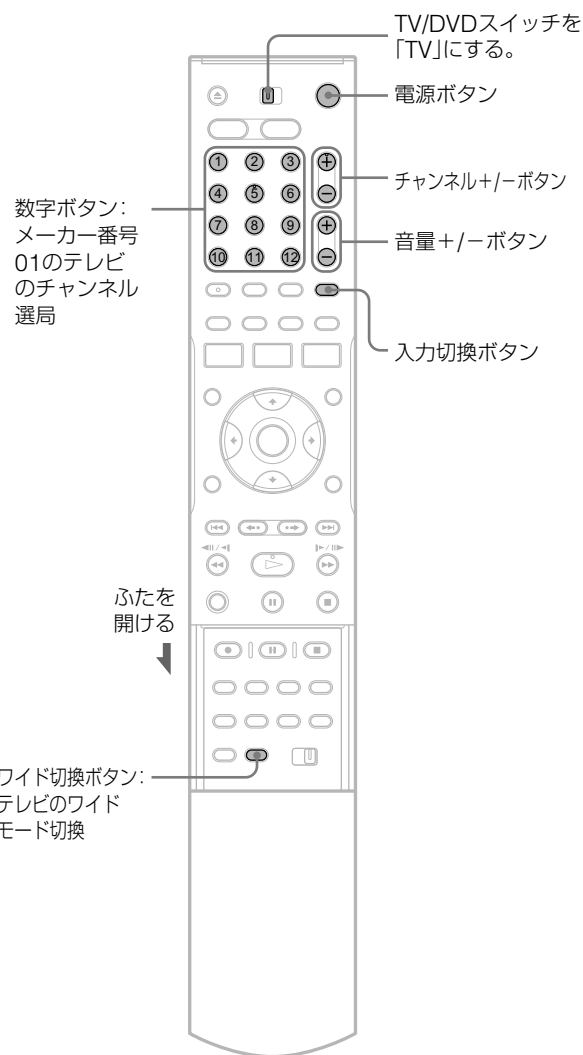
テレビのメーカー	メーカー番号
ソニー	01*、12
アイワ	01*、17
NEC	09
三星電子(SAMSUNG)	18、19
三洋電機	07、15
シャープ	08、16
東芝	03
日本ビクター	06
パイオニア	10
日立製作所	04
富士通ゼネラル	11
フナイ	14
松下電器	02、13
三菱電機	05

AVアンプのメーカー **	メーカー番号
ソニー	78、79、80、91
オンキョー	81、82、83
ケンウッド	92、93
山水電気	87
デノン	84、85、86
パイオニア	99
松下電器	97、98
ヤマハ	94、95、96

* お買い上げ時の設定です。メーカー番号01のソニー製・アイワ製のⓇマーク付きテレビなら、本機リモコンの数字ボタンで、テレビのチャンネルも切り換えられます。

** AVアンプのメーカー設定をしないとき(お買い上げ時の設定:90のままのとき)は、TV/DVDスイッチが「DVD」であっても、設定したテレビの音量を調節できます。

テレビを操作できるボタン

TV/DVDスイッチを「TV」に合わせてください。本機のリモコンをテレビに向けて、テレビを操作できます。

AVアンプの音量を調節する

TV/DVDスイッチを「DVD」に合わせてください。本機のリモコンをAVアンプに向けて、本機のリモコンの音量+/−ボタンで、AVアンプの音量を調節できます。

ご注意

- 機種によっては、メーカー番号を合わせても操作できないことや、一部のボタンが使えないことがあります。
- 本機のリモコンの電池を取り換えると、メーカー番号が自動的にお買い上げ時の設定に戻ることがあります。その場合は、もう一度設定してください。

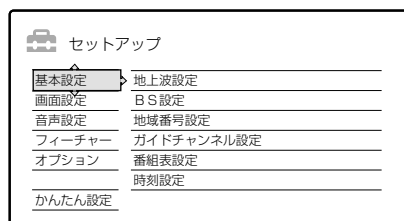
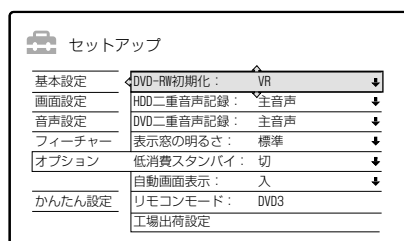
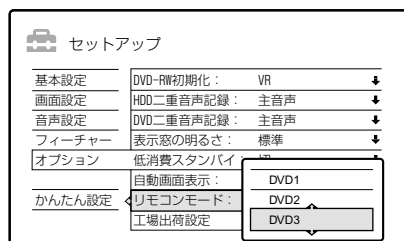
リモコンで他のソニー製DVD機器を誤って操作してしまうときは

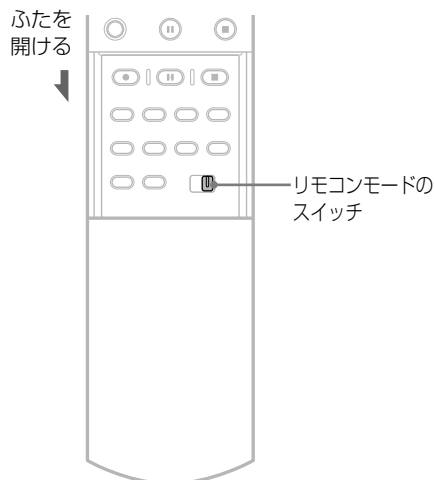
他のソニー製DVD機器のリモコンモードが、本機と同じ「DVD3」(お買い上げ時の設定)に設定されているためです。本機の本体とリモコン両方を「DVD1」または「DVD2」に変更してください。

1 「かんたん設定」(22ページ)が終わっていることを確認する。

終わっていないときは、まず、かんたん設定を行ってください。

2 システムメニューボタンを押す。

3 「セットアップ」を選び、決定する。

4 「オプション」を選び、決定する。

5 「リモコンモード」を選び、決定する。

6 本体のリモコンモード(DVD1/DVD2/DVD3)を選び、決定する。

7 手順6で設定した本体のリモコンモードに、リモコンのふたの中のリモコンモードスイッチを合わせる。

本体のリモコンモードを確認するには

電源「切」のときに、本体の■(停止)ボタンを押す。本体リモコンモードが表示窓に表示されます。

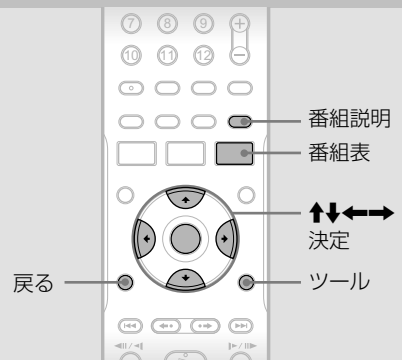
ご注意

- 「DVD1」にすると、本機以外のソニー製DVDプレーヤーを本機のリモコンで操作できます。ただし、その機器付属のリモコンに「DVDポータブル」および「DVDコンボ」と表記のあるDVDプレーヤーは、本機のリモコンで操作できません。

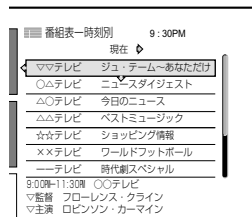
本体のリモコンモードを変更していない場合は、リモコンのリモコンモードはお買い上げ時の「DVD3」にしてください。「DVD1」や「DVD2」に変更すると、本機の操作ができなくなります。

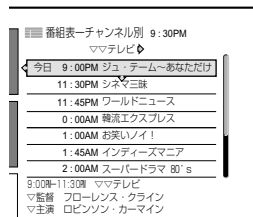
番組表(EPG)

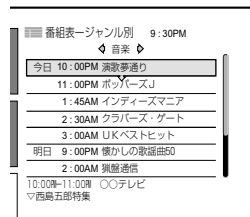
番組表を使う

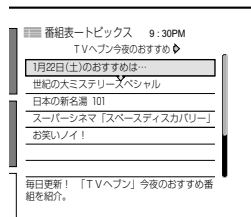
番組表は、新聞のテレビ欄のような番組一覧を約8日先までテレビ画面に表示します。見たい番組を選局したり、録画予約したりできます。

1 番組表ボタンを繰り返し押して、見たい番組表を表示する。

ジャンルやキーワードからも探せます(36ページ)。

時刻別

⬅➡で時刻を切り換える。先頭にホスト局(26ページ)が必ず表示されます。

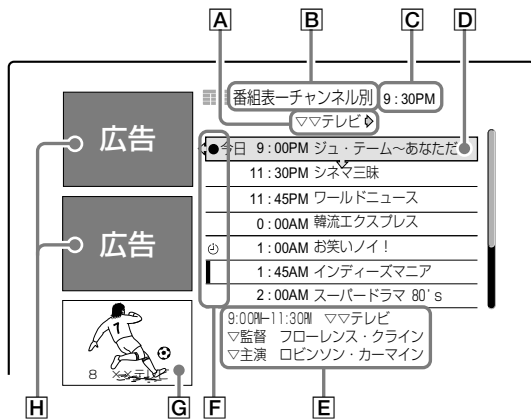
チャンネル別

⬅➡でチャンネルを切り換える。

ジャンル別

映画やスポーツなど、放送局指定のジャンル別に番組表示。
⬅➡でジャンルを切り換える。

トピックス

お勧めの番組やお知らせを表示。
⬅➡でトピックを切り換える。

- 番組表を閉じるには、戻るボタンを押す。

番組表の見かた

例:チャンネル別番組表

A 時刻/放送局/ジャンル/トピック
番組表の種類で切り換わる。

B 番組表の種類

C 現在時刻

D 番組名(または広告)

E 番組説明
選ばれている番組(ここではD)の説明が表示される。

F 録画/表示マーク
●(赤色):録画中の番組
⏻(赤色):録画予約されている番組
⏻(灰色):予約の一部が録画できない番組
▌:同じ時間に他チャンネルの番組が録画予約されている番組

G 番組表の表示直前に見ていた番組

H パネル広告
選ぶと説明が表示される広告もある。

番組表が表示できないときは

本機を正しく接続・設定後、はじめて番組表を表示するまでに1日(24時間)程度かかります。1日経っても番組表が表示できない場合は、「故障かな?と思ったら」の番組表の項(82ページ)をご覧ください。

指定した日付の番組表を見るには

① **番組表表示中にツールボタンを押す。**

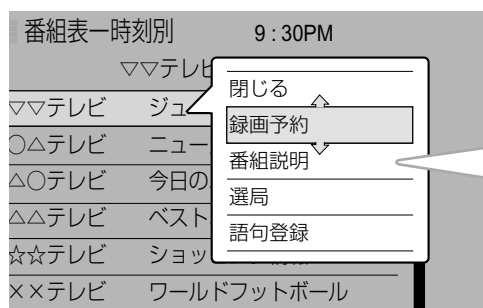
② **「日付指定」を選び、決定する。**

③ **日付を指定し、決定する。**
8日先までの日付を指定できます。

2 番組を選び、決定する。

サブメニューが表示されます。

3 実行したい項目を選び、決定する。

選んだ項目が実行されます。

各サブメニュー項目でできること

項目	設定
閉じる	サブメニューを閉じる。
録画予約	録画予約する（40ページ）。
番組説明	番組の詳しい情報を表示する。
選局	番組を表示する。放送前の番組の場合は、同じチャンネルで放送中の番組を表示する。
語句登録	番組名の一部などを語句登録する（37ページ）。

番組の詳しい情報を見るには

番組を選び、番組説明ボタンを押します。手順3で「番組説明」を選んでも、番組の詳しい情報を見ることができます。

ちょっと一言

- 番組表の1番上には、ホスト局が放送する番組が表示されます。
- 録画したタイトルの名前には、番組表に表示される番組名が引き継がれます（全角32文字/半角64文字まで）。

ご注意

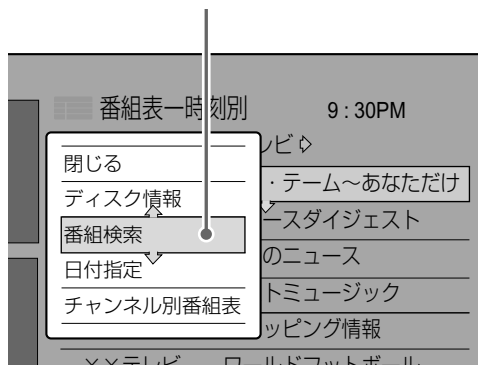
- 以下の番組は番組表に表示されません。
  - チャンネルを飛ばす設定（76ページ）をした放送局の番組
  - BSデジタルやCS放送の番組（CATV受信の場合も含む）
  - 放送大学の番組
  - CATV独自の番組（CATVのVHF/UHF放送の番組は表示できることがあります。CATV局に問い合わせてください。）

次のページにつづく⇨

ジャンルやキーワードで番組を探す

条件に合った番組をジャンルやキーワードなどから検索し、一覧表示します。

1 番組表表示中に、ツールボタンを押す。

2 「番組検索」を選び、決定する。

検索条件設定画面が表示されます。

3 条件を設定する。

①～③の各条件を設定します。

- 「**全取消**」：すべての設定を取り消す。

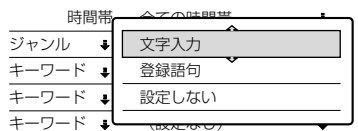
① 「**時間帯**」**を選び、決定する。**
放送時間帯を選び、決定する。

ジャンルについて

あらかじめ以下が設定されています。

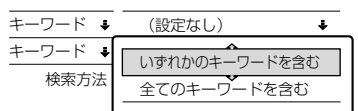
ジャンル	サブジャンル
地上波映画	全て、邦画、洋画
BS映画	全て、邦画、洋画
ドラマ	全て、一般ドラマ、時代劇、海外ドラマ
スポーツ	全て、野球、サッカー、ゴルフ、相撲、陸上競技、バレーボール、テニス、その他球技、ウィンター、モーター、水泳、格闘技、公営競技、国際大会
音楽	全て、国内ポップス、海外ポップス、クラシック、ジャズ、歌謡曲･演歌、コンサート、ランキング、カラオケ、キッズ、バラエティ
バラエティ	全て、クイズ、お笑い
アニメ	全て

② 「**キーワード**」の「**(設定なし)**」の行を選び、決定する。

キーワードの指定方法(ここでは「**文字入力**」)を選び、決定する。

文字入力画面で新しいキーワードを入力する。文字入力の方法は、38ページをご覧ください。

- 「**登録語句**」:あらかじめ入力した語句(下記「語句(キーワード)」を登録する」)から指定する。

③ 「**検索方法**」を選び、決定する。

指定したキーワード適用範囲を選び、決定する。

4 「確定」を選び、決定する。

検索された番組が一覧表示されます。

5 番組を選び、決定する。

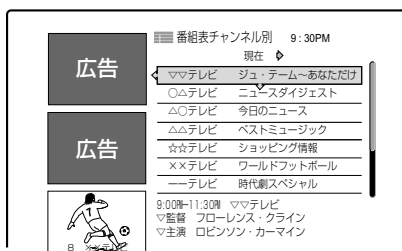
表示されるサブメニューから、実行したい項目を選ぶ。詳しくは、「各サブメニュー項目でできること」(35ページ)をご覧ください。

- 「**検索条件**」:検索条件を確認する。
- 「**絞り込み**」:検索条件を変更/追加する。

語句(キーワード)を登録する

キーワードは最大18個まで登録でき、「おまかせ条件設定」のキーワードにもなります(43ページ)。

文字入力(38ページ)、または以下のように番組説明の一部を選んで登録ができます。最大で全角10文字/半角20文字まで入力できます。

① 番組表から登録したい語句を含む番組を選び、決定する。

② 「**語句登録**」を選び、決定する。

③ 番組説明から登録したい語句の先頭を選び、決定する。

④ つづいて語句の末尾を選び、決定する。

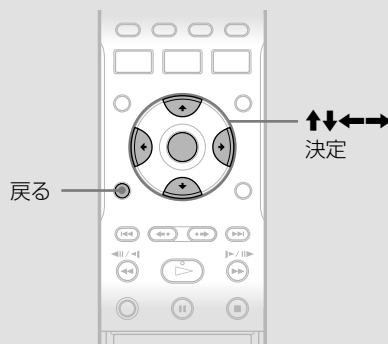
⑤ 「**閉じる**」を選び、決定する。

- 「**検索画面へ**」:検索条件設定画面で番組を検索する(36ページ)。

ご注意

- 一度登録した語句は、語句一覧(38ページ)がいっぱいになるまで削除できません。一覧がいっぱいになったら、画面の指示に従って、不要な語句を削除してください。

文字を入力する

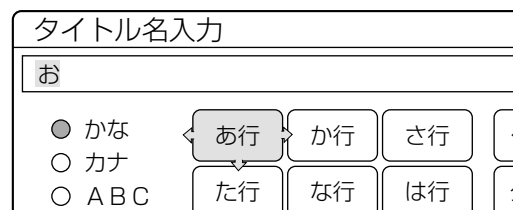
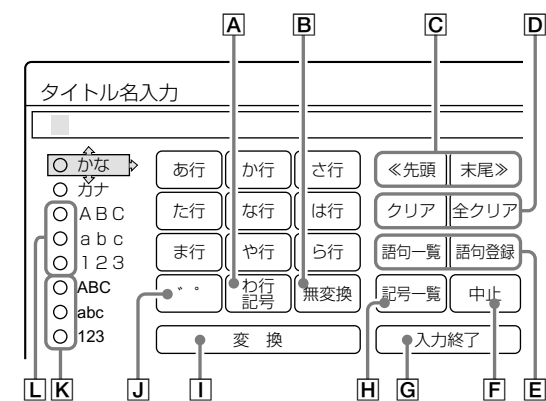
文字入力には画面に表示される入力キーを使う方法と、リモコンの数字ボタンを携帯電話のように使う方法があります。文字入力画面が表示されたら、以下のように操作してください。

1 使いたい文字種を選び、決定する。

↑↓←→で選び、決定ボタンで決定する(以下の操作も同様です)。

漢字に変換したいときは、「かな」を選ぶ。

2 画面のキーを選んで、決定ボタンを繰り返し押す。

文字が文字入力欄に表示されます。

例:「お」を入力するときは、「あ行」キーを選び、決定ボタンを5回押す。押すたびに「あ」→「い」→「う」→「え」→「お」と、表示が変わります。

文字入力画面の各キーについて

A わ、を、ん/記号/スペースを入力する。

B 漢字変換しない。

C 文字入力欄の先頭/末尾に移動する。

D クリア:文字入力欄で選んだ1文字を消す。
全クリア:文字入力欄の文字をすべて消す。

E 語句一覧:語句(キーワード)の一覧を見る。
語句登録:語句(キーワード)を登録する。

F 文字入力を中止する。

G 文字入力を終了する。

H 記号を一覧から入力する。

I 漢字変換する。

J 濁点/半濁点を入力する。

K 半角の英数字に切り換える。

L 全角の英数字に切り換える。

同じキーをさらに繰り返し押すと

「ぁ」→「ぃ」→「ぅ」→「ぇ」→「ぉ」と、小さい文字が表示されます。

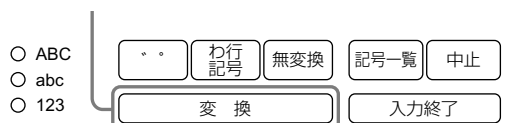
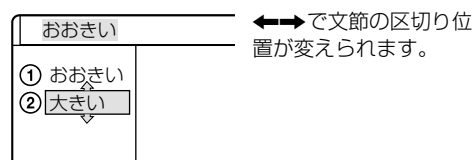
同じ行の文字を続けて入力するには

いったん他行のキーを選んでから、もう一度入力したい文字行のキーを選び、決定ボタンを押す。

ご注意

- 本機で録画したDVDを他機で再生した場合、入力したタイトル名/ディスク名の文字が表示されないことがあります。

3 漢字に変換するときは…

① **「変換」を選び、決定する。**

変換候補が表示されます。

② **変換候補を選び、決定する。**

漢字が確定されます。

漢字変換しないときは、「無変換」を選び、決定する。

続けて入力するときは、手順 1 ～ 3 を繰り返す。

文字を挿入するには、文字入力欄に移動後、←→で挿入したい位置の右にある文字を選び、文字を入力する。

4 文字をすべて入力し終えたら、「入力終了」を選び、決定する。

元の画面に戻ります。

文字入力を中止するときは、戻るボタンを押すか、画面で「中止」を選び、決定する。

携帯電話のように数字ボタンで入力する

画面の入力キーの並びと対応しているリモコンの数字ボタンでも、文字入力できます。

① **文字種切換ボタンを繰り返し押して、文字種を選ぶ。**

② **数字ボタンを押して、文字を入力する。**

文字が文字入力欄に表示されます。

③ **漢字に変換するときは、変換ボタンを押す。**

変換候補が表示されます。

←→で文節の区切り位置が変えられます。

変換しないときは、数字ボタン12（確定）を押す。

④ **選びたい変換候補に対応した数字ボタンを押す。**

続けて入力するときは、手順① ～ ④を繰り返す。

1文字消すには、消したい文字を選び、クリアボタンを押す。

全文字を消すには、先頭の文字を選び、クリアボタンを2秒間押し続ける（選んだ文字以降がすべて消去されます）。

⑤ **文字をすべて入力し終えたら、数字ボタン12（確定）を押す。**

元の画面に戻ります。

ちょっと一言

- 同じボタンを繰り返し押すと、「ぁ」→「ぃ」→「ぅ」→「ぇ」→「ぉ」と、小さい文字が表示されます。
- 同じ行の文字を続けて入力するには、➡を押してから、もう一度入力したい文字行のボタンを押します。

番組表で録画する

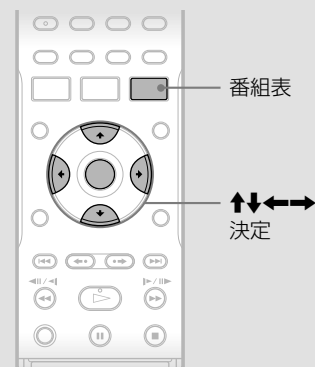
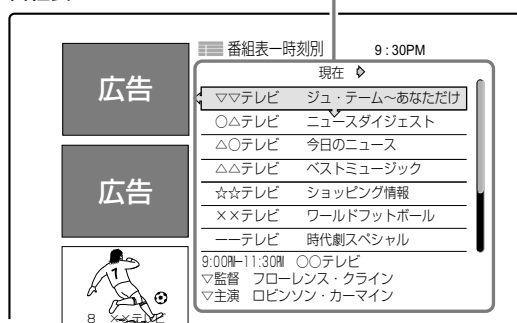
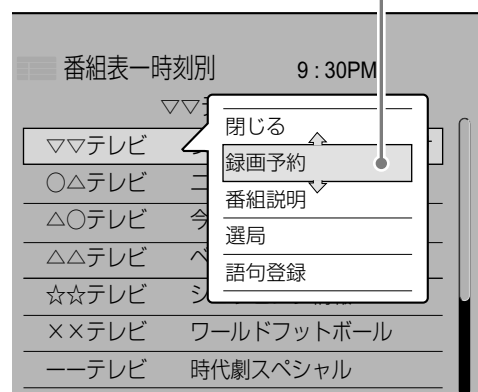
HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video

他の予約方法と合わせて、80番組まで予約できます。
現在放送中の番組も同じ方法で録画できます。
2番組同時録画については46ページをご覧ください。

1 番組表ボタンを繰り返し押して、見たい番組表を表示する。

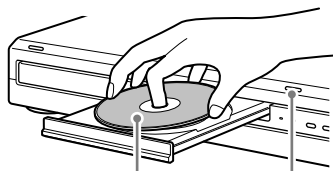
番組表について詳しくは、34ページをご覧ください。

2 番組を選び、決定する。

番組表

3 「録画予約」を選び、決定する。

DVDに録画するときは

DVDに直接録画することもできます。目的に合わせてディスクを選んでください(50ページ)。
録画後、他機で再生する場合はファイナライズしてください(71ページ)。

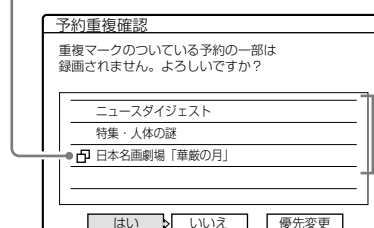
ディスクの入れかた

① ≏(開/閉)ボタンを押してディスクトレイを開け、ディスクを入れる。

② もう一度≏(開/閉)ボタンを押してトレイを閉める。
本体表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

一度も録画していないDVDを入れた場合は、自動的に初期化されます。DVD-RWの場合は、「オプション」の「DVD-RW初期化」で設定した記録フォーマット(「VR」または「ビデオ」)で初期化されます(80ページ)。初期化されていないDVD-Rの場合は、ビデオモードで初期化されます。未記録状態のDVD-RはVRモードで初期化し直すことができます。VRモードへの初期化は、ディスク情報画面で行います(71ページ)。

トレイをロックする(チャイルドロック)
お子様が誤ってディスクトレイを開け閉めしないよう、トレイをロックすることができます。
■(停止)を約10秒間押したままにします。本体表示窓に「LOCKED」が表示され、ディスクトレイがロックされます。解除するときは、もう一度■(停止)を約10秒間押してください。

予約が重なったときは

手順4の後に予約重複確認の画面が表示されます。新たに登録した予約と重複し、一部またはすべてが録画されない番組には、予約重複マーク(⧉) が付きます。

4 「はい」を選び、決定する。

番組表に戻り、予約した番組に⏻が表示されます。本体の録画予約ランプが点灯し、予約待機になります。録画が始まると●（赤色）が表示されます。

DVDに録画するには

上記の画面で「修正」を選んで決定し、「録画先」をDVDに設定する（右記）。

「修正」を選び、決定すると

より細かく予約できます。

←→で項目を選び、↑↓で設定する。

項目	設定
録画先	HDDかDVDを選ぶ。
モード	録画モード（50ページ）を変更する。
毎回録画	毎週や毎日放送される番組を録画する。
延長	最長60分まで録画終了時間を遅らせる。スポーツ延長対応（48ページ）と併用で、さらに延長できる。
更新（HDDのみ）	毎回録画で、新しい回の録画時に前回分を消し、空き容量を確保する。
優先変更	予約の優先順位を変更する（47ページ）。

- 「**はい**」：予約をそのまま設定する。予約の優先順位に従って録画します。
- 「**いいえ**」：予約を取り消す。
- 「**優先変更**」：予約の優先順位を変更する（47ページ）。

予約を変更/取消するには

① **予約リストまたは番組表から、変更/取消する番組を選び、決定する。**

② **項目を選び、決定する。**
- 「**予約修正**」：「「修正」を選んで決定すると」（上記）と同様。
- 「**予約消去**」：予約を取り消す。

録画モード自動調整について

録画先のディスク容量が不足すると、空き容量に合わせて自動的に低い録画モードに変更し、番組をすべて録画しようとします。この機能はお買い上げ時に「入」に設定されています（48ページ）。

予約録画中に録画を止めるには

リモコンのふたの中の■（録画停止）ボタンを押す。

音声多重放送を録画するときは

「セットアップ」の「オプション」で、「HDD二重音声記録」または「DVD二重音声記録」から録画する音声を選んでください（80ページ）。

ちょっと一言

- 番組表に表示されない日時（8日以上先）の番組は、日時指定やGコード予約で予約できます（44ページ）。
- キーワードやジャンルなどを指定して番組を検索したり、録画予約したりできます（36ページ）。
- スポーツ中継などの放送延長に合わせ、その後の録画が自動的に延長されることがあります（「スポーツ延長対応」48ページ）。
- 番組表からDVDに予約録画したタイトルには、タイトル名の後に「GG」が付きます。また、番組表からHDDに予約録画したタイトルを、編集せずにDVDにダビングした場合も同様です。

ご注意

- 優先順位の高い番組（47ページ）を録画中、重なった予約は録画されません。
- 「毎回録画」を設定しても、優先順位の高い予約が重なっている日は予約録画されません。予約リスト（46ページ）上に、予約重複マーク（⧉）が付いた番組は、優先順位を確認してください。
- 「録画モード自動調整」（48ページ）が「入」（お買い上げ時の設定）でも、録画不可のメッセージが出たときは、DVDを入れ換えるか、HDDやDVD+RW、DVD-RWの場合はタイトルを消去して空きを作ってください（62ページ）。
- 「録画モード自動調整」は、録画ボタンによる録画（クイックタイマー）（45ページ）、シンクロ録画（72ページ）では働きません。また、HDDへの録画時、「自動消去」が「入」のときも働きません。
- AVマウス付きテレビ/チューナーからの録画予約については、接続する機器の取扱説明書をお読みください。

興味のある番組を自動で録画する（おまかせ・まる録）

HDD

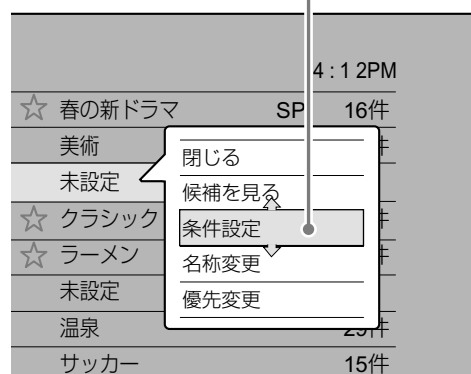
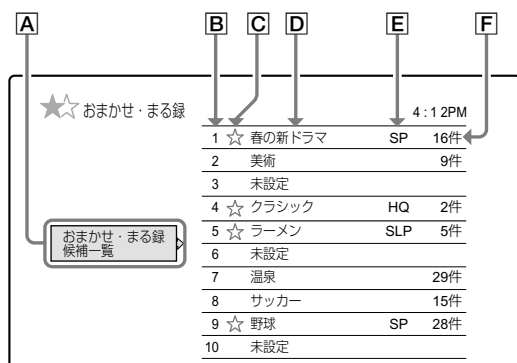
ジャンルやキーワードなど、お好みの条件に合った番組を番組表から検索し、HDDに自動で録画します。

おまかせ・まる録でも2番組同時録画（46ページ）ができます。

1 おまかせ・まる録ボタンを押す。

2 「未設定」の条件を選び、決定する。

おまかせ・まる録画面

3 「条件設定」を選び、決定する。

おまかせ・まる録画面の見かた

A 「おまかせ・まる録候補一覧」

B おまかせ条件の優先順（1～10）

C 自動録画「入」マーク

D 条件名（お買い上げ時は、おまかせ条件が3つ設定済み。変更も可能です。）

E 自動録画「入」時の録画モード

F 検索件数：条件に合った番組件数

各設定条件にあったすべての候補を確認するには―おまかせ・まる録候補一覧

上記の手順**2**で「おまかせ・まる録候補一覧」を選び、決定する。最大200件まで表示され、➡を押すと、各条件の候補が一覧表示されます。

おまかせ・まる録候補一覧

他の予約と重なっているときは

本機は2番組同時録画に対応していますが、時間の重なる番組を3つ以上同時に録画することはできません。予約リストの予約と重なっている▌(赤)表示の番組や、他のおまかせ・まる録と重なっている▌(緑)表示の番組は録画されません。予約リストの予約は、必ず「おまかせ・まる録」よりも優先されます。

① **録画したい番組を選び、決定する。**

② **「録画予約」を選び、決定する。**

番組が予約リストに登録され、⏻(赤)が表示されます。

4 条件を設定する。

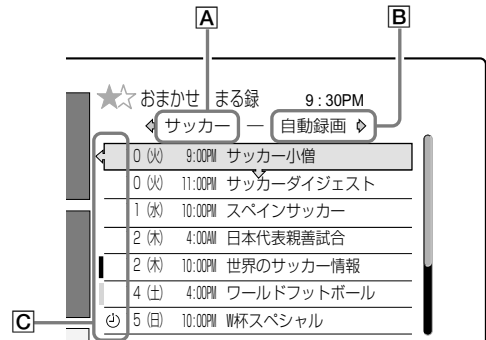
① 時間帯やジャンル、キーワードの各条件を設定し、決定する（詳しくは36ページ）。

② 「入」に設定して、決定する。

「切」：自動録画せず、条件に合った候補を表示する。

③ 「確定」を選び、決定する。

- 「中止」：設定を途中で止める。
- 「全取消」：設定中の条件をすべて取り消す。

5 設定条件に合った番組を確認する。

A 条件名（手順4で設定したキーワードまたはジャンル名）
B 自動録画の設定
C 表示マーク

▌(赤)*：予約リストの予約と重なっているため、録画されない番組
▌(緑)*：優先順位の高い「おまかせ・まる録」と重なっているため、録画されない番組
⏻(赤)：予約リストに登録され、録画される番組
⏻(灰)：一部が録画できない番組
●(赤色)：録画中の番組

＊ 下記「おまかせ・まる録の優先ルールについて」もご覧ください。

再度、条件を変更するときは、ツールボタンを押して、「おまかせ条件設定」を選び、決定する。

おまかせ・まる録の優先ルールについて

おまかせ・まる録で時間の重なる番組が3つ以上ある場合、録画は以下の3つの優先ルールに沿って行われます。

優先ルール1：

おまかせ・まる録画面で、優先順位の高い2番組が優先されます。優先順位は変更できます。

① 上記の手順2で、順位を変更したい条件を選び、決定する。

② 「優先変更」を選び、決定する。

③ 順位の移動先を選び、決定する。

優先ルール2：

同じ設定条件の番組では、開始時刻の早い2番組が録画されます。

優先ルール3：

さらに、開始時刻も同じ場合は、チャンネル番号の小さい2番組が録画されます。

優先ルールの2と3で、優先度の低い番組を録画したいときは、「他の予約と重なっているときは」と同様、予約リストに登録してください。

ちょっと一言

- おまかせ・まる録の録画を止めるには、録画を止めたい番組を表示中に、リモコンのふたの中の■（録画停止）ボタンを押します。
- 番組を確実に録画したいときは、番組表からの予約録画をお勧めします。

ご注意

- 番組表が正しく受信されないと、おまかせ・まる録は働きません。また、キーワードと番組表の文字が一致しないと、番組が検索されません。
- おまかせ・まる録では、自動消去の設定に関わらず、HDD空き容量に応じ古いタイトルから自動消去されます。消去したくないタイトルは保護してください（63ページ）。
- おまかせ・まる録の録画中は、録画時間延長できません。

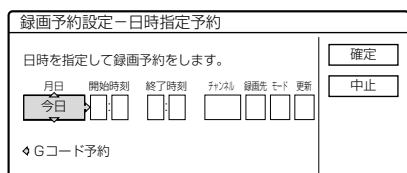
その他の録画予約方法

HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video

従来のビデオと同様に、日時指定やGコード番号で1カ月先までの番組や、毎日または毎週の番組を予約できます。番組表予約と日時指定予約、Gコード予約と合わせ、80番組まで予約できます。
予約が重なったときは、予約重複確認の画面が表示されます(40ページ)。
「予約リスト」で、予約の確認･変更･取り消しができます(46ページ)。

日時を指定して予約する(日時指定予約)

1 予約ボタンを押す。

録画予約設定－日時指定予約
日時を指定して録画予約をします。
月日 開始時刻 終了時刻 チャンネル 録画先 モード 更新
今日
Gコード予約
確定
中止

「録画予約設定－Gコード予約」画面が表示された場合は、←を押して切り換えます。

2 画面上の各項目を設定する。

←→で項目を選び、↑↓で設定する。
「録画先」、「モード」、「更新」について詳しくは、「「修正」を選び、決定すると」(41ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

- 外部のチューナーから録画する場合は、チャンネルをチューナーを接続している入力(L1～L3)に切り換えてください。
- 「更新」を「入」にすると、毎回録画を設定したときに、前回分を消してHDDの空きを確保するため、新しい回を録画できます。

3 「確定」を選び、決定する。

予約リストが表示されます。
本体の録画予約ランプが点灯し、本機が予約待機になります。

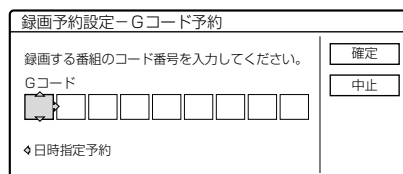
ちょっと一言

- 予約録画を途中で止めるには、リモコンのふたの中の■(録画停止)ボタンを押します。
- タイマー機能のないデジタルチューナーから録画するには、チューナーの電源を入れ、接続している入力に切り換えて録画したい番組を選びます。録画が終わるまでチューナーの電源は切らないでください。タイマー機能付きの機器では、シンクロ録画機能を使えます(72ページ)。

Gコード番号で予約する

新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されているGコード番号で予約します。番組の日時とチャンネルが自動的に設定されます。

1 予約ボタンを押す。

録画予約設定－Gコード予約
録画する番組のコード番号を入力してください。
Gコード
日時指定予約
確定
中止

「録画予約設定－日時指定予約」画面が表示された場合は、←を押して切り換えます。

2 数字ボタンでGコード番号を入れ、数字ボタンの12(確定)を押す。

間違えたときは、クリアボタンを押して、正しい番号を入れ直す。

3 「確定」を選び、決定する。

予約内容が表示されます。
内容を変更するときは、←→で項目を選び、↑↓で設定します。

- 「**コード変更**」:Gコード番号を入れ直す。

4 「確定」を選び、決定する。

予約リストが表示されます。
本体の録画予約ランプが点灯し、本機が予約待機になります。

音声多重放送を録画するときは

「セットアップ」の「オプション」で、「HDD二重音声記録」または「DVD二重音声記録」から録画する音声を選んでください(80ページ)。

BS放送やCATVの番組をGコード予約するには

ケーブルテレビやマンションの共同受信システムなどで、BS放送を本機でご覧になれる場合

(例:BS7チャンネルが24チャンネルで映っているとき)

1. 「セットアップ」の「基本設定」から「ガイドチャンネル設定」を選び、決定する。
2. BS7の行を選び、決定する。
3. 表示チャンネルに「24」を入れ、決定する。

本機の入力端子にCATVチューナーなどを接続した場合

1. 「セットアップ」の「基本設定」から「ガイドチャンネル設定」を選び、決定する。
2. 空欄の行を選び、決定する。

③ 予約したい放送局のガイドチャンネルを下表から選んで入れ、➡を押す。

放送の種類	放送局名:ガイドチャンネル
BS	NHK衛星第1:**74** NHK衛星第2:**76** WOWOW:**73**
ケーブルネットワーク	NNN24:**40** CSN1ムービーチャンネル:**49** チャンネルNECO:**50** ゴルフネットワーク:**51**

④ 表示チャンネルで接続している入力端子を選び、決定する。

ご注意
- あらかじめ設定されているガイドチャンネルの変更や削除はできません。また同じガイドチャンネルは、追加できません。

見ている番組を録画する（クイックタイマー）

2番組同時に録画できます。同一チャンネルをクイックタイマーで録画することはできません。

1 チャンネル＋/－ボタンで、番組を選ぶ。

2 HDDボタンまたはDVDボタンで、録画先を選ぶ。

DVDを選んだときは、録画用のDVDを入れる。

3 リモコンのふたの中の録画モードボタンで、録画モード（50ページ）を選ぶ。

4 リモコンのふたの中の●（録画）ボタンを押す。

録画が始まります。
録画ボタンを繰り返し押すと、録画を止めるまでの時間を、30分単位で最長6時間まで設定できます（クイックタイマー）。

0:30 → 1:00 → … → 5:30 → 6:00 →（通常の録画）
↑___________________________________|

ちょっと一言
- 番組表を使って、今見ている番組を録画することもできます（40ページ）。番組が終了すると自動で録画が終わります。
- 録画中に電源を切っても、終了時間まで録画が継続されます。
- 2番組同時にクイックタイマーを設定するには、手順**4**まで実行した後、チャンネル＋/－ボタンで録画したい番組を選び、手順**2**から**4**を行います。

ご注意
- 8時間続けて録画したり、HDDやDVDの空きが無くなったときは、録画は自動的に止まります。
- 録画中または録画一時停止中に録画モードは変更できません。

→ 録画を停止するには

録画中の番組を本機で視聴中に、リモコンのふたの中の■（録画停止）ボタンを押す。
2番組同時録画中は、視聴中のチャンネルのみ録画停止します。

→ 録画を一時停止するには

録画中の番組を本機で視聴中に、リモコンのふたの中のII（録画一時停止）ボタンを押す。
2番組同時録画中は、視聴中のチャンネルのみ録画一時停止します。
一時停止を解除するには、もう一度IIボタンを押します。

→ 音声多重放送を録画するときは

「セットアップ」の「オプション」で、「HDD二重音声記録」または「DVD二重音声記録」から録画する音声を選んでください（80ページ）。

録画の画質・映像サイズを設定する

録画前にツールボタンを押して、「録画設定」を選び、決定すると以下の設定ができます。

項目	設定
録画モード	録画時間や画質に応じてモードを選ぶ。詳しくは「録画モードと録画可能時間」（50ページ）をご覧ください。
HDD録画横縦比 DVD録画横縦比	録画番組に合った映像サイズを選ぶ。 • 4:3（お買い上げ時の設定） • 16:9:ワイド画面に設定するときに選ぶ。 • 自動（HDDのみ）:録画番組の映像サイズに自動で合わせる。
録画NR*	映像信号に含まれているノイズを低減する。ノイズの多いシーンや動きの激しいシーンを検出し、低減効果を自動調整します。 • 数字を大きくするほど効果が強まる（お買い上げ時の設定:2）。 **ご注意** • 「録画NR」を使うと、残像が現れることがあります。
録画画質調整	以下の項目を調整する（（　）内はお買い上げ時の設定）。 DV入力端子からの録画には効果がありません。 • コントラスト（0）:数字を大きくするほど、コントラスト（明暗差）が強まる。 • 明るさ（0）:明度を調節する。数字を大きくするほど、明るくなる。 • 色の濃さ（0）:彩度を調節する。数字を大きくするほど、濃くなる。 • 色あい（0）:色相を調節する。数字を小さくするほど赤っぽく、数字を大きくするほど、緑っぽくなる。

* ノイズリダクションの略。

次のページにつづく⇨

「DVD録画横縦比」の設定について

ディスクによって、以下のように設定されます。

- +RW +R：すべて4:3で録画される。
- -RW VR -R VR：設定に関わらず、録画番組の映像サイズに合わせて録画される。
- -RW Video -R Video：録画モードがHQまたはHSP、SP、LSPに設定されている場合のみ設定が有効。その他の録画モードでは、4:3で録画される。

ご注意

- 映像サイズが混在する番組では、設定したどちらかの横縦比で録画されます。ただし、16:9で録画できない場合は、4:3で録画されます。

2番組同時録画について

HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video

本機は地上波チューナーを2つ搭載しているため、放送時間の重なる2つの番組を録画することができます。

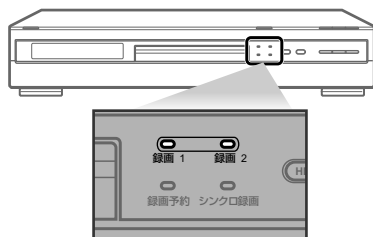
2番組同時録画できる放送

- 地上波放送と地上波放送
- 地上波放送とBS放送

2番組同時録画の録画先

- HDDとHDD
- HDDとDVD

2番組同時録画の本体表示

2番組同時録画中は、本体の「録画1」と「録画2」のランプが両方点灯します。

ご注意

- DVDに2番組同時録画はできません。
- BS放送の番組を2番組同時録画はできません。
- 同じ番組を2つ録画することはできません。

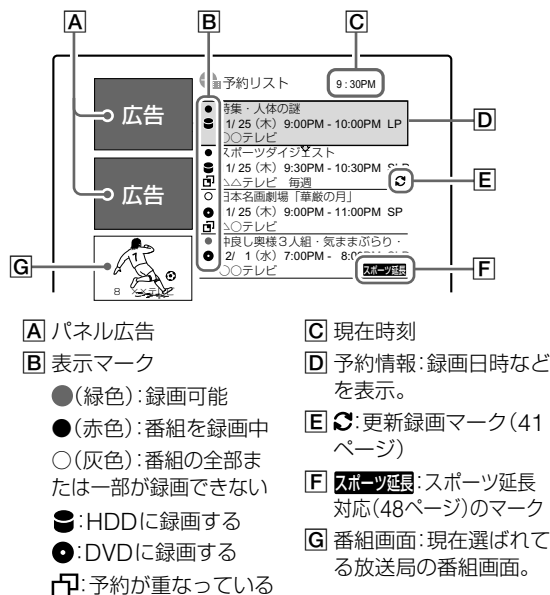
予約を確認する（予約リスト）

HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video

1 予約リストボタンを押す。

予約リストが表示され、予約状態が確認できます。

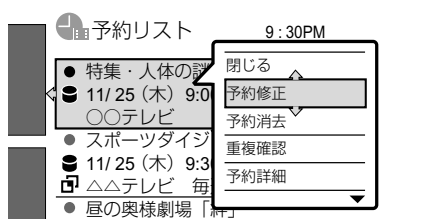
予約リストの見かた

A パネル広告
B 表示マーク
●（緑色）：録画可能
●（赤色）：番組を録画中
○（灰色）：番組の全部または一部が録画できない
：HDDに録画する
：DVDに録画する
：予約が重なっている
C 現在時刻
D 予約情報：録画日時などを表示。
E ：更新録画マーク（41ページ）
F スポーツ延長：スポーツ延長対応（48ページ）のマーク
G 番組画面：現在選ばれてる放送局の番組画面。

2 予約が重複している番組がないか確認する。

重複している番組には（予約重複マーク）が付いています。重複していても優先順位がもっとも高い番組には付きません。

重複している番組があるときは

意図しているとおりに録画されないことがあります。手順3以降に従い、予約の優先順位を変更してください。

3 重複している番組を選び、決定する。

4 「重複確認」を選び、決定する。

予約重複確認画面が表示されます。

5 「優先変更」を選び、決定する。

予約優先変更画面が表示されます。

6 優先順位の移動先を選び、決定する。

上から優先度の高い順です。

→ あらかじめ優先順位を設定するには

放送時間の変更により、予約が重なる場合があります。そのため、あらかじめ予約の優先順位を設定しておけます。

① **予約リスト表示中にツールボタンを押す。**

② **「優先順確認」を選び、決定する。**

③ **優先順位を変更したい番組を選び、決定する。**

④ **優先順位の移動先を選び、決定する。**

ちょっと一言

- 録画中でも予約の優先順位を変えられます。

ご注意

- 「予約リスト」の録画は「おまかせ･まる録」より優先します。

予約リストのサブメニュー項目

予約を選び決定すると、サブメニューが表示されます。項目を選び決定すると、次の操作ができます。

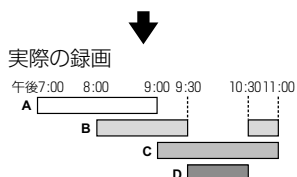
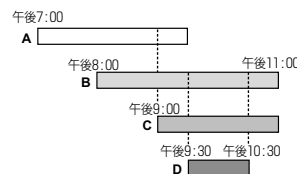
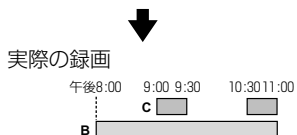
項目	操作
録画延長	予約録画中に録画時間を延長する（49ページ）。10分ごとに最長60分まで延長できます。
予約修正	予約内容を修正する。詳しくは「「修正」を選び、決定すると」（41ページ）をご覧ください。
予約消去	予約を取り消す。
重複確認	予約の重複を確認する。詳しくは「予約を確認する（予約リスト）」（46ページ）をご覧ください。
追跡情報	「番組追跡録画」詳細情報を表示する（48ページ）。
予約詳細	予約の詳細情報を表示する。

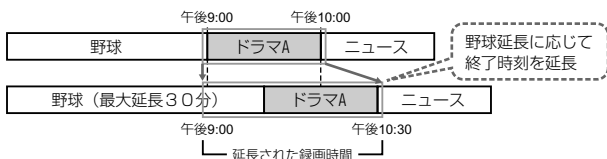
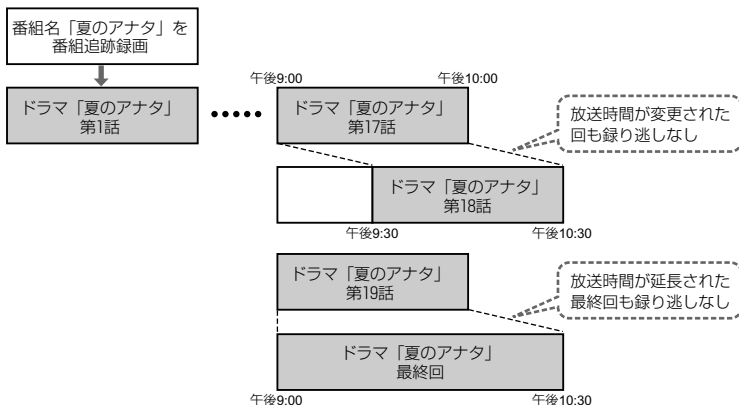
予約の優先順位について

本機では、予約が重なった場合、録画の優先順位に従って録画します（地上波放送同士、または地上波放送とBS放送の場合は、時間の重なる2番組を同時に録画できます）。優先順位は予約方法（おまかせ･まる録は除く）に関わらず、後から予約した番組ほど高くなります。そのため、優先順位の低いものは意図したとおりに録画されないことがあります。

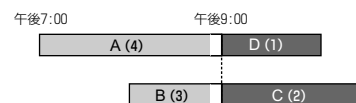
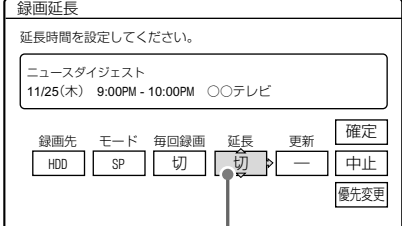
重要な録画の場合は、予約リストで優先順位を確認し、必要に応じて上位に変更してください。

例1：番組A、B、C、Dの順に予約した場合

番組Dの優先順位が一番高くなります。

番組Bの優先順位を番組Dよりも高くすると、番組Bはすべてが録画され、番組Cは一部が録画されなくなります。

ご注意

- BSチューナーはひとつだけ搭載しているため、BS放送同士の予約が重なった場合は、優先順位が高い1番組が録画されます。

例2：2番組同時録画中の番組A/Bの終了時刻と、番組C/Dの開始時刻が同じ場合

4番組のうち、優先順位の高い2番組はすべて録画されますが、低い2番組は先頭部または最後部が録画されません。優先順位がD、C、B、Aの順に高い場合は、下図のように番組AとBの最後部は録画されません。

次のページにつづく⇨

予約録画に関わる便利な機能

予約した番組を録画するため、本機には以下の機能があります。予約リストでツールボタンを押した後、⬆⬇と決定ボタンで各機能を選び、設定を変更できます。

項目	お買い上げ時の設定	内容
スポーツ延長対応	入	スポーツ中継の放送延長により、予約した番組の放送時刻が変わる可能性がある場合、自動的に録画終了時刻を最大延長時間分(最大120分)延長して録画します。予約リストで、この機能に対応した予約には スポーツ延長 がつきます。 次の条件をすべて満たしている場合、録画終了時刻が延長されます。 • 予約番組の放送開始時刻より前に、同じチャンネルでジャンルが「スポーツ」の中継番組の放送予定がある • スポーツ中継番組の「番組説明」に「延長」、「終了まで」、または「完全中継」という語句がある • スポーツ中継番組が、午後7:00から午後9:00の間に、放送開始または終了する • 予約番組の終了時刻が翌日午前5:00より前である 例:予約したドラマAは、最大30分間の放送延長がある野球中継後に放送されます。延長時間の情報があると、ドラマAの録画終了時刻は自動的に30分延長されます。 自動延長された結果、他のチャンネルの予約と重なった場合、録画は予約の優先順位に従います(47ページ)。 延長時間の情報がないときは、「セットアップ」の「フィーチャー」の「スポーツ延長対応」で設定した時間分(30分/60分/120分)録画が延長されます(79ページ)。
番組追跡録画	入	番組表データの番組名を追跡して、予約した番組を録画します。連続ドラマなどを毎回予約時に、放送時間が拡大された最終回だけ放送時間が違う場合などでも、逃さず録画できます。また、1回だけの予約の場合で、録画前に番組表データの更新があった場合も、最新の情報に合わせて録画時間を自動補正します。番組の検索は、予約時の番組の開始時刻1時間前から終了時刻1時間後の範囲で行われます。 **ちょっと一言** • 番組表データ更新後の番組名が予約時と大きく異なり追跡できないときは、番組名を変更すると追跡できることがあります。変更はサブメニューの「追跡情報」から行います(47ページ)。 **ご注意** • 数字の多い番組名、短い番組名の場合、この機能が働かないことがあります。
録画モード自動調整	入	HDDやDVDの容量が不足すると、空き容量に合わせて低い録画モードに自動的に変更し、番組をすべて録画しようとします。
自動消去(HDDのみ)	切	予約録画と「おまかせ・まる録」実行時にHDDの空き容量が不足した場合、再生済みタイトルを古い順に自動的に消去します。ただし、保護(プロテクト設定)されたタイトルは消去されません。また、録画中のタイトルは自動消去されません。 **ご注意** • この機能の設定に関わらず、「おまかせ・まる録」で録画されたタイトルで再生済みのものは、空き容量が不足した場合、古い順に消去されます(43ページ)。

録画中にできる操作（ツールボタン）

ツールボタンを押した後、↑↓と決定ボタンで以下の操作ができます。

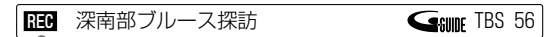
項目	操作
追いかけ再生	録画中の番組を最初から再生する（57ページ）。 **ご注意** • 以下のDVD-RW（VRモード）の場合、この機能は使えません。 – 1倍速対応のDVD-RW – 録画モードがHQまたはHSPのとき
録画停止	録画を停止する。2番組同時録画中は視聴中の番組の録画を停止する。
録画延長 （予約録画中のみ表示）	10分ごとに最長60分まで、録画時間を延ばす。
ディスク情報	ディスク情報画面を表示する。ファイナライズ、初期化などの操作をする（71ページ）。
再生	前回再生したタイトルを、前回再生停止した場面から再生する。
頭出し再生	前回再生したタイトルを、最初から再生する。
番組説明	録画中の番組の説明が表示されます。
録画設定	以下の項目を調整する。 • 録画モード：録画時間や画質に応じてモードを選ぶ（50ページ）。 • HDD録画横縦比/DVD録画横縦比：録画番組に合った映像サイズを選ぶ。 – 4：3（お買い上げ時の設定） – 16：9：ワイド画面に設定するときに選ぶ。 – 自動（HDDのみ）：録画番組の映像サイズに自動で合わせる。 • 録画NR：ノイズの多いシーンや動きの激しいシーンを検出し、映像信号に含まれているノイズを自動で低減する。数字を大きくするほど効果が強まる（お買い上げ時の設定：2）。 **ご注意** • 録画中でも設定できますが、次の録画から有効です（実行中の録画には反映されません）。 • 録画中は「録画画質調整」はできません。
再生画質設定	58ページをご覧ください。
オーディオ設定	58ページをご覧ください。

録画中の画面表示

→ テレビ画面表示

リモコンのふたの中の画面表示ボタンを繰り返し押すと、以下の画面1、画面2、表示なしの順で、情報が画面に表示されます。

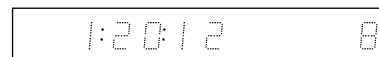
画面1（画面上部に表示）

番組名、チャンネル

録画中の番組には、録画中を示すマークが表示されます。

画面2（画面下部に表示）

録画先のメディア、録画モード、録画経過時間

→ 本体表示窓の表示

録画の経過時間とチャンネルが表示されます。

録画についてのご注意

放送や映像ソフトには、内容の複製を防ぐために、コピー防止信号が含まれているものがあります。この信号の種類により、本機の録画対象は、「録画自由」、「1回だけ録画可能」、「録画禁止」の3種類に分かれます。
種類ごとに録画できるディスクが異なります。

	コピー防止信号の種類		
	録画自由(信号なし)	1回だけ録画可能	録画禁止
放送や映像ソフトの例	**本機内蔵チューナーで受信する…** • 地上アナログ放送 • BSアナログ放送 **本機の入力端子から入る…** • ビデオデッキなどのアナログ信号 • PPV[1]を除くCS放送など	**本機の入力端子から入る…** • 地上デジタル放送 • BSデジタル放送 • 110˚CSデジタル放送	• 市販のDVDソフト(DVDビデオ) **本機の入力端子から入る…** • CS放送などのPPV[1] • BSデジタル放送の一部
録画できるディスク	HDD +RW +R -RW VR -RW Video -R VR -R Video	HDD -RW VR [2] -R VR [2) 3)]	録画不可 (灰色の画面が録画される)

1) PPV(Pay Per View:ペイ・パー・ビュー)は、番組単位で視聴購入できる「見るたびに支払う」番組です。

2) CPRM対応ディスクのみ。CPRM(Content Protection for Recordable Media)は、著作権保護のために映像素材を暗号化する技術です。

3) 「1回だけ録画可能」の番組をDVD-Rに録画する場合は、必ずあらかじめVRモードで初期化してください(71ページ)。

録画モードと録画可能時間

ビデオテープの標準/3倍録画モード同様、HDDやDVDでも、録画モードボタンでお好みの録画モードを選べます。
録画モードが高画質になるほど、美しく録れる反面、データ量が多いため記録可能時間は短くなります。
逆に、長時間対応になるほど、長く録れる反面、データ量が少ないため画質は粗くなります。

HQ+について(HDDのみ)

より高画質で録画できるモードです。「セットアップ」の「フィーチャー」で「HQ画質設定」を「HQ+」に設定すると使用できます(79ページ)。ただし、表示は「HQ」となります。

ご注意

• 1タイトルの最長録画時間は、HDD、DVDともに8時間です。録画できる最大タイトル数は以下のとおりです。

ディスクの種類	タイトル数
HDD	300
DVD-RW/DVD-R	99
DVD+RW/DVD+R	49
DVD+R DL	49

• 以下のようなとき、録画可能時間が異なることがあります。
  – 受信状態の悪いテレビ放送など、画質が悪い番組を録画する場合
  – 編集されたDVDに追加して録画する場合
  – 静止画像や音声のみを録画し続けた場合

録画モード	録画可能時間(目安)			
	HDD(本機内蔵)		DVD	
	RDR-HX82W (160GB)	RDR-HX92W (250GB)	4.7GB	8.5GB(DVD+R DL)
HQ+ (美しく録る)	21時間	34時間	録画不可	録画不可
HQ	33時間	53時間	1時間	1時間48分
HSP	51時間	81時間	1時間30分	2時間42分
SP (標準)	67時間	107時間	2時間	3時間37分
LSP	85時間	135時間	2時間30分	4時間31分
LP	103時間	164時間	3時間	5時間25分
EP	137時間	217時間	4時間	7時間14分
SLP	204時間	325時間	6時間	10時間51分
SEP (長く録る)	269時間	428時間	8時間	14時間28分

使えるディスク

録画・再生に使えるディスク一覧

真ん中がロゴマーク、右端が本書で使用のマークです。

録画も再生もできるディスク（DVDの直径は12cm）

ディスク	ロゴマーク	本書で使用のマーク
ハードディスク（本機内蔵）	HDD	HDD
DVD+RW	RW DVD+ReWritable	+RW
DVD-RW	DVD RW / DVD RW / RW 2	-RW VR / -RW Video
DVD+R DVD+R DL[1]	RW DVD+R / RW DVD+R DL	+R
DVD-R	DVD R R4.7	-R VR / -R Video

再生のみできるディスク（直径12cmまたは8cm）

ディスク	ロゴマーク	本書で使用のマーク
DVDビデオ	DVD VIDEO[2] 2 ALL	DVD
ビデオCD/ スーパー VCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	VCD/SVCD
音楽CD（CD-DA）	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	CD
データCD[3]	–	DATA CD
データDVD[4]	–	DATA DVD
8cm DVD+RW/ DVD-RW/DVD-R[5]	–	–

録画も再生もできない主なディスク

- DVD-RAM
- DVDオーディオ
- フォトCD
- SACDのHDレイヤー[6]
- CD-EXTRAのデータ部分
- 他機で記録し、正しくファイナライズ（すべての記録終了時に終了情報を記録する処理）されていないDVD
- DVDビデオまたはJPEG画像を含まないDVD-ROM
- 音楽用、ビデオCD、MP3音声、JPEG画像を含まないCD-ROM/CD-RW/CD-R
- リージョンコード「2」または「ALL」以外のDVDビデオ
- NTSC以外のカラーテレビ方式（PALなど）対応のディスク

CD再生時のご注意

- 本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD 規格に準拠していないものがあり、本製品で再生できない場合があります。

DualDiscについてのご注意

- DualDiscとはDVD 規格に準拠した面と、音楽専用の面とを組み合わせた両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格に準拠していないため、本製品で再生は保証いたしません。

DVDビデオ/ビデオCD再生時のご注意

- DVDビデオやビデオCDは製作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。本機では、ソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生を行うため、操作どおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

ご注意

- 記録済みのDVD+RW/DVD+RまたはDVD-RW/DVD-R、CD-RW/CD-Rは、傷や汚れ、また記録状態や記録機器、CD/DVD記録ソフトの特性などにより再生できないことがあります。また、VRモードのDVD-RWやDVD-R以外で、すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ処理を正しくしていないディスクは、再生できません。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をお読みください。
- 録画用DVDであっても、本機で録画できない場合があります。

1) 2層（ダブルレイヤー：Double Layer）の略。

2) 映画など市販のDVDビデオ。パッケージに記載されているリージョンコード（再生可能な地域番号）のマークが、左のように「2」か「ALL」のみ再生可能。ただし、日本のカラーテレビ方式（NTSC）と違う方式（PALなど）のときは再生不可。

3) MP3音声またはJPEG画像を含むCD-ROM、CD-R、CD-RWのみ再生可能。

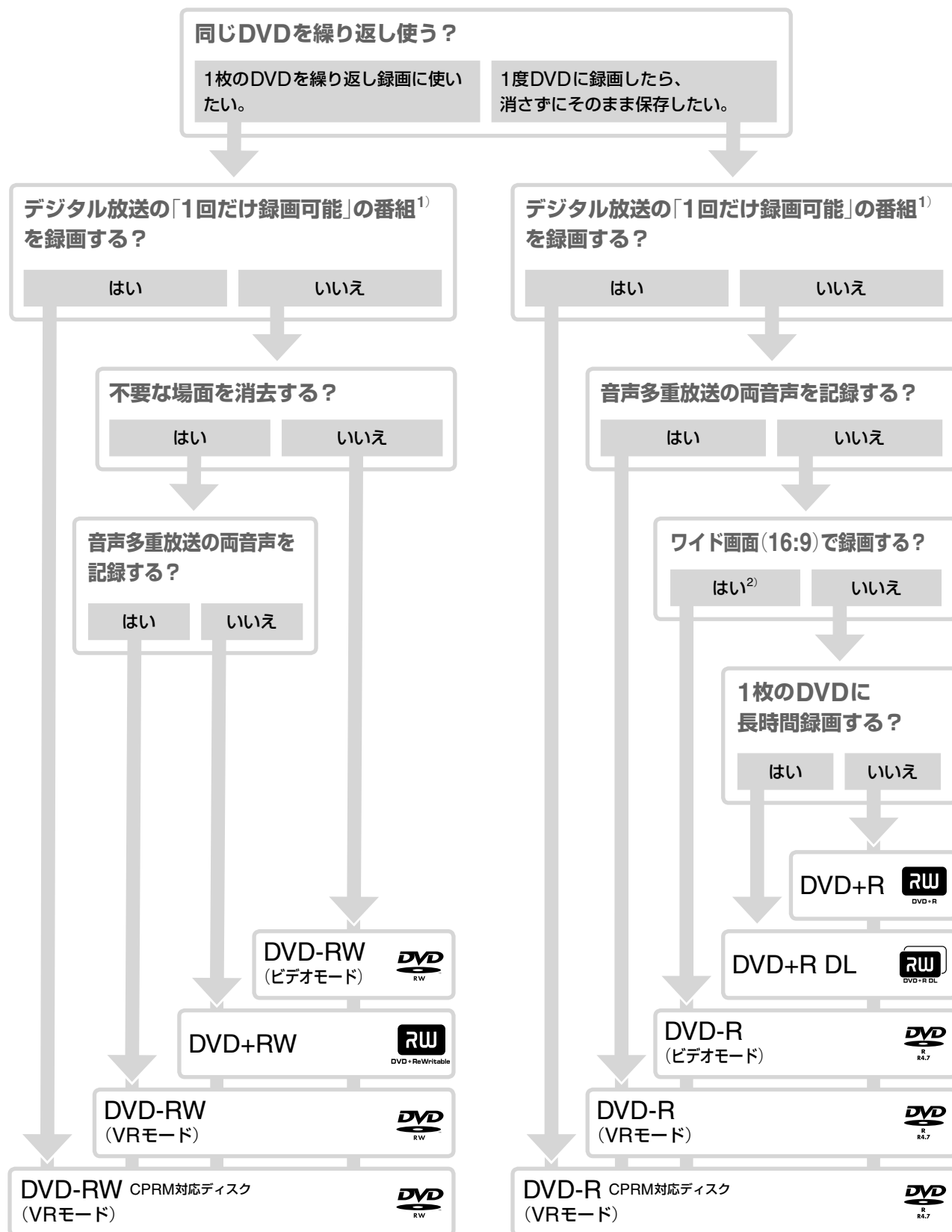
4) JPEG画像を含むDVD+RW、DVD-RW、DVD+R、DVD-R、DVD-ROMのみ再生可能。

5) ソニー製のDVDビデオカメラ（2005年4月時点）で撮影したディスクは、ファイナライズせずに再生可能。

6) スーパーオーディオCDのHD（ハイデンシティ）レイヤー。

次のページにつづく⇨

録画できるDVD選びに迷ったら？

DVDはパッケージに「ビデオ用（またはfor Video）」と記載されているディスクをお勧めします。
さらに詳しい違いは、53ページをご覧ください。

1) 地上デジタル放送、BSデジタル放送、110° CSデジタル放送などの、「1回だけ録画可能」とするコピー防止信号を含んだ番組のこと（50ページ）。

2) DVD-R（ビデオモード）への録画/ダビングは、LSP、SP、HSP、HQモードで、「DVD録画横縦比」が「16:9」に設定されているときのみ（46ページ）。

録画したDVDを他のDVDプレーヤーで見たり、家族や友人にプレゼントしたいときは

上記ディスクに録画やダビングした後、ファイナライズしてください（71ページ）。

録画できるDVDの細かい違いは？

種類		DVD+RW	DVD-RW		DVD+R	DVD+R DL	DVD-R	
ロゴマーク								
本書内での表示		+RW	VRモード -RW VR	ビデオモード -RW Video	+R		VRモード -R VR	ビデオモード -R Video
対応バージョン		高速記録8倍速まで対応。	高速記録6倍速までのVer.1.1、Ver.1.1 CPRM*、Ver.1.2、Ver.1.2 CPRM*ディスクに対応。		高速記録16倍速まで対応。	高速記録2.4倍速まで対応。	高速記録16倍速までのVer.2.0、Ver.2.0 CPRM*、Ver.2.1、Ver.2.1 CPRM*ディスクに対応。	
初期化（新品時）		+VRモード（DVD+RWビデオ）で自動的に初期化される。	VRモードで初期化。（71、80ページ）	ビデオモードで初期化。（71、80ページ）	+VRモード（DVD+Rビデオ）で自動的に初期化される。		VRモードで初期化。初期化はディスク情報画面で行う。（71ページ）	ビデオモードで自動的に初期化。（71ページ）
互換性		自動的にファイナライズされ（71ページ）、+RW対応他機で再生可能。	ファイナライズなしでVRモード対応他機で再生可能。（71ページ）	ファイナライズして（71ページ）、多くのDVD機器で再生可能。	ファイナライズして（71ページ）、多くのDVD機器で再生可能。		ファイナライズして（71ページ）、-R VRモード対応他機で再生可能。	ファイナライズして（71ページ）、多くのDVD機器で再生可能。
録画／編集機能の違い	書き換え可能	○	○	○	×		×	×
	手動チャプター作成（65ページ）	×	○	×	×		○	×
	「1回だけ録画可能」の番組を録画（50ページ）	×	○*	×	×		○*	×
	音声多重放送の両音声（主・副）を録画（80ページ）	×	○	×	×		○	×
	16:9（ワイド）画面で録画（46ページ）	×	○	○**	×		○	○**
	A-B消去（64ページ）	○	○	×	×		○	×
	プレイリスト作成（65ページ）	×	○	×	×		○	×

録画についてのご注意

- 他機で録画したDVD+Rや、ビデオモードのDVD-RWおよびDVD-Rには録画できません。他機で録画したDVD+RWでは、録画できないことや本機でDVDメニューが書き換えられることがあります。
- 他機で録画したDVD+RWやDVD+R、ビデオモードのDVD-RWおよびDVD-Rは編集できません。
- 初期化されていないDVD-Rは、本機に入れると自動的にビデオモードで初期化されます。VRモードで初期化するときは、ディスク情報画面（71ページ）から行ってください（未記録状態時のみ）。
- 高速記録対応DVDでも録画にかかる時間は短くなりません。

* CPRM対応のディスクのみ
CPRM（Content Protection for Recordable Media）は、著作権を保護するために、映像素材を暗号化する技術。

** 録画モードがLSPまたはSP、HSP、HQで、「DVD録画横縦比」が「16:9」に設定のときのみ可能。

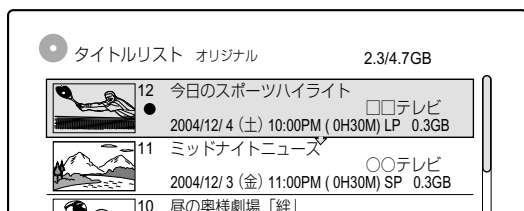
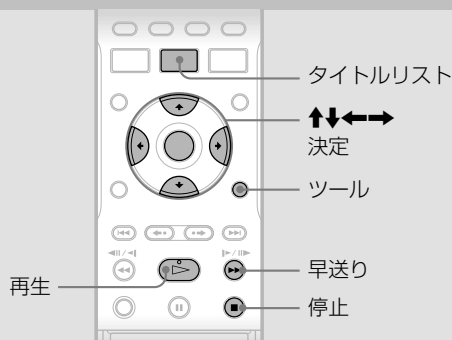
再生する（タイトルリスト）

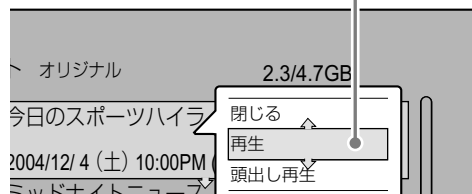
HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video DVD VCD/SVCD CD DATA CD DATA DVD

1 HDDボタンまたはDVDボタンを押し、再生先を選ぶ。

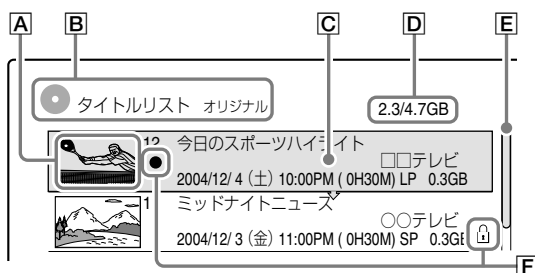
市販のDVDビデオやオーディオCDなどは、ディスク入れた後▷（再生）ボタンを押すと、再生が始まります。

2 タイトルリストボタンを押す。

タイトルリスト

3 タイトルを選んで、決定する。

4 「再生」を選び、決定する。

選んだタイトルの再生が始まります。

HDDで再生中、▶▶（早送り）ボタンを押すと**音声付き早送り**になり、2回以上押すと、音声なし高速早送りになります。

■（停止）ボタンを押すと、再生が止まります。もう一度再生ボタンを押すと、続きから再生が始まります（つづき再生）。頭から再生するときは、「頭出し再生」を選び、決定します。

タイトルリストの見かた

A サムネイル
各タイトルの冒頭の映像が静止画で表示される。

B ディスクの種類（HDDまたはDVD）

C タイトル情報

D HDDやDVDの空き容量/総容量

E スクロールバー

F 表示マーク（*はHDDのみ）

- ●（赤）：録画中のタイトル
- ：ダビング中のタイトル
- ：保護されているタイトル
- NEW（またはN）：未再生のタイトル*
- ☆：「おまかせ・まる録」されたタイトル*
- COPY：「1回だけ録画可能」の信号を含むタイトル*（50、70ページ）
- ：更新録画されるタイトル*

ツールボタンを押して「一覧表示」を選ぶと、サムネイルなしの一覧表示に切り換わります。また、「並び替え」を選ぶと、タイトルの並び順が切り換わります。

ご注意

- 他のDVD機器で録画したDVDは元のタイトル名が表示されないことがあります。
- DVDに記録できない文字は消去されます。ただし、Nと天は、それぞれ[N]と[天]に置き換えられます。

ちょっと一言

- 手順3でタイトルを選び、▷（再生）ボタンを押しても再生が始まります。
- 次の場合、つづき再生が解除されます。
  - ディスクトレイを開けたとき（HDDを除く）
  - 他のタイトルを再生したとき（HDDを除く）
  - HDD、VRモードのDVD-RWおよびDVD-Rのタイトルリストで、オリジナルとプレイリストを切り換えたとき（62ページ）
  - 再生途中で停止したタイトルを編集をしたとき
  - 本機の設定を変更したとき
  - 電源を切ったとき（ビデオCD、CD、データCD、データDVDのみ）
  - 新たに追加録画したとき（HDD、VRモードのDVD-RWおよびDVD-Rを除く）
  - MP3音声とJPEG画像を切り換えたとき（データCDのみ）

視聴年齢を制限したDVDを再生するには

① 「視聴年齢制限を一時的にレベル＊に変えますか？」と表示されたら、「はい」を選ぶ。

② 4桁の暗証番号を入力して「確定」を選び、決定する。

暗証番号の登録や変更は、「フィーチャー」の「視聴年齢制限(DVDビデオのみ)」(79ページ)をご覧ください。

サムネイル(左記A)の画像を変えるには

① **タイトルリストでタイトルを選び、決定する。**

② **「サムネイル設定」を選び、決定する。**
タイトルの再生が始まります。

③ **◀◀/▶▶(早戻し/早送り)ボタンで場面を選び、決定する。**
選んだ場面がサムネイルになります。

PBC機能付きのビデオCDを再生するには

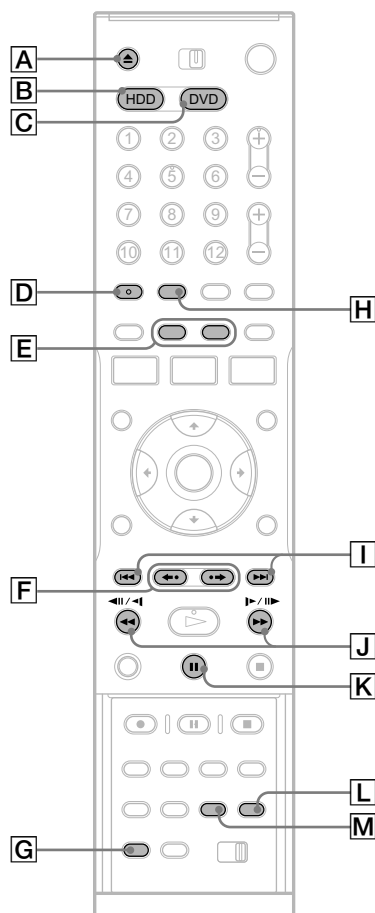
PBC(プレイバックコントロール)機能により、ビデオCDをテレビ画面のメニューから再生できます。

① **PBC機能付きのビデオCDを再生する。**
メニューが表示されます。

② **数字ボタンで項目を選び、決定する。**
メニューの指示に従い、操作します(「「選ぶ」を押す」と表示されたら、▷(再生)ボタンを押します)。

ご注意

- 本機では、スーパー VCDの場合にはPBC機能は働きません。連続再生モードでのみ再生できます。

再生時に使ういろいろなボタン

A 開/閉
ディスクトレイを開閉する。

B HDD
再生先をHDDにする。

C DVD
再生先をDVDやCDなどにする。

D 音声
繰り返し押して音声の種類を選ぶ。
DVD： 音声言語
HDD -RWVR -RVR： 音声トラック(主音声/副音声)
VCD/SVCD CD DATA CD： ステレオ/モノラル

E トップメニュー、メニュー
(+RW -RWVideo +R -RVideo DVD)
市販のDVDやファイナライズされた録画用DVD(VRモードのDVD-RWおよびDVD-Rを除く)で、ディスクのメニューを表示する。

F フラッシュー/+
(HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo DVD)
少し前に戻る/先に進む。
番組表やタイトルリストなどのリスト画面で押し、次ページ/前ページに移動する。

G プログレッシブ
(HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo DVD VCD/SVCD)
プログレッシブ(525p(480p))映像信号表示を選ぶ(16、17ページのAまたはBの方法で、プログレッシブ方式に対応しているテレビにつないだ場合、高精細な映像が楽しめます)。
プログレッシブ方式を選んでいるときは、本体表示窓に「PROGRESSIVE」が表示されます。もう一度押すと、通常の方式(インターレース方式)に切り換わります。

H 字幕(DVD)
繰り返し押して、字幕表示を切り換える。

I 前/次
前や次のタイトル[1]/チャプター/トラックを頭出しする。
1) HDDの場合、タイトルをまたいだ頭出しはできません。

J 早戻し/早送り
- 再生中： 早戻し/早送り再生する。押すごとに3段階で速度が切り換わる(3段階目はHDDとDVDのみ)。HDDでは、1段階目は音声付き早送り再生(1.5倍速)になる。

スロー・コマ戻し/コマ送り
(HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo DVD VCD/SVCD[2])
- 一時停止中： 1秒以上押すと、スロー再生する。軽く押すと、コマ戻し/コマ送り再生する。ビデオCDの場合、逆方向のスロー再生、コマ戻し再生はできません。

再生ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

2) ビデオCDの場合、3段階目の早戻し/早送りはできません。

K 一時停止

L サラウンド
(+RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo DVD)
繰り返し押して、TVS[3]効果の種類を選ぶ。
- TVS OFF(オフ)： 効果なし(お買い上げ時)。
- TVS DYNAMIC(ダイナミック)： 仮想スピーカー1組の設定
- TVS WIDE(ワイド)： 仮想スピーカー5組の設定
- TVS NIGHT(ナイト)： 小音量でも効果が得られる仮想スピーカー5組の設定
- TVS STANDARD(スタンダード)： スピーカーが離れているときに効果がある仮想スピーカー3組の設定

3) ソニーが開発したステレオテレビ用のサラウンド技術で、2台のフロントスピーカーで仮想サラウンド効果が楽しめます。

M アングル(DVD)
複数アングルの映像を収録したDVDビデオ再生時(本体表示窓に 🎥 表示)に、繰り返し押してアングルを切り換える。

次のページにつづく⇨

ご注意

- 本機で録画したタイトルで、アングルや字幕は切り換えられません。

サラウンドについてのご注意

- デジタル音声出力でサラウンド効果を楽しむには、「音声設定」で「デジタル出力」を「入」に、「ドルビーデジタル」を「ダウンミックスPCM」に設定します（79ページ）。
- 96kHz PCM音声とDTS音声は、サラウンド効果はありません。
- リア音声の無いディスクは、サラウンド効果がわかりにくくなります。また、タイトルや使用環境によってもサラウンド効果が得られなくなります。
- サラウンドを設定したときは、接続したAVアンプなどのサラウンドの設定は「切」にしてください。
- 効果を高めるために、スピーカーはリスニングポジションから距離的、環境的に左右対称に設置してください。
- 音声付き早送り再生では、サラウンド効果はありません。
- サラウンドを設定すると、音声が小さく聞こえることがあります。

CDのDTS音声再生時のご注意

- 音声ボタンを繰り返し押して、「ステレオ」に設定してください（55ページ）。アナログ出力からは極端に大きなノイズが出たり、再生条件によっては、デジタル接続の場合でもノイズが出ることがあります。本機のアナログ出力をアンプに接続したときは、アンプなどが破損しないよう細心の注意を払ってください。DTS Digital Surround™の再生を楽しむには、本機のデジタル出力に5.1チャンネルのDTSデコーダーを接続する必要があります。

DVDのDTS音声再生時のご注意

- DTS音声信号はデジタル音声出力端子から出力されます。「セットアップ」で「DTS」を「入」にしてください（79ページ）。

プログレッシブ方式と映像素材について

DVDにはビデオ素材とフィルム素材の映像素材があり、両方を含むディスクもあります。
お買い上げ時（「プログレッシブ設定」が「自動」に設定）は、本機が映像素材の違いを自動検出し変換して、プログレッシブ方式対応テレビで自然に再現されるように出力します。なお、映像素材に関わらず、常にビデオ素材にも変換できます（「プログレッシブ設定」を「ビデオ」に設定、78ページ）。
ビデオ素材は1秒30フレーム（60フィールド）で構成されており、主にテレビ番組です。フィルム素材は1秒24フレームで構成されており、映画フィルムの多くがこれです。

ご注意

- ビデオ素材をコンポーネント映像出力のY、P_B/C_B、P_R/C_R端子およびD1/D2映像出力端子からプログレッシブ出力する場合、映像補間処理を行っているため、画像によっては、映像の一部が不自然になることがあります。出力のS1映像または映像端子からの出力は、設定に関わらずインターレース方式です。
- プログレッシブ（525p（480p））方式に対応していないテレビにつないでいるときに「プログレッシブ」を選んだ場合、映像が見られなくなります。また、記録されたビデオ信号がプログレッシブ方式への変換に適さない場合もあります。インターレース方式に切り換えてください。本機とテレビの互換性については、お客様ご相談センターにお問い合わせください（裏表紙）。

タイトルリストのサブメニュー項目

タイトルを選び決定すると、サブメニューが表示されます。↑↓と決定ボタンで以下の操作ができます。

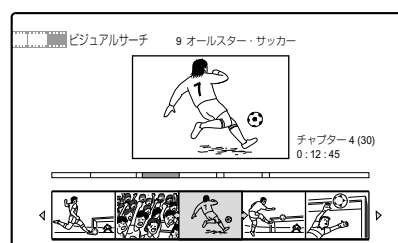
項目	説明
再生	タイトルを再生する（54ページ）。
頭出し再生	タイトルを頭から再生する（54ページ）。
タイトル消去	タイトルを消去する（62ページ）。
プロテクト設定	タイトルを誤消去しないよう保護する（63ページ）。
次回予約	番組名をキーワードに検索し、次回の放送を予約する。検索して次回の放送が見つかった場合は、録画予約設定画面が表示される。
ダビング	タイトルをダビングする（68ページ）。
ビジュアルサーチ	見たい場面を探す（56ページ）。
タイトル名変更	タイトル名を変更する（63ページ）。
チャプター選択消去	シーンをチャプター単位で消去する（64ページ）。
A-B消去	指定したシーンを消去する（64ページ）。
タイトル分割	2つのタイトルに分ける（64ページ）。
サムネイル設定	サムネイルを変更する（55ページ）。

見たい場面やタイトル番号で探す

見たい場面を探すには（ビジュアルサーチ）

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

チャプターごとにサムネイル（静止画）を表示して、見たい場面を探せます。HDDまたはVRモードのDVD-RWおよびDVD-Rのタイトルでは、音声や映像の切り替わりでチャプターが分かれる（おまかせチャプター）ので便利です。

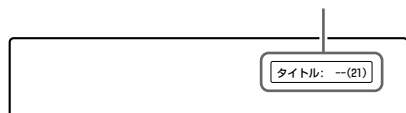
① 再生中にビジュアルサーチボタンを押す。

② 見たい場面を選び、決定する。

タイトル番号や経過時間を入力して探すには

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo DVD VCD/SVCD CD DATA CD DATA DVD

タイトルやトラックの番号、タイムコードを入力して、頭出しできます。

① 再生中にツールボタンを押す。

② 探しかたを以下から選び、決定する。
- **タイトルサーチ**: DVDのみ
- **チャプターサーチ**: HDD、DVDのみ
- **トラックサーチ**: CD、データCDのみ
- **サーチ**: ビデオCDのみ
- **アルバムサーチ**: データCD、データDVDのみ
- **タイムサーチ**: HDD、DVDのみ
- **ファイルサーチ**: データCD、データDVDのみ

③ 数字ボタンで番号を入力し、決定する。
例:タイムサーチは1時間15分00秒なら、「011500」と入力。
クリアボタンで入力し直せます。

録画中の番組を頭から再生する(追いかけ再生)

HDD -RWVR

録画中の番組でも最初から再生することができます。

1 追いかけ再生したい番組のチャンネルに切り換える。

2 録画中にツールボタンを押す。

3 「追いかけ再生」を選び、決定する。

ちょっと一言
- 追いかけ再生中に、早送りなどで現在位置に近づいたときは、通常再生に自動的に切り換わります。

ご注意
- 追いかけ再生は、録画開始後数分経ってから可能です。
- 1倍速対応のDVD-RW(VRモード)で録画中や、録画モードがHQまたはHSPのときは操作できません。
- DVDでは、早戻し/早送りやフラッシュー/+は、静止画を数秒表示後に動作します。

録画中に別の番組(タイトル)を再生する(同時録画再生)

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo DVD VCD/SVCD CD DATA CD DATA DVD

右表のように、録画中に、再生も同時にできます。

録画中のディスク	再生できる内容
HDD	• HDDに録画済みの番組(タイトル) • DVDやCDなどのディスク
DVD-RW*(VRモード)	• DVD-RW(VRモード)やHDDに録画済みの番組(タイトル)**
その他のDVD	• HDDに録画済みの番組(タイトル)

* 1倍速対応のDVD-RWの場合や、録画しているタイトルの録画モードがHQまたはHSPの場合は、同時録画再生できません。

** 再生するタイトルの録画モードがHQまたはHSPのとき、記録状態によっては画像が乱れることがあります。早戻し/早送り、フラッシュー/+は、静止画を数秒表示後に動作します。

また、再生中に予約録画が始まっても、そのまま再生を続けられます。

1 HDDボタンまたはDVDボタンで、再生先を選ぶ。
DVDを選んだときは、DVDを入れる。

2 タイトルリストボタンを押す。

3 タイトルを選び、決定する。

4 「再生」を選び、決定する。

ご注意
- 再生先と録画先が両方DVD(DVD-RW(VRモード)を除く)の場合、予約録画が始まると再生は止まります。

再生中にできる操作(ツールボタン)

ツールボタンを押した後、↑↓と決定ボタンで以下の操作ができます。

項目	説明
再生停止	再生を停止する。
ディスク情報	ディスク情報を表示する。ファイナライズ、初期化などの操作をする(71ページ)。
タイトル消去	タイトルを消去する(62ページ)。
プロテクト設定	タイトルを誤消去しないよう保護する(63ページ)。
次回予約	番組名をキーワードに検索し、次回の放送を予約する。検索して次回の放送が見つかった場合は、録画予約設定画面が表示される。
ダビング	タイトルをダビングする(68ページ)。

見る

次のページにつづく⇨

項目	説明
ビジュアルサーチ	見たい場面を探す(56ページ)。
タイトルサーチ/チャプターサーチ/タイムサーチ/トラックサーチ/アルバムサーチ	番号や時間を入力して、頭出し再生または途中から再生する(56ページ)。
再生画質設定	以下の項目を調整する(( )内はお買い上げ時の設定)。数字を大きくするほど効果が強まる(再生画質調整を除く)。 • Y NR(2):映像信号中の輝度成分に含まれるノイズを低減する。 • C NR(2):映像信号中の色成分に含まれるノイズを低減する。 • BNR[1](2):画面上にモザイクのように現れるブロックノイズを低減する。 • MNR[2](1):画像の輪郭部に現れる細かいノイズを低減する。 • DVE[3](切):画像の輪郭の強弱を調節する。 • 再生画質調整:以下の項目を調節する。 – コントラスト(0):数字を大きくするほど、コントラストが強まる。 – 明るさ(0):明度を調節する。数字を大きくするほど、明るくなる。 – 色の濃さ(0):彩度を調節する。数字を大きくするほど、濃くなる。 – 色あい(0):色相を調節する。数字を小さくするほど赤っぽく、数字を大きくするほど、緑っぽくなる。 1) ブロックノイズリダクションの略。 2) モスキートノイズリダクションの略。 3) デジタルビデオエンハンサーの略。
オーディオ設定	以下の項目を調整する。 • サラウンド(TVS):サラウンドボタン同様にサラウンドのモードを選ぶ(55ページ)。 • オーディオフィルター:アナログ音声出力(出力1/2音声)に対して、22.05kHz(サンプリング周波数:Fs 44.1kHz)/24kHz(Fs 48kHz)/48kHz(Fs 96kHz)以上の雑音除去用のデジタルフィルターを選ぶ。 「シャープ」(お買い上げ時の設定:通常はこの位置にする)は、フラットな音質で明瞭な音像定位が得られます。「スロー」では温かい雰囲気の音質になります。 • 画音同期調整(A/V SYNC):ビデオなどへダビングするときは、0ミリ秒(お買い上げ時の設定)にしてください。再生中に、映像が音声より遅れる場合のみ、音声を映像に合わせて遅らせます(0 ~ 120ミリ秒)。選んだ数字の分だけ、音声が映像より遅く出ます。

ご注意

- 画像の輪郭がぼやけるときは、BNR、MNRを「切」にします。
- ディスクの種類や再生場面によっては、DVEおよび再生画質調整以外の効果がわかりにくかったり、効果がないことがあります。
- DVEの使用でノイズが目立つ場合は、同時にBNRを使うと改善されることがあります。改善されない場合は、DVEを「1」か「切」に設定してください。
- ディスクの種類や視聴環境によっては、オーディオフィルターの効果がわかりにくいことがあります。

MP3音声/JPEG画像を再生する

DATA CD DATA DVD

本機はデータCD(CD-ROMやCD-R、CD-RW)に記録されたMP3音声やJPEG画像の再生、またデータDVD(DVD-ROM、DVD+R、DVD+RW、DVD-RW、DVD-R)に記録されたJPEG画像の再生ができます。

1 データCDまたはデータDVDを入れ、▷(再生)ボタンを押す。

MP3音声の再生またはJPEG画像のスライドショーが始まります。
MP3音声とJPEG画像が両方記録されたデータCDの場合、最初に▷(再生)ボタンを押したときは、JPEG画像の再生から始まります。

MP3音声のアルバムやトラックを選ぶ

DATA CD

1 タイトルリストボタンを押す。

ミュージックアルバムリストが表示されます。
フラッシュー/+ボタンで、前ページ/次ページに移動できます。

2 アルバムを選び、決定する。

3 「アルバム内を見る」を選び、決定する。

ミュージックトラックリストが表示されます。
フラッシュー/+ボタンで、前ページ/次ページに移動できます。

4 トラックを選び、決定する。

サブメニューから操作を選び、決定する。

- 「**再生**」: トラックを再生する。
- 「**頭出し再生**」: 再生中のトラックを頭出し再生する。
- 「**トラック詳細**」: アーティスト名やアルバム名など、トラックの詳細を表示する。

ちょっと一言

- MP3音声とJPEG画像が両方記録されたデータCDの場合、←→でミュージックアルバムリストとフォトアルバムリストを切り換えられます。

ご注意

- 本機で表示できない文字は、「＊」で表示されます。

再生を止めるには

■(停止)ボタンを押す。

早戻し/早送りするには

MP3音声を再生中に◀◀/▶▶(早戻し/早送り)ボタンを押す。

前/次のトラックに飛ばすには

MP3音声を再生中に|◀◀/▶▶|(前/次)ボタンを押す。押し続けると、前/次のアルバムに移動できます。

前/次のアルバムに移動するには

MP3音声を再生中にフラッシュー/＋ボタンを押す。

ちょっと一言

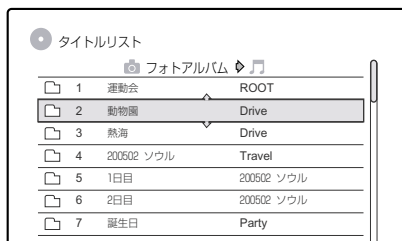
- 音声切換ボタンを押すと、音声トラックをステレオまたはモノラルに切り換えられます。

JPEG画像のアルバムやファイルを選ぶ

DATA CD DATA DVD

1 タイトルリストボタンを押す。

フォトアルバムリストが表示されます。

フラッシュー/＋ボタンで、前ページ/次ページに移動できます。

2 アルバムを選び、決定する。

3 「アルバム内を見る」を選び、決定する。

フォトファイルリスト表示されます。

フラッシュー/＋ボタンで、前ページ/次ページに移動できます。

4 サムネイルを選び、決定する。

サブメニューから操作を選び、決定する。

- 「**表示**」: ファイルを再生する。
- 「**スライドショー**」: アルバム内のファイルを始めから順番に再生する。
- 「**ファイル詳細**」: ファイルの撮影日時を表示する。

再生をやめるには

■(停止)ボタンを押す。

前/次のファイルを再生するには

JPEG画像を再生中に|◀◀/▶▶|(前/次)ボタンを押す。

画像を回転するには

① ファイル再生中にツールボタンを押す。

② 「右に回転」または「左に回転」を選び、決定する。

スライドショーの再生間隔を変えるには

① フォトアルバムリストまたはフォトファイルリストでツールボタンを押す。

② 「スライドショー間隔」を選び、決定する。

③ 「ゆっくり」、「ふつう」、「はやい」のいずれかを選び、決定する。

前/次のアルバムに移動するには

JPEG画像を再生中にフラッシュー/＋ボタンを押す。

ちょっと一言

- MP3音声とJPEG画像が両方記録されたデータCDの場合、←→でミュージックアルバムリストとフォトアルバムリストを切り換えられます。
- ←→で再生中のJPEG画像を回転させることができます。回転は、■(停止)ボタンを押したり他のアルバムに切り換えると解除されます。
- JPEG画像を再生中に画面表示ボタンを繰り返し押すと、画像の情報が表示されます。さらに時間/テキストボタンを押すと、選択中の画像ファイル番号、または画像アルバム番号の合計数が表示されます。

次のページにつづく⇨

ご注意

- DVDビデオカメラなどで撮影したDVDで、ビデオ映像とJPEG画像が両方記録されている場合は、ビデオ映像のみ再生できます。
- 300万ピクセル以上のJPEG画像などの場合、スライドショーの再生間隔が長くなることがあります。
- 解像度が720×480を超えるJPEG画像は、720×480に縮小されて再生されます。
- 4メガバイトを超えるファイルサイズのJPEG画像は再生できません。
- プログレッシブJPEGフォーマットの画像は再生できません。
- 破損した画像や再生に適さないJPEG画像は と表示され、再生できません。

MP3音声/JPEG画像について

MP3はISO/IEC MPEG国際標準規格に基づいた音声圧縮技術で、本機ではMPEG-1 Audio Layer Ⅲ形式のMP3音声を再生できます。JPEGは画像圧縮技術です。CD-ROMやCD-R、CD-RW(データCD)は、ISO9660のレベル1/レベル2/Joliet 準拠、DVD-ROMやDVD+R、DVD+RW、DVD-RW、DVD-R(データDVD)は、ユニバーサルディスクフォーマット(UDF)準拠で記録されている必要があります。

本機は、マルチセッション、マルチボーダーで記録したディスクも再生できます。

記録方式について詳しくは、CD-R/CD-RW/DVD+RW/DVD+R/DVD-RW/DVD-Rドライブや、書き込み用ソフトウェアの取扱説明書もご覧ください。

ご注意

- マルチセッション/マルチボーダーディスクは以下のように再生されます。
  - MP3音声またはJPEG画像が最初のセッションに記録されている場合、その他のセッションのMP3音声/JPEG画像も再生する。
  - 音楽用CDフォーマットの音声またはビデオCDフォーマットの映像が最初のセッションに記録されている場合、最初のセッションのみ再生する。
- パケットライト方式で作成されたデータCDやデータDVDは再生できないことがあります。

本機で再生できるMP3音声/JPEG画像のファイル形式

本機は以下の形式のMP3音声/JPEG画像を再生できます。

- ファイル拡張子が「.MP3」、「.mp3」、「.Mp3」のMP3音声
- ファイル拡張子が「.JPEG」、「.jpeg」、「.Jpeg」、「.JPG」、「.jpg」、「.Jpg」のJPEG画像
- DCF*規格に準拠したJPEG画像

* Design rule for Camera File systemの略:社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)が制定した、デジタルカメラ用画像フォーマットのこと。

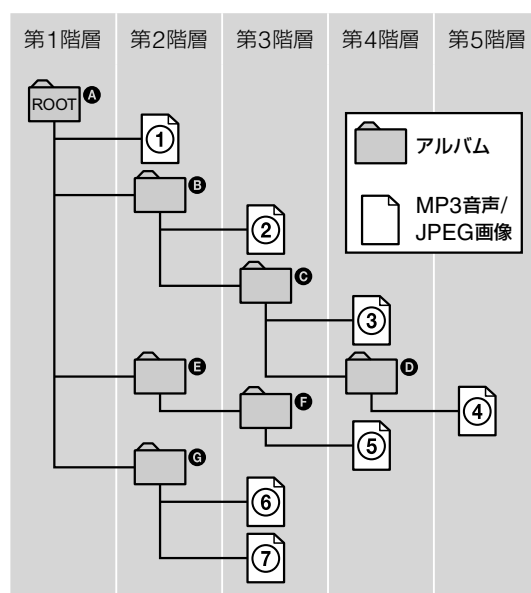
ご注意

- MP3音声/JPEG画像以外のファイルに上記のファイル拡張子を付けると、本機で誤って再生され、接続した機器の破損の原因となります。
- mp3PRO形式で記録された音声を出力できますが、mp3PRO形式での再生には対応していません。
- 本機対応のMP3音声のビットレートは、160kbpsまでです。
- ファイルによっては再生できないこともあります。

再生の順序について

以下の図のようなディスクでは、図中のアルファベット順でアルバムを再生します。MP3音声/JPEG画像を含まないⒺは飛ばします。

また、▷(再生)ボタンを押すと、① ～ ⑦の順序でファイルを再生します。JPEG画像の場合は、アルバムを越えるには、フラッシュ＋ボタンを押します(例:①から②に行くとき)。

アルバムがサブアルバムを含む場合、サブアルバムのファイルを優先します(例:ⒸはⒹを含んでいるので、⑤より④を優先する)。

ちょっと一言

- ファイル名の頭に数字(01、02…など)を付けてディスクに記録すると、その順番に再生できます。
- 多くの階層を持つディスクは再生開始までに時間がかかります。ディスクのアルバムは第2階層までにすることをお勧めします。

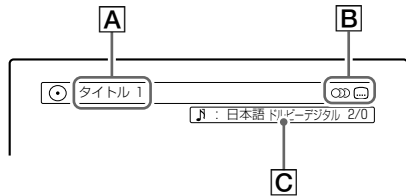
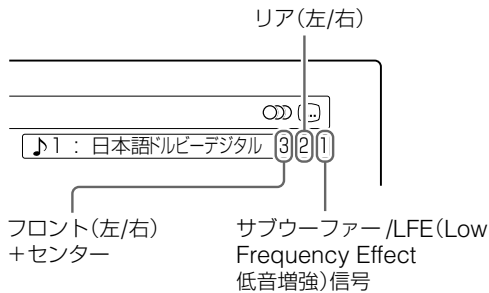
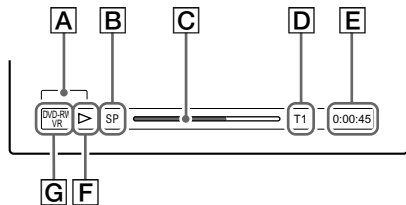
ご注意

- MP3音声/JPEG画像の書き込みに使用したソフトウェアによって、上図の順序で再生されないことがあります。
- 再生順が次のアルバムや、それを飛び越して他のアルバムに進むときは、再生に時間がかかる場合があります。
- 本機で再生できるフォルダの合計数は、最高199までです(その際、MP3音声/JPEG画像を含まないフォルダも数えます)。
- 本機で再生できるフォルダとファイルの合計数は、最高999までです(その際、MP3音声/JPEG画像を含まないフォルダ、MP3音声/JPEG画像以外のファイルも数えます)。
- 本機で認識できる1つのフォルダ内のフォルダとファイルの合計数は、最高200までです(その際、MP3音声/JPEG画像を含まないフォルダ、MP3音声/JPEG画像以外のファイルも数えます)。

再生中の画面表示

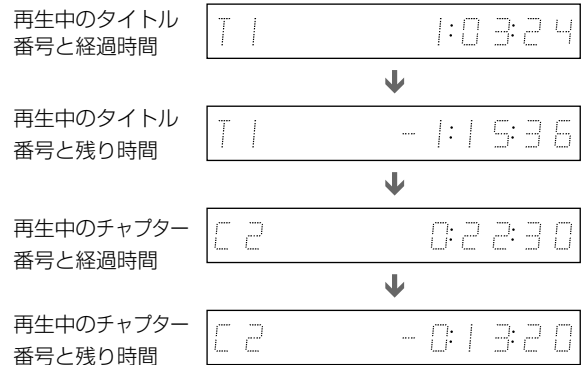
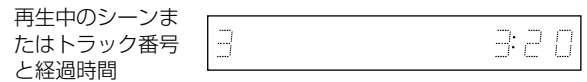
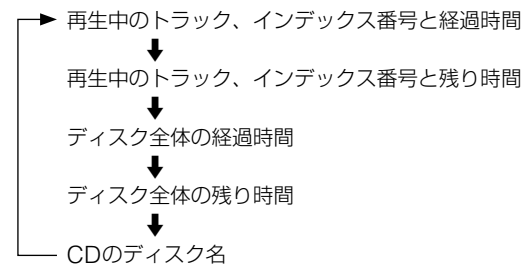
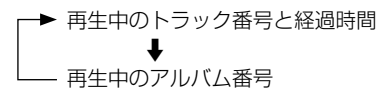
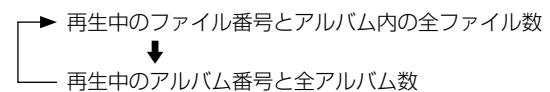
テレビ画面表示

画面表示ボタンを繰り返し押すと、画面1、画面2、表示なしの順に、表示されます。ディスクや再生状態で画面は異なります。

画面1（上部に表示）：DVDビデオ再生中の例

A タイトル番号/タイトル名/トラック番号（CDとデータCDのみ）/トラック名（データCDのみ）
B DVDビデオの機能（アングル、音声、字幕など）
C 音声や現在選択中の機能設定（一時的に表示）

画面2（下部に表示）：DVD-RW（VRモード）再生中の例

A タイトルの種類（プレイリストの場合）（65ページ）
B 録画モード（50ページ）
C 動作進捗バー（データCDは表示ナシ）
D タイトル番号（チャプター番号*）/トラック番号（CDとデータCDのみ）/アルバム番号*（データCDのみ）
E 経過時間（残り時間*）。テキスト情報が記録されたCDはCDテキストを表示。
* 時間/テキストボタンを繰り返し押すと表示される。
F 動作状態
G ディスクの種類/記録フォーマット（51、53ページ）。データCDは「CD」と表示。

本体表示窓の表示

時間/テキストボタンを繰り返し押すと、再生中のタイトル番号や経過時間などを見ることができます。

DVD再生時の例

ビデオCD再生時の例

CD再生時の例

MP3音声再生時の例

JPEG画像再生時の例

ご注意

- 本機で表示できるのは、CDのディスク名などの最初の部分のみです。CDの種類によっては、ディスク名を表示できないことがあります。
- 本機で表示できる文字は、半角の英語/数字/記号のみです。表示できない文字は、「＊」で表示されます。
- MP3音声の再生時間は正しく表示されないことがあります。

録画した番組(タイトル)を消去する

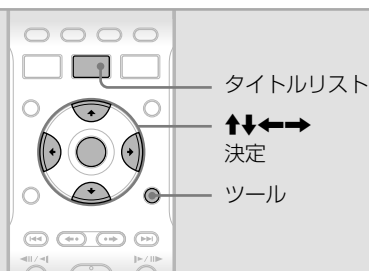
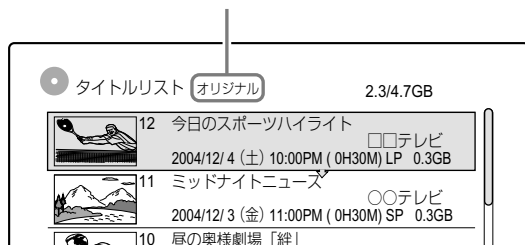
HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video

見終わったら、不要なタイトルなどを消去できます。消去すると、DVD+R、DVD-R以外は空きを増やせます。

1 タイトルリストボタンを押す。

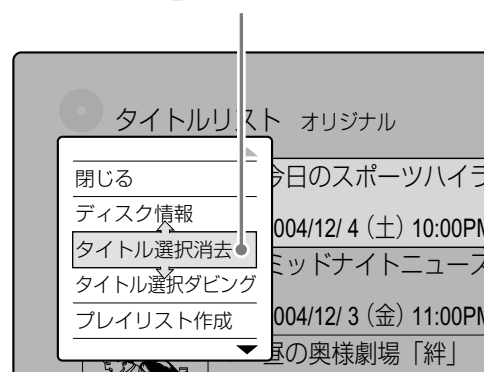
タイトルリストが表示されます。

プレイリスト(65ページ)のタイトルを消去するときは、ツールボタンを押して、「プレイリスト表示」を選び、決定する。

「**オリジナル**」または「**プレイリスト**」と表示されます。

1つのタイトルを消去する

2 消去したいタイトルを選び、決定する。

複数のタイトルを消去する

2 ツールボタンを押して、「タイトル選択消去」を選び、決定する。

空き容量を確認しながらタイトルを消去する(ディスクマップ)

+RW -RW Video

DVDへの追加録画時には、ディスク上の最も大きな空き部分が使用されます。空き容量が充分であっても、ひとまとまりの空きが必要分なければ録画できません。ディスクマップで消去すると、追加録画に必要なひとまとまりの空きを作るのに便利です。

① DVDのタイトルリストで、ツールボタンを押す。

② 「ディスクマップ」を選び、決定する。

③ 消去するタイトルを選び、決定する。

同様の操作を繰り返し、消去するタイトルをすべて選びます。選択を取り消すには、もう一度選び、決定します。

④ 「消去」を選び、決定する。

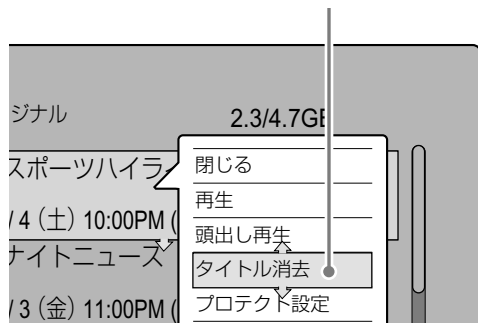
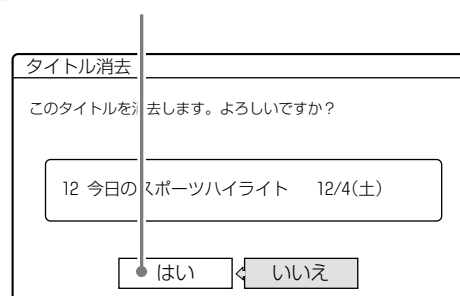
確認画面が表示されます。

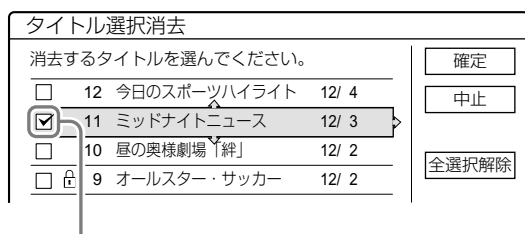
⑤ 「確定」を選び、決定する。

- 「**再選択**」:手順③に戻り、タイトルを選び直す。

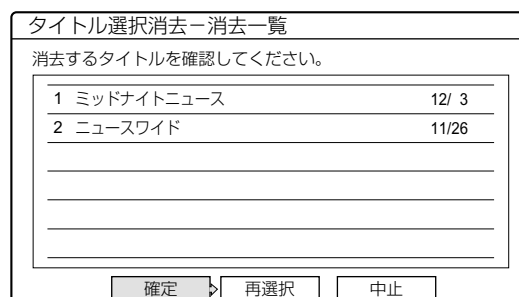
ちょっと一言

- HDD内の再生済みタイトルの自動消去もできます(48ページ)。

3 「タイトル消去」を選び、決定する。

4 「はい」を選び、決定する。

3 消去するタイトルを選び、決定する。

同様の操作を繰り返し、消去するタイトルをすべて選ぶ。

選ばれたタイトルにはチェックマークが付きます。もう一度選び、決定するとチェックマークが消えます。

- 「**全選択解除**」：すべてのチェックマークを消す。

4 「確定」を選び、決定する。

5 消去するタイトルを確認したら、「確定」を選び、決定する。

- 「**再選択**」：手順3に戻り、タイトルを選び直す。

タイトル名を変更するには（タイトル名変更）

① タイトルリストで名前を変更したいタイトルを選び、決定する。

②「タイトル名変更」を選び、決定する。

③ タイトル名入力画面で、文字を入力する（38ページ）。

ちょっと一言

- DVDではディスクに名前を付けたり、ディスク名を変更したりできます（71ページ）。

タイトルを消去できないよう保護するには（プロテクト設定）

① タイトルリストで保護したいタイトルを選び、決定する。

②「プロテクト設定」を選び、決定する。

③「入」を選び、決定する。

マークが付いて、保護されます。

ご注意

- VRモードのDVD-RWおよびDVD-Rでは、プレイリストのタイトルを保護できません。

録画した番組（タイトル）を編集する

オリジナルタイトルを編集すると、元の状態に戻せないのでご注意ください。

タイトル内の一部をチャプター単位で消去する（チャプター選択消去）

HDD -RWVR -RVR

チャプターごとにサムネイルが表示されるので、かんたんに不要な場面を選べます。

1 タイトルリストボタンを押す。

2 編集したいタイトルを選び、決定する。

3 「チャプター選択消去」を選び、決定する。

4 消去したいチャプターを選び、決定する。

同様の操作を繰り返し、消去したいシーンをすべて選ぶ。

選択済みのシーンをもう一度選んで決定すると、選択が取り消されます。

- 「**全選択解除**」：すべての選択を取り消す。

5 「確定」を選び、決定する。

確認画面が表示されます。

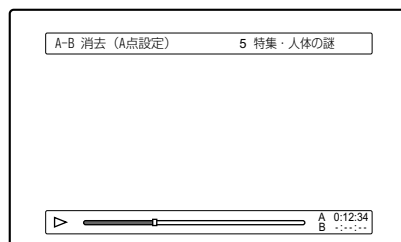
6 「はい」を選び、決定する。

タイトル内の一部を消去する（A-B消去）

HDD +RW -RWVR -RVR

1 タイトルリストボタンを押す。

2 編集したいタイトルを選び、決定する。

3 「A-B消去」を選び、決定する。

タイトルの再生が始まります。タイトルの先頭に戻すには、一時停止ボタンを押してから⏮（前）ボタンを押します。

4 ◀◀/▶▶（早戻し/早送り）ボタンで消去開始場面（A点）を選び、決定する。

5 消去終了場面（B点）を選び、決定する。

確認画面が表示されます。

- 「**A点再設定**」/「**B点再設定**」：A/B 各点を選び直す。
- 「**確認再生**」：消去設定したシーンを確認する（DVD+RWを除く）。

6 「はい」を選び、決定する。

A点からB点までのシーンが消去されます。

ちょっと一言

- 消去したシーンの前後は別のチャプターになります。

ご注意

- 消去した場所の映像や音声が途切れることがあります。
- DVD+RWでは、消去される場面が設定と若干ずれることがあります。

1つのタイトルを2つのタイトルに分ける（タイトル分割）

HDD -RWVR -RVR

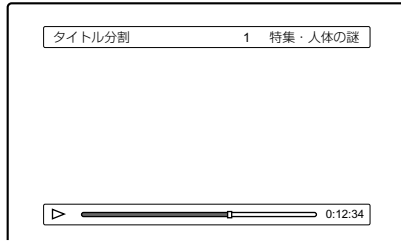
長時間のタイトルは、分割すると画質を落とさずにディスクにダビングできます。VRモードのDVD-RWおよびDVD-Rでは、プレイリストのタイトルのみ分割できます。

1 タイトルリストボタンを押す。

プレイリストのタイトルを分割するときは、タイトルリストでツールボタンを押して、「プレイリスト表示」を選び、決定する。

2 編集したいタイトルを選び、決定する。

3 「タイトル分割」を選び、決定する。

タイトルの再生が始まります。

先頭に戻すには、一時停止ボタンを押してから⏮(前)ボタンを押す。

4 **◀◀/▶▶(早戻し/早送り)ボタンなどで分割したい場面を選び、決定する。**

確認画面が表示されます。

- 「**いいえ**」: 場面を選び直す。

5 **「はい」を選び、決定する。**

新たにタイトル名を付けるか確認する画面が表示されます。

6 **「はい」を選び、決定する。**

タイトル名を入力する(38ページ)。

- 「**いいえ**」: 元のタイトル名を、両方のタイトルに付ける。

手動でチャプターを分ける

HDD -RWVR -RVR

録画したタイトル内の好みの場面にチャプターマークを書き込み、映像の区切りとなるチャプターを作ることができます。

1 **再生や録画中に、チャプターを分けたい場面でチャプターマーク書込みボタンを押す。**

チャプターマークが書き込まれ、前後のシーンが別のチャプターになります。

ご注意

- 手動で書き込んだチャプターマークは、ダビング先には反映されません(68ページ)。
- 録画中に入れるときは、「自動チャプターマーク」の設定を「切」にしてください(79ページ)。

→ チャプターを結合するには

前後のチャプターを結合して、1つのチャプターにできます。

① **再生中に⏮/⏭(前/次)ボタンで消去したいチャプター番号を選ぶ。**

② **チャプターマーク消去ボタンを押す。**

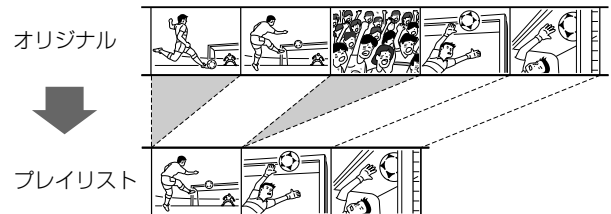
再生中と1つ前のチャプターが、1つに結合されます。

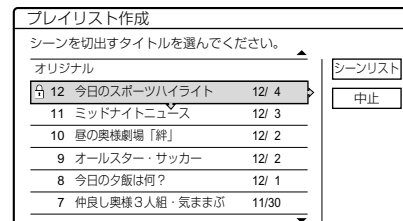
プレイリストのタイトルを作成する

HDD -RWVR -RVR

「プレイリストのタイトル」とは、実際に録画した「オリジナルのタイトル」を元に作成した仮想タイトルです。オリジナルの内容に手を加えないため、プレイリストをどのように編集し直しても、オリジナルに影響はありません*。最大97個のプレイリストを作成できます。
また、プレイリストは、他のプレイリストのタイトルからも必要なシーン(範囲)を選べます。

* ただし、プレイリストのタイトルを作成すると、オリジナルのタイトルは、消去も編集もできなくなります。プレイリストを消去すれば、オリジナルのタイトルも消去・編集できます。

例:HDDに録画したサッカーの試合を、試合全体の映像はそのままでハイライトシーンだけのタイトルを作る。

1 **タイトルリストでツールボタンを押す。**

2 **「プレイリスト作成」を選び、決定する。**

3 **プレイリストに追加したいタイトルを選び、決定する。**

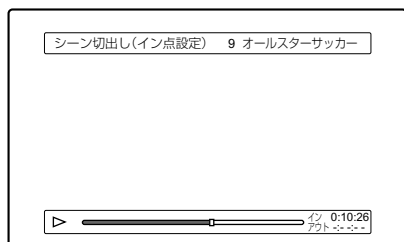
- 「**シーン切出し**」: タイトルの一部を1つのシーンとして追加する(手順**4**へ)。
- 「**全て切出し**」: タイトル全体を1つのシーンとして追加する(手順**7**へ)。

消去・編集する

次のページにつづく⇨

4 「シーン切出し」を選び、決定する。

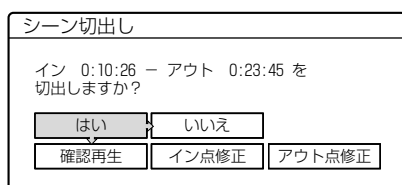
イン点(開始点)設定画面が表示され、タイトルの再生が始まります。

最初に戻すには、❚❚(再生一時停止)ボタンを押し、⏮(前)ボタンを押す。

5 イン点(開始点)を設定する。

◀◀/▶▶(早戻し/早送り)ボタンで、イン点を選び、決定ボタンを押す。

終了点(アウト点)設定画面が表示されます。

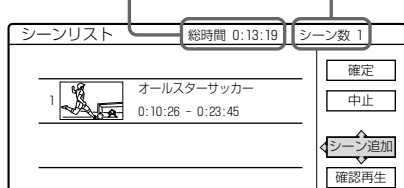
6 アウト点(終了点)を設定する。

操作は、イン点(開始点)と同様です。

確認画面が表示されます。

- 「**確認再生**」: 選んだシーンを確認する。
- 「**イン点修正**」: イン点を選び直す(手順**5**へ)。
- 「**アウト点修正**」: アウト点を選び直す(手順**6**へ)。

7 「はい」を選び、決定ボタンを押す。

切り出したシーンがシーンリストに表示されます。

選んだシーンの合計時間　選んだシーンの総数

- 「**確認再生**」: 追加したすべてのシーンを順番どおりに再生する。

8 「シーン追加」を選び、決定ボタンを押す。

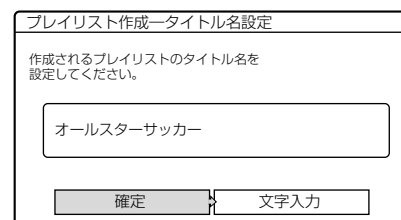
続けて、他のシーンを追加します(手順**3**へ)。すべてのシーンを追加したら、手順**9**へ進みます。

9 追加したシーンをさらに編集したい場合は、シーンリストからシーンを選び、決定する。

サブメニューから操作を選び、決定する。

- 「**シーン移動**」: シーンの順番を変える。
- 「**シーン消去**」: シーンを消去する。
- 「**確認再生**」: シーンを再生する。
- 「**イン点修正**」: イン点を選び直す(手順**5**へ)。
- 「**アウト点修正**」: アウト点を選び直す(手順**6**へ)。

10 シーンの編集が終わったら、「確定」を選び、決定する。

タイトル名の設定画面が表示されます。

- 「**文字入力**」: 新たにタイトル名を入力する(38ページ)。

ちょっと一言

- タイトル名を入力しない場合は、先頭シーンのタイトル名が付きます。

11 「確定」を選び、決定する。

「プレイリスト表示」のタイトル一覧に、作成したプレイリストが追加されます。

ちょっと一言

- イン点とアウト点はチャプターマークとして記録され、再生時に各シーンがそのままチャプターになります。

プレイリストのタイトルを再生するには

① タイトルリストボタンを押す。

② ツールボタンを押す。

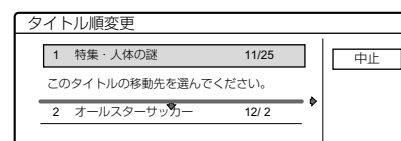
③ 「プレイリスト表示」を選び、決定する。
プレイリストのタイトルが一覧表示されます。

④ 見たいタイトルを選び、決定する(または▷(再生)ボタンを押す)。

タイトルの順番を変更する
(タイトル順変更)

-RW VR　-R VR

① プレイリスト表示中に、順番を変更したいタイトルを選び、決定する。

② 「タイトル順変更」を選び、決定する。

③ ↑↓で移動先を選び、決定ボタンを押す。
選んだタイトルの順序が変わります。

タイトルを結合する（タイトル結合）

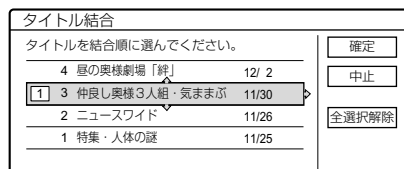
HDD -RW VR -R VR

① プレイリスト表示中に、ツールボタンを押す。

② 「タイトル結合」を選び、決定する。

③ 結合したいタイトルを選び、決定する。

タイトルの通し番号が左側に表示されます。

選択を取り消すには、もう一度決定ボタンを押す。

④ 手順3を繰り返して、結合したいタイトルをすべて選ぶ。

- 「全選択解除」：すべての選択を取り消す。

⑤ 「確定」を選び、決定する。

結合するタイトルが一覧表示されます。

- 「再選択」：タイトルを選び直す（手順3へ）。

⑥ 「確定」を選び、決定する。

タイトル名を選ぶ画面が表示されます。

- 「文字入力」：新たにタイトル名を入力する（38ページ）。
- 「再選択」：タイトルを選び直す（手順3へ）。

⑦ 使いたいタイトル名を選び、決定する。

タイトルが結合されます。

ご注意

- 結合タイトル中のチャプター合計数が上限を超えると、後方のチャプターが1つのチャプターに結合されます。

各ディスクでできる編集

編集機能	HDD		-RW VR / -R VR		+RW / -RW Video / +R / -R Video
	オリジナル	プレイリスト	オリジナル	プレイリスト	
A-B消去（64ページ）	○	○	○	○	○*
チャプター選択消去（64ページ）	○	○	○	○	×
タイトル保護（63ページ）	○	○	○	×	○
タイトル分割（64ページ）	○	○	×	○	×
チャプター書き込み（65ページ）	○	○	○	○	×
タイトル結合（67ページ）	×	○	×	○	×
タイトル順変更（66ページ）	×	×	×	○	×
ディスクマップ消去（62ページ）	×	×	×	×	○**

* DVD+RWのみ

**DVD+RW、DVD-RW（ビデオモード）のみ

消去・編集についてのご注意

- DVD+RとDVD-Rでは、ファイナライズ（71ページ）後は、タイトルの消去や編集ができなくなります。
- 編集中に「管理情報がいっぱいです」と画面に表示された場合、不要なタイトルを消去したり、編集内容を変えてみてください。
- 編集中にディスクを取り出したり、予約録画が始まると、編集内容が取り消されます。
- 編集したタイトルは、再生時に映像が一時停止することがあります。
- 他機で作成したディスクは、本機で編集できません（VRモードのDVD-RWおよびDVD-Rを除く）。
- DVDビデオカメラなどで作成したフォトムービーは、編集できません。

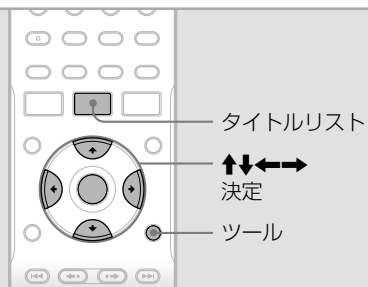
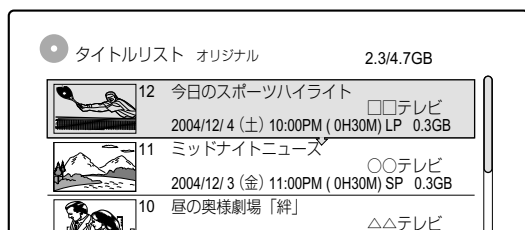
ダビングする

タイトルをダビングする

HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video

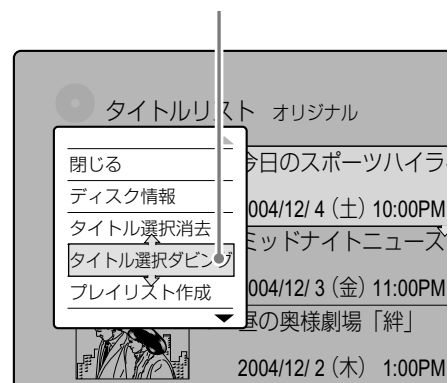
HDDとDVD間でダビングできます（COPYマークが付いているタイトルは、「ムーブ（移動）」になります。70ページ）。プレイリストのタイトルもダビングできます。
目的に合ったディスクやダビングモード（高速ダビング、録画モード変換ダビング）、ダビングの制限などについて詳しくは、70ページをご覧ください。

1 DVDを入れ、HDDボタンまたはDVDボタンで、ダビング元を選ぶ。

2 タイトルリストボタンを押す。

1つのタイトルをダビングするとき

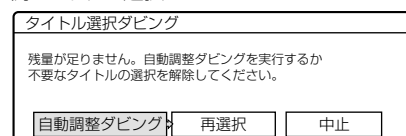
3 ダビングしたいタイトルを選び、決定する。

最大30のタイトルを一括ダビングするとき

3 ツールボタンを押して、「タイトル選択ダビング」を選び、決定する。

ダビング先の空き容量が足りないときは（自動調整ダビング）

ダビング実行後に、以下の画面が表示されます。

例：タイトル選択ダビングのとき

タイトル選択ダビング
残量が足りません。自動調整ダビングを実行するか
不要なタイトルの選択を解除してください。
自動調整ダビング　再選択　中止

「自動調整ダビング」を選び決定すると、ダビング先の空き容量に合わせて、自動的に画質の低いモードでダビングが実行されます（タイトル選択ダビングの場合、選んだタイトルすべてに共通のダビングモードが設定されます）。

ダビングを途中で止めるには

① ツールボタンを押して、「ダビング停止」を選び、決定する。

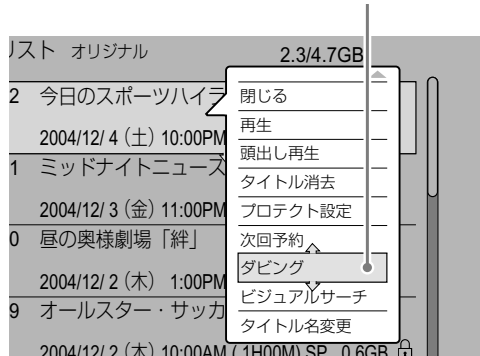
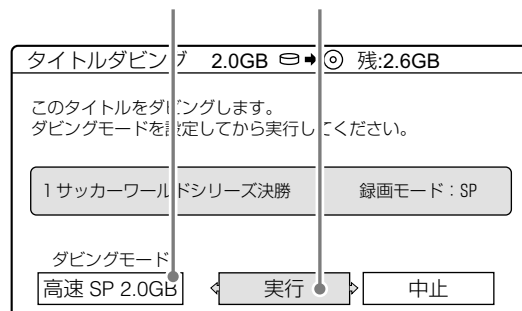
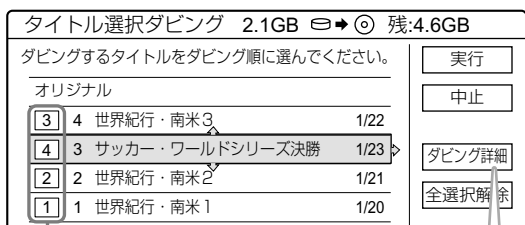
② 「はい」を選び、決定する。

ちょっと一言

- ダビング中に本機の電源を切ることができます。
- タイトル選択ダビングは、システムメニューの「ダビング」からもできます。

ご注意

- ダビング中はすべての録画が実行されません。
- ダビング元のチャプターマークは、ダビング先には反映されません。「自動チャプターマーク」（79ページ）が「入」のとき、HDDからDVDへのダビングでは、約6分間隔でチャプターマークが入り、DVDからHDDへは、画像と音声の変化を捉えて自動でチャプターマークが入ります。
- DVD+R DLへのダビングでは、ディスクのレイヤー（層）が切り換わるときに、映像や音声が一部途切れます。
- ダビング元で設定したサムネイルは、ダビング先には反映されません。
- 市販のDVDからは、本機のHDDにダビングできません。
- HDDからDVDに音声多重放送をダビングする場合は、「DVD二重音声記録」で音声を選んでください（80ページ）。

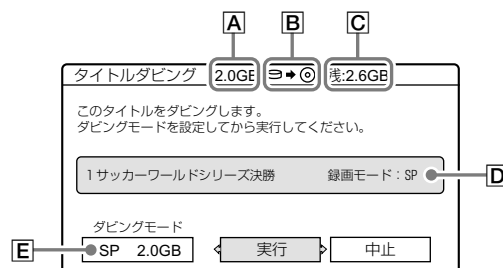
4 「ダビング」を選び、決定する。

5 「ダビングモード」を設定して、「実行」を選び、決定する。

4 タイトルをダビングしたい順に選び、決定する。

ダビング順が表示されます。もう一度選び、決定すると取り消されます。

- 「**全選択解除**」：すべての選択を取り消す。

5 「実行」を選び、決定する。

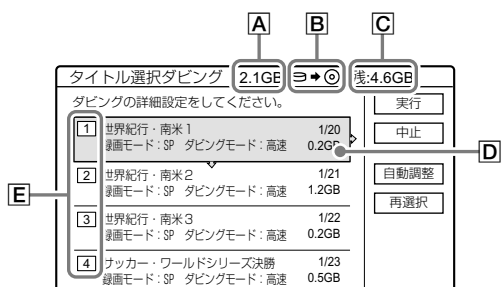
ダビングが始まり、表示窓に残り時間が表示されます。

タイトルダビング画面について

容量などの数値は、目安です。

A ダビング元のタイトル容量
B ダビングの方向
C ダビング先の空き容量
D ダビング元のタイトル情報
E ダビングモードと、ダビング後のタイトル容量
以下のように、↑↓でダビングモードが選べます。
高速*→HQ→HSP→SP→LSP→LP→EP→SLP→SEP

* HDDからDVDへのみ。また、高速ダビングできるタイトル（70ページ）のみ。

ダビング詳細画面について

タイトル選択ダビングの手順4で「ダビング詳細」を選び、決定すると、各タイトルをより細かく設定できます。容量などの数値は、目安です。

A ダビング元の全タイトル容量
B ダビングの方向
C ダビング先の空き容量
D ダビング元のタイトル情報（「～GB」は、ダビング後のタイトルの容量）
E ダビングする順番

- 「**再設定**」：ダビングするタイトルを選び直す。
- 「**自動調整**」：選んだタイトルがすべてダビング先に収まるよう、ダビングモードを自動調整する（自動調整ダビング）。

タイトルを選び、決定すると、サブメニューに以下の項目が表示されます。

項目	設定
モード設定	ダビングモード（70ページ）を変える。
順序変更	ダビングの順番を変える。 ダビング順変更 3 世界紀行・南米3 1/22 中止 このタイトルのダビング順変更先を選んでください。 1 世界紀行・南米1 1/20 2 世界紀行・南米2 1/21 4 サッカー・ワールドシリーズ決勝 1/23 移動先を選び、決定する。
選択解除	ダビング対象からはずす。

ダビングについてのご注意

本機では、放送や映像ソフトに含まれるコピー防止信号に応じて、以下のようにダビングに使用できるディスクやダビングの方向に制限がかかります。コピー防止信号を含む放送や映像ソフトについて詳しくは、「録画についてのご注意」(50ページ)をご覧ください。

コピー防止信号の種類	ダビングの方向
録画自由（信号なし）	HDD ⇄ +RW、-RW VR、-RW Video、+R、-R VR、-R Video（*）
1回だけ録画可能	HDD → -RW VR**、-R VR** ムーブ(下記参照)

* DVDからHDDへのダビングで、ディスク中のコピー防止信号を含むシーンは、灰色の画面がHDDに録画されます。

**CPRM対応ディスクのみ。

「1回だけ録画可能」のムーブ(移動)とは

HDDに録画した「1回だけ録画可能」の番組(COPYマークが付いたタイトル)を、CPRM対応のVRモードのDVD-RWまたはDVD-Rへ移動することです。

ダビングがHDD内の映像も残るのとは異なり、ムーブではディスクへの移動が終了すると、HDD内の映像は消去されます。

ムーブについてのご注意

- HDDで以下のタイトルはムーブできません。
  - プロテクト設定で保護しているタイトル
  - プレイリストのタイトル
  - プレイリストから参照されているオリジナルのタイトル
- ムーブを途中で停止した場合、HDD内のタイトルは消えません。

ダビングモードと高速ダビング時間

ダビングモードとは

ダビング時の録画モードのことで、モードの種類はHQ+を除き録画モードと同様です。

高速ダビング

HDDからDVDへ元の録画モードを引き継いで、すばやくダビングできます。

ダビング時に「ダビングモード」で、「高速」を選んで実行します(69ページ)。最短の所要時間は、次の表のとおりです。

HDDからDVDへの高速ダビング所要時間一覧(60分番組の場合)[1]

速度[2]	6倍速[3]	6倍速	8倍速[4]	8倍速[4]	2.4倍速
モード	DVD+RW	DVD-RW	DVD+R	DVD-R	DVD+R DL
HQ	10分	10分	8分	8分	25分
HSP	6分40秒	6分40秒	5分	5分	16分40秒
SP	5分	5分	3分45秒	3分45秒	12分30秒
LSP	4分	4分	3分	3分	10分
LP	3分20秒	3分20秒	2分30秒	2分30秒	8分20秒
EP	2分30秒	2分30秒	2分	2分	6分15秒
SLP	60分[5]	1分40秒	60分[5]	1分15秒	60分[5]
SEP	60分[5]	1分15秒	60分[5]	56秒	60分[5]

1) 表中の時間は目安です。実際の所要時間には、ディスク管理情報の作成時間も加わります。

2) 本機の記録速度の最大値です。ディスクの状態によっては、この値と異なる場合があります。また、最大値を超える記録速度のディスクには、この値で記録できないことがあります。

3) 6倍速を超えるDVD+RWを使用しても、本機のドライブ速度は最大6倍速です。

4) 8倍速を超えるDVD+R/DVD-Rを使用しても、本機のドライブ速度は最大8倍速です。

5) 録画モードがSLP、SEPのタイトルは、DVD+RWおよびDVD+Rに高速ダビングできません。

高速ダビングについてのご注意

- DVDからHDDへは高速ダビングできません。
- 録画モードがHQ+のタイトルは、高速ダビングできません(「高速」も表示されません)。
- 以下のタイトルは、VRモードのDVD-RWおよびDVD-Rにのみ高速ダビングできます。
  - 音声多重放送の主音声、副音声ともに記録したタイトル
  - 4:3と16:9の映像サイズが混在したタイトル

録画モード変換ダビング

HDDとDVD間の双方向で、データ量を減らすため画質を落とし、元の録画モードとは異なるモードでダビングします(例:HQで録画したタイトルをSPに変換してダビング)。

ダビング時に「ダビングモード」で、ダビング元とは異なるモードを選んで実行します(69ページ)。

録画モード変換ダビングについてのご注意

- ダビング元の録画モードより高画質のモードに変換しても、画質は良くなりません。
- 4:3と16:9の映像サイズが混在したHDDのタイトルは、ダビング先のディスクにより以下の映像サイズになります。
  - -RW Video -R Video:「DVD録画横縦比」(45ページ)で設定した映像サイズ(4:3または16:9)
  - +RW +R:常に4:3

ちょっと一言

- HDDにHQまたはHQ+で録画したタイトルを、HSP～EPのいずれかのモードに変換ダビングした場合、自動的に最適なビットレートが配分され、画質の劣化が最小限に抑えられます。
- DVD+RW、DVD+R、ビデオモードのDVD-RWおよびDVD-Rに高速ダビングすると、消去･編集した画像が一部残ることがあります。その場合は、録画モード変換ダビングすると、シーンの継ぎ目が滑らかになります。

ディスクを他機で再生できるようにする（ファイナライズ）

+RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video

「ファイナライズ」は、本機で録画したDVDを、他のDVDプレーヤー /DVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで再生できるように互換処理することです。ディスクごとに、ファイナライズ方法は異なります。

ご注意

- 本機のみでの再生なら、どのディスクもファイナライズ不要です。
- 正しくファイナライズしても再生できないDVD機器があります。
- 他機で録画したディスクは、本機でファイナライズできません。

+RW	**不要。**本機から取り出す際に、自動的にファイナライズ処理されます*。同時にDVDメニューも作成されます。
	ファイナライズ後も本機で追加記録や編集でき、その後の再ファイナライズは不要です。
-RW VR	**必要。**ただし、DVD-RW VRモード対応DVD機器のみでの再生なら、ファイナライズ不要です*。
	ファイナライズ後も本機で追加記録や編集でき、その後の再ファイナライズは不要です。
-R VR	**必要。**ただし、DVD-R VRモード対応DVD機器のみ再生できます。
	ファイナライズ後は、本機で追加記録も編集もできません。
-RW Video	**必要。**手動ファイナライズ後は、DVDメニューも作成されます。
	ファイナライズ後は、ファイナライズを解除すれば、本機で追加記録や編集できます。その後、再ファイナライズが必要です。
+R -R Video	**必要。**手動ファイナライズ後は、DVDメニューも作成されます。
	ファイナライズ後は、本機で追加記録も編集もできません。

* 録画時間が短いときなどは必要になることがあります。

1 DVDを入れて、ツールボタンを押す。

2 「ディスク情報」を選び、決定する。

ディスク情報画面が表示されます。

3 「ファイナライズ」を選び、決定する。

ファイナライズが選べない状態であれば、ファイナライズがされています。

4 「はい」を選び、決定する。

ファイナライズが始まります。

→ ファイナライズを解除するときは

-RW VR -RW Video

DVD-RW（ビデオモード）の場合

本機で追加記録や編集できるようになります。

ご注意

- 他機でファイナライズしたDVD-RW（ビデオモード）は、解除できません。

DVD-RW（VRモード）の場合

他機でファイナライズし、「ディスクがファイナライズされています。ファイナライズを解除してください。」と表示されたときに行ってください。追加記録や編集ができるようになります。

① **「ディスクを他機で再生できるようにする」（左記）の手順1 ～ 2をする。**

② **「ファイナライズ解除」を選び、決定する。**
ファイナライズ解除が始まり、終了まで数分かかります。

ディスクの設定をする（名称入力/プロテクト設定/全消去/初期化）

ディスク情報画面で下表の項目について設定できます。↑↓←→で選び、決定ボタンで決定します。

項目/対応ディスク	操作
名称入力 +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video	ディスク名を入力する（38ページ）。他機では、入力したディスク名が表示されないことがあります。
プロテクト設定 -RW VR -R VR	「入」を選ぶと、DVD内の全タイトルを保護する。「切」で解除する。
全消去 HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video	確認画面で「はい」を選ぶと、プロテクト設定されているタイトル以外の全タイトルを消去する。DVD+RとDVD-Rでは、空きは増えません。
初期化 HDD +RW -RW VR -RW Video -R VR	確認画面で「はい」を選ぶと、全内容を消去して、空きディスクにする（DVD-Rを除く）。DVD-Rでは、未記録状態のディスクをVRモードで初期化します。

ご注意

- 1枚のDVD-RWおよびDVD-Rで、異なる記録フォーマット（「VR」または「ビデオ」）を混在させることはできません。

ちょっと一言

- タイトルごとに保護できます（63ページ）。
- DVD-RWは初期化することにより、記録フォーマット（「VR」または「ビデオ」）を変更できます。ただし、初期化時にそれまで録画した内容は消去されます。

ビデオから録画する

HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video

本機に接続したビデオから録画できます。接続は20ページをご覧ください。

1 **HDDボタンまたはDVDボタンで、録画先を選ぶ。**

DVDを選んだときは、録画用のDVDを入れる。

2 **入力切換ボタンを繰り返し押して、録画する機器の入力に切り換える。**

チャンネル番号 → L1→ L2→ L3→ DV

3 **リモコンのふたの中の録画モードボタンを繰り返し押して、録画モード(50ページ)を選ぶ。**

4 **ツールボタンを押す。**

5 **「外部入力音声」を選び、決定する。**

ステレオ(お買い上げ時)と二重音声*があります。

* 「セットアップ」の「オプション」で、「HDD二重音声記録」または「DVD二重音声記録」から録画する音声を選びます(80ページ)。

6 **ふたの中の❚❚(録画一時停止)ボタンを押す。**

本機が録画一時停止状態になります。

7 **ビデオ側で、再生一時停止状態にする。**

8 **本機の❚❚(録画一時停止)ボタンと、他機の一時停止(または再生)ボタンを同時に押す。**

録画が始まります。本機の録画を止めるには、ふたの中の■(録画停止)ボタンを押す。

ちょっと一言

- 録画前に、録画の画質を調整できます(45ページ)。

ご注意

- ゲーム画面の録画は、画像が乱れることがあります。
- 本機はコピーガード対応のため、「録画禁止」のコピー防止信号のある映像は録画できません。

チューナーから予約録画する(シンクロ録画)

HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video

番組予約機能の付いた機器(デジタルチューナー、CATVチューナー、テレビなど)を入力1端子に接続すれば、その電源と連動させて予約録画できます。

1 **「セットアップ」メニューで録画先を選ぶ。**

① **システムメニューボタンを押す。**

② **「セットアップ」メニューを選び、決定する。**

③ **「フィーチャー」で「HDDへ録画」か「DVDへ録画」を選び、決定する。**

DVDを選んだときは、録画用のDVDを入れる。

2 **「ビデオから録画する」(左記)の手順3～5をする。**

3 **チューナー側で番組予約をして、チューナーの電源を切る。**

4 **リモコンのふたの中のシンクロ録画ボタンを押す。**

シンクロ録画ランプが点灯し、シンクロ録画待機になります。

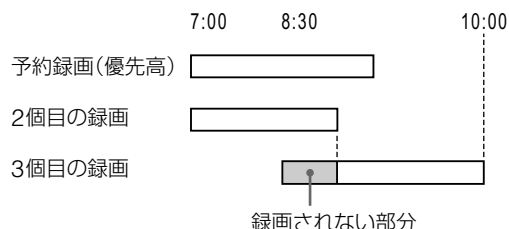
チューナーからの信号が本機の入力1端子に入力されると、「L1(入力1)」の録画が自動的に始まります。チューナーからの信号入力が止まると、録画も自動的に止まります。

シンクロ録画中に録画を止めるには、ふたの中の■(録画停止)ボタンまたはシンクロ録画ボタンを押します。

シンクロ録画待機を解除するには

録画前に、ふたの中のシンクロ録画ボタンを押す。

シンクロ録画と本機の予約が重なったときは

シンクロ録画と予約録画(1番組のみ)は同時に行えます。すでに1番組を録画中に、シンクロ録画と録画予約が重なった場合には、先に開始する予約が優先され、後の予約は、先の予約終了後に録画されます。終了時刻と開始時刻が同じ場合、後の予約の先頭部は録画されません。

ご注意

- 本機はコピーガード対応のため、「録画禁止」のコピー防止信号のある映像は録画できません。
- チューナーからの映像信号を本機が確認してから録画が始まるため、番組の冒頭は欠けます。本機の電源「入」のときは、電源「切」よりも欠ける部分は少なくなります。
- シンクロ録画ランプ点灯中に、チューナーを使うときは、シンクロ録画ボタンを押してシンクロ録画ランプを消灯させます。予約開始前には、チューナーの電源を切り、シンクロ録画ボタンを押して、シンクロ録画ランプを再点灯させてください。
- チューナーによってシンクロ録画できないことがあります。チューナーの取扱説明書をご覧ください。
- 本機の時計が未設定の場合、シンクロ録画できません。

デジタルビデオカメラから録画する(DVダビング)

HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video

本機前面のDV入力端子に接続したDV/Digital8方式のデジタルビデオカメラを、本機側で操作し、よりかんたんにダビングできます(おまかせDVダビング)。デジタルビデオカメラの取扱説明書も併せてご覧ください。

DVダビング時のチャプターの作られかたについて

お買い上げ時の設定では、ダビング先に応じて、以下のとおりチャプターが作られます。

- HDD -RW VR -R VR
  テープ上の一回の撮影が1つのチャプターとして自動的に作られます。プログラムダビングでは、1つのシーンが1つのチャプターになります。
- +RW -RW Video +R -R Video
  約6分間ごとに1つのチャプターになります。

ちょっと一言

- チャプターを区切りたくないときは、「自動チャプターマーク」を「切」にしてください(79ページ)。
- ダビング中に本機の電源を切ることができます。

DVダビングについてのご注意

- DVダビング中はすべての予約録画が実行されません。
- チャプターマーク機能が正しく働くためには、正しく時刻設定されたデジタルビデオカメラで撮影されている必要があります。
- テープの記録日時やカセットメモリーはダビングされません。
- 複数のサンプリング周波数(48kHz、44.1kHz、32kHz)が記録されているなど、音声トラックの記録方式に変化のあるテープをダビングすると、再生時に、サンプリング周波数が切り換わる箇所で音が途切れたり、不自然な音声が出たりします。
- 以下の場合、ダビングした画像に影響が出たり、プログラムどおりにダビングされないことがあります。その場合、「ビデオから録画する」(72ページ)を行ってください。
  －テープの画像サイズが途中で変わっているとき
  －テープに無記録部分があるとき
  －テープのタイムコードが不連続のとき

ファイナライズについてのご注意

- ダビングしたDVDを他のDVD機器で再生するときは、ファイナライズが必要です(71ページ)。
- ダビング終了時に自動的にファイナライズしたいときは、「ワンタッチダビング」を「自動」に変更してください(79ページ)。

1 デジタルビデオカメラ側で準備する。

① **前面のDV入力端子に接続する(21ページ)。**

② **DV/Digital8方式のテープを入れる。**

③ **ビデオ再生モードにする。**

2 録画するディスクを選ぶ。

HDDのときは、HDDボタンを押す。
DVDのときは、DVDのディスクを入れる。

ちょっと一言

- ダビング後に本機で編集するときは、HDDまたはVRモードのDVD-RW/DVD-Rに録画してください。

3 入力切換ボタンを繰り返し押して、「DV」に切り換える。

4 リモコンのふたの中の録画モードボタンを繰り返し押して、録画モード(50ページ)を選ぶ。

5 テープにアフレコ音声があるときは、録画する音声を選ぶ。

テープのオリジナル音声だけを録音するとき(「ステレオ1」:お買い上げ時の設定)は、この操作は不要です。手順6へ進んでください。

① **ツールボタンを押す。**

② **「DV入力音声」を選び、決定する。**

③ **「ミックス」(オリジナル音声とアフレコ音声両方)か「ステレオ2」(アフレコ音声のみ)を選び、決定する。**

6 画質・映像サイズを設定する。

ダビング時の画質などは、ツールボタンを押して、あらかじめ調整できます(45ページ)。設定不要のときは、手順7へ進んでください。

次のページにつづく⇨

7 テープをディスクに丸ごとダビングするときは、本体のワンタッチダビングボタンを押す（おまかせDVダビング）。

本機がテープの頭まで巻戻し、テープの内容を「1つのタイトル」として、丸ごとダビングします。ダビング終了時、本機は5分間、無記録部分を録画し、再度、テープを自動で巻戻します。

前もって場面を選んでダビングするときは

おまかせDVダビングは行わずに、「編集してダビングする（プログラムダビング）」（74ページ）を行ってください。

ダビングを途中で止めるには

本体の録画停止ボタンを押す。
止まるまでに数秒かかることがあります。

ちょっと一言

- おまかせDVダビング中もHDDに記録済みのタイトルを再生できます。

ご注意

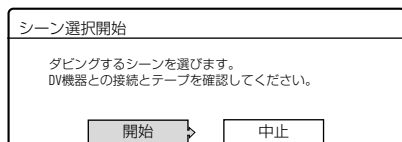
- テープに5分間以上の無記録部分があると、おまかせDVダビングは自動的に終了します。

編集してダビングする（プログラムダビング）

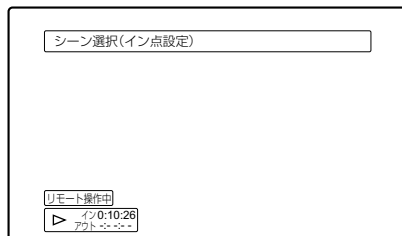
ダビングしたいシーンを選んだ後、ダビングします。

1 「デジタルビデオカメラから録画する（DVダビング）」の手順1 ～ 6を行う。

2 システムメニューボタンを押す。

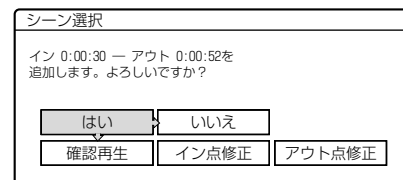
3 「DV編集」を選び、決定する。

- 「**保存データ**」：以前に保存していたプログラムを再編集するとき（手順7へ）。

4 「開始」を選び、決定する。

イン点（開始点）の設定画面になり、シーンの再生が始まります。

5 イン点（開始点）を設定する。

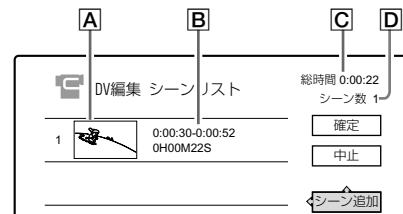
◀◀/▶▶（早戻し/早送り）ボタンで、イン点を選び、決定ボタンを押す。
終了点（アウト点）の設定画面が表示されます。

6 アウト点（終了点）を設定する。

操作は、イン点（開始点）と同様です。

確認画面が表示されます。

- 「**確認再生**」：選んだシーンを確認する。
- 「**イン点修正**」：イン点を選び直す（手順5へ）。
- 「**アウト点修正**」：アウト点を選び直す（手順6へ）。

7 「はい」を選び、決定する。

選んだシーンすべてを含むシーンリスト（プログラム内容）が表示されます。

A サムネイル
B 時間情報
C プログラム（選んだ全シーン）の合計時間
D 選んだシーンの総数

8 「シーン追加」を選び、決定ボタンを押す。

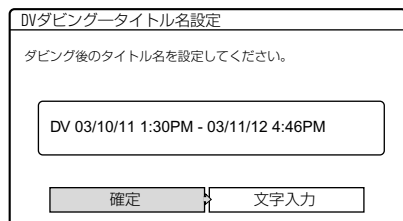
続けて、他のシーンを追加します（手順4へ）。すべてのシーンを追加したら、手順9へ進みます。

9 追加したシーンをさらに編集したい場合は、シーンリストからシーンを選び、決定する。

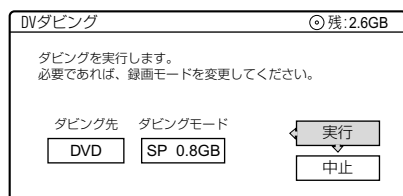
サブメニューから操作を選び、決定する。

- 「**シーン移動**」：シーンの順番を変える。
- 「**シーン消去**」：シーンを消去する。
- 「**確認再生**」：選んだシーンを確認する。
- 「**イン点修正**」：イン点を選び直す（手順5へ）。
- 「**アウト点修正**」：アウト点を選び直す（手順6へ）。

10 シーンの編集が終わったら、「確定」を選び、決定する。

タイトル名の設定画面が表示されます。タイトルを入力しない場合、タイトル名は「DV 最初の撮影日時－最後の撮影日時」になります。

- 「**文字入力**」：新たにタイトル名を入力する（38ページ）。

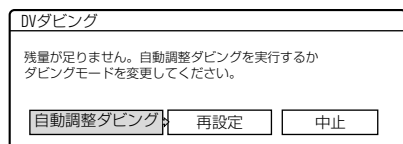
11 「確定」を選び、決定する。

表示されたタイトル名が確定し、ダビング開始の確認画面が表示されます。

- 「**ダビング先**」：ダビング先を選ぶ。
- 「**ダビングモード**」：ダビング中の録画モードを変える。

12 「実行」を選び、決定する。

プログラムどおりにダビングが始まります。

ディスク容量が足りないときは（自動調整ダビング）

確認画面が表示されます。

- 「**再設定**」：ダビングモードを選び直す（手順**11**へ）。
- 「**自動調整ダビング**」：本機が自動でダビング可能なダビングモードに設定し直す。決定すると、ダビングが始まります。

プログラムダビングを止めるには

リモコンのふたの中の■（録画停止）ボタンを押す。
止まるまでに数秒かかることがあります。

ご注意

- テープが以下のときは、イン点やアウト点が設定どおりにならないことがあります。
  – テープの途中で、録画モードが変わっているとき
  – テープの記録と記録の間に無記録部分があるとき
- テープの最初にイン点、最後にアウト点を設定すると、イン点とアウト点がわずかにずれてダビングされることがあります。
- 1秒以内の短いシーンは設定できません。

DV入力端子についてのご注意

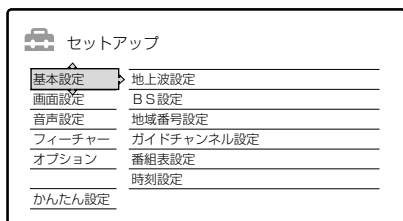
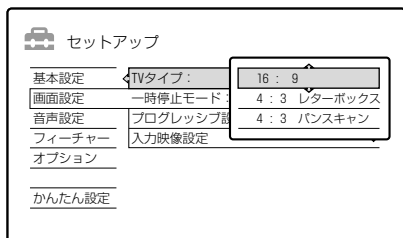
- 入力専用です。信号は出力されません。
- 複数のデジタルビデオ機器を接続できません。
- MICRO MV方式のデジタルビデオカメラは接続できません。
- 他機から本機を操作できません。
- 以下の場合、DV入力端子は使えません。他の入力端子に接続し、「ビデオから録画する」（72ページ）を行ってください。
  －デジタルビデオカメラの仕様により、本機のDV端子への信号入力や本機からの操作が正しくできないとき（i.LINKについて詳しくは88ページをご覧ください。）
  －テープにコピー防止信号が記録されているとき
  －DVC-SDフォーマット以外の入力信号のとき

初期設定を変更する（セットアップ）

画質や音声、DVDの字幕の言語やメニューの言語など、さまざまな設定を変更できます。

ご注意
- 再生の設定があらかじめ決められているタイトルは、セットアップ画面で設定した機能は働きません。
- 録画中および番組表データ受信中は、「セットアップ」を選べません。

1 停止中に、システムメニューボタンを押す。

2 「セットアップ」を選び、決定する。

3 設定したい項目や内容を選び、決定する。
設定項目と内容について詳しくは、76 ～ 80ページの一覧をご覧ください。

お買い上げ時の設定は、太字下線の項目です。

基本設定

地上波設定

自動チャンネル設定
お住まいの地域で受信できる放送局を自動設定する。

手動チャンネル設定

地上波設定－手動チャンネル設定　表示チャンネル 1
受信する放送：一般放送
受信するチャンネル：52
アップダウン選局：する
ゴーストリダクション：入
微調整：自動

受信する放送
29 ～ 30ページをご覧ください。

受信するチャンネル
29 ～ 30ページをご覧ください。

アップダウン選局
不要なチャンネルを映らなくする。

① チャンネル＋/－ボタンで、「表示チャンネル」を飛ばしたいチャンネルにする。

② 「アップダウン選局」で「しない」を選び、決定する。

地上波設定－手動チャンネル設定　表示チャンネル 50
受信する放送：一般放送
受信するチャンネル：
アップダウン選局：する／しない
ゴーストリダクション：
微調整：

他にも飛ばしたいチャンネルがあるときは、手順① ～ ②を繰り返します。

ご注意
- ホスト局（Gガイド/Gコード地域番号･放送局表（23ページ）の●の付いている放送局）をとばすと、番組表データが取得できなくなります。
- 時計の自動補正（ジャストクロック）を設定しているチャンネル（NHK教育テレビ）を飛ばすと、ジャストクロックが働きません。

ゴーストリダクション（RDR-HX92Wのみ）
ゴースト（映像が重なって見えるなどの現象）を低減する。チャンネルごとに設定できます。
- **<u>入</u>**：ゴーストリダクションを働かせる。
- 切：ゴーストリダクションを働かせない。

ご注意
- ゴーストリダクションは、チャンネルを切り換えた後、数秒してから働き、強いゴーストから順に少なくしていきます。このとき、画像が一瞬またたくことがあります。
- 電波が弱い場合、この機能が働くまでに時間がかかることがあります。
- 次のときは、「切」にすると映像が見やすくなる場合があります。
  – ゴーストが強すぎるとき
  – 飛行機に反射して起きるゴーストなど一定でないゴーストのとき
  – 室内アンテナなどの設置や調整が不適切なとき

ちょっと一言
- アンテナの設置･調整時は「切」にすると、ゴーストの少ない方向を確認できます。

微調整
映像の映りが悪いときに、受信状態を調整する。
- **<u>自動</u>**：受信状態を自動調整する。
- 手動：受信状態を手動で微調整する。⟷で調整し、決定ボタンで決定する。

自動ステレオ受信

- 入:ステレオ放送をステレオで聞く(通常の設定)。
- 切:ステレオ放送をモノラルで聞く(雑音が多いとき)。

BS設定

チャンネル設定

不要なBSチャンネルを映らなくする。

① **飛ばしたいチャンネルを選び、決定する。**

② **「選局しない」を選び、決定する。**

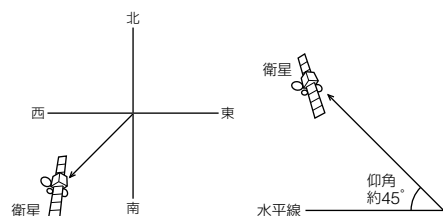
他にも飛ばしたいチャンネルがあるときは、手順① ～ ②を繰り返す。

アンテナレベル表示

BSアンテナを自分で設置するときや、画像の映りが悪いときに、アンテナレベルを表示して、BSアンテナの向きを調節する。

① **BSアンテナを南西の方位に、仰角目盛約45°を目安として設置する。**
方位と仰角は、地域により異なります。

② **BSアンテナを動かし、テレビにBS放送が映るようにする。**

③ **アンテナレベル表示を見ながら、「現在地」と「最大値」の数字が一致または一番近づいたところで、アンテナを固定する。**

BSアンテナの設置は技術が必要なため、お買い上げ店などに依頼することをお勧めします。

ご注意

- BSアンテナが衛星の方向から少しでもずれていると、電波を受信できません。設置について詳しくは、BSアンテナの取扱説明書をご覧ください。
- 必ずBS放送の画像がテレビに映った状態でアンテナレベルを最大に調節してください。
- 受信電波が弱くノイズが出るときは、市販のサテライト(BS)ブースターを本機とBSアンテナの間に使用してください。
- 1つのBSチャンネルで調節すれば、他のBSチャンネルの調整は不要です。

アンテナ電源

- 自動:本機に接続した他のBSチューナー内蔵機器の電源の有無を検知して、BSアンテナ用のコンバーター電源の供給を切り換える。
- 入:本機と関係なくBSアンテナ用のコンバーター電源を供給する。
- 切:BSアンテナ用のコンバーター電源を供給しない。マンションなどの共同受信システムのとき選ぶ。

ご注意

- 「オプション」の「低消費スタンバイ」が「入」の場合(80ページ)、本機の電源を切るとBSアンテナへの電源は供給されません。

地域番号設定

「かんたん設定」で設定した地域番号を表示する。番組表設定やガイドチャンネル設定時に未設定のときや、引越したときなどは、地域番号を再設定する(22ページ)。

ガイドチャンネル設定

以下のような場合に設定する。

- 本機の表示チャンネルを手動で変更したとき(29ページ)
- 受信できるチャンネルを追加したとき(30ページ)
- 1～62チャンネルで映るBSチャンネルを予約するとき(44ページ)
- Gコード予約できる放送局を追加するとき(44ページ)

ご注意

- あらかじめ設定されているガイドチャンネルを変えたり、消したりできません。また、同じガイドチャンネルは追加できません。

番組表設定

取得チャンネル

番組表データを送信している放送局(ホスト局)を設定する(30ページ)。

取得時刻設定

ホスト局が番組表データを送信する各時刻に、本機がデータを受信するかを設定する。
送信時刻は地域によって異なります。
「取得しない」に設定した時刻には、番組表データを受信しません。

ご注意

- ホスト局の都合でデータを送信する放送局が変更されない限り、番組表設定は、絶対に変更しないでください。誤って変更すると、番組表データが受信できなくなります。

時刻設定

現在時刻

時計を合わせる。

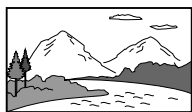
ご注意

- 時刻設定が間違っていると、設定した日時に予約録画されません。

次のページにつづく⇨

ジャスト クロック	NHK教育テレビの正午の時報に合わせ、本機時計を自動補正する機能を設定する。 **ご注意** 次の場合は自動補正できません。 – 本機の電源が入っている(正午5分前までに電源を切る) – 録画中 – シンクロ録画待機中 – 時計が2分以上ずれている – NHK教育テレビのチャンネルを飛ばしている(76ページ) – 番組表データ受信中 – スポーツ中継の延長などにより、時報が送信されなかったとき
設定 チャンネル	ジャストクロックが正常に行われるように、設定チャンネルをNHK教育テレビの表示チャンネルに合わせる(30ページ)。

画面設定

TVタイプ	映像が16:9サイズのタイトル(45ページ)や市販のDVDビデオを再生するときの、画面サイズを設定する。 • 16:9:ワイドテレビまたはワイドモードのあるテレビとつなぐとき。 • 4:3レターボックス:4:3画面のテレビとつなぐとき。ワイド映像はそのまま表示され、画面の上下に黒い帯が表示される。 • 4:3パンスキャン:4:3画面のテレビとつなぐとき。ワイド映像は、左右が自動的にカットされ、画面全体に表示される。 **ご注意** • DVDによっては、設定に関わらず自動的に「4:3レターボックス」または「4:3パンスキャン」で再生されるものがあります。
一時停止 モード	一時停止時の画像のモードを設定する。 • 自動:通常はこの設定にする。動きの大きい被写体の画像が、ぶれずに見られる。 • フレーム:動きの少ない画像が、高い解像度で見られる。
プログレッシブ 設定	映像信号表示をプログレッシブに設定しているときに(55ページ)、素材の変換方法を設定します。 • 自動:通常はこの設定にする。ビデオ素材とフィルム素材の違いを本機が検出し、自動的に素材に合わせた変換方法に切り換える。 • ビデオ:記録されている映像素材に関わらず、常にビデオ素材用の変換方法で映像を変換する。
入力映像設定	入力1端子/入力3端子それぞれからの信号の種類を選ぶ。 • 映像:映像端子で接続したとき。 • S映像:S映像端子で接続したとき。

音声設定

オーディオ ATT(アテニュエイション)(attenuation)	出力1/2音声端子からの出力レベルを低くして、歪を抑えるかどうかを選ぶ。 • 入:スピーカーからの音が歪むとき。 • 切:通常はこの設定にする。
オーディオ DRC(Dynamic(ダイナミック) Range(レンジ) Control(コントロール))(DVDのみ)	オーディオDRC対応のDVDの音量を下げて聞くときの設定を選ぶ。 次の端子の出力に効果があります。 ー出力1/2音声端子 ー「ドルビーデジタル」を「ダウンミックスPCM」に設定時のデジタル音声出力同軸/光端子 • スタンダード:通常はこの設定にする。 • テレビ:小さい音までよく聞こえるようにする。 • ワイドレンジ:迫力ある音にする。
ダウン ミックス(DVDのみ)	ドルビーデジタル方式でリア音声の記録されたDVDを、2チャンネルに変換して再生するときの設定を選ぶ。 次の端子の出力に効果があります。 ー出力1/2音声端子 ー「ドルビーデジタル」を「ダウンミックスPCM」に設定時のデジタル音声出力同軸/光端子 • ドルビーサラウンド:通常はこの設定にする。マルチチャンネルをサラウンド用に処理する。 • ノーマル:マルチチャンネルをステレオ用に処理する。
音声出力	**デジタル出力** デジタル音声出力同軸/光端子から、音声信号を出力するかしないかを選ぶ。 • 入:通常はこの設定にする。併せて、下記の「ドルビーデジタル」、「DTS」、「48kHz/96kHz PCM」も行う。 • 切:デジタル回路がアナログ回路に与える影響を最小限に抑える。 **ドルビーデジタル(HDD/DVDのみ)** ドルビーデジタル信号の出力方式を選ぶ。 • ダウンミックスPCM:対応デコーダー内蔵でないオーディオ機器を接続時 • ドルビーデジタル:対応デコーダー内蔵のオーディオ機器を接続時

	DTS（DVDビデオのみ） DTS信号の出力方式を選ぶ。 ・入：対応デコーダー内蔵のオーディオ機器を接続時 ・切：対応デコーダー内蔵でないオーディオ機器を接続時 48kHz/96kHz PCM（DVDビデオのみ） 出力する音声信号のサンプリング周波数を選ぶ。 ・48kHz/16bit：音声信号が48kHz/16bitに変換される。 ・96kHz/24bit：96kHz/24bitを含むすべての信号がそのまま出力される（著作権保護信号を含む信号は48kHz/16bitに変換される）。 **ご注意** ・出力1/2音声端子の信号には、この設定は影響しません。

フィーチャー

自動チャプターマーク	録画やダビング中に、チャプターを自動的に区切るかどうかを選ぶ。 • 入：HDDとVRモードのDVD-RWおよびDVD-Rで、画像/音声の変化に応じてチャプターを区切る。その他のディスクでは、約6分間隔で区切る。 • 切：チャプターを区切らない。 **ご注意** • 録画する映像により、実際に区切られるチャプターの間隔は異なることがあります。 • 「入」の場合、HDDとVRモードのDVD-RWおよびDVD-RへのDVダビング時、各撮影開始点でチャプターが区切れます（73ページ）。
視聴年齢制限（**DVDビデオのみ**）	DVDビデオには、地域ごとに設定された視聴者のレベル（年齢など）に応じて、特定のシーンの再生を制限できるディスクがあります。 ① **4桁の暗証番号を入力する。** ② **「地域」を選ぶ。** ③ **基準にする地域を選ぶ。** アメリカ以外の地域のときは、「その他の地域」を選ぶ。その後、地域コード（91ページ）を入力する。 ④ **「レベル」を選ぶ。** 数字が小さいほど制限が厳しくなります。 視聴年齢制限を解除するときは、「切」を選ぶ。 **ちょっと一言** • 暗証番号を変更するときは、手順②で「暗証番号変更」を選びます。 **ご注意** • 暗証番号を忘れた場合、「工場出荷設定」で「視聴年齢制限」を選びます（80ページ）。 • 再生中に視聴設定の変更を要求された場合は、暗証番号を入力し、レベルを変更してください。 • 視聴年齢制限機能がないディスクの再生では、この機能は働きません。
言語設定（**DVDのみ**）	• DVDメニュー言語：メニューの言語を切り換える。 • 音声言語：音声言語を切り換える。「オリジナル」を選ぶと、DVDに設定された優先言語になる。 • 字幕言語：字幕言語を切り換える。「音声連動」を選ぶと、音声言語と同じ言語になる。 **ちょっと一言** • 「その他」を選んだときは、言語コード（91ページ）を入力してください。 **ご注意** • 選んだ言語がDVDに無いときは、記録されているいずれかの言語になります。
ワンタッチダビング設定	VRモードのDVD-RWおよびDVD-R以外のDVDを、おまかせDVダビング（73ページ）後に、自動的にファイナライズするか選ぶ。 • 自動：自動的にファイナライズされる。 • 手動：手動でファイナライズする。
スポーツ延長対応	「スポーツ延長対応」が「入」時、番組表に延長の情報が無いときの録画延長時間を設定する（48ページ）。 • 30分 • 60分 • 120分
シンクロ録画	シンクロ録画時（72ページ）の録画先を選ぶ。 • HDDへ録画 • DVDへ録画
HQ画質設定（**HDDのみ**）	HDD録画時のHQモードを選ぶ（50ページ）。 • HQ+：より高画質（約15Mbps）で録画する。 • HQ：標準のHQモードで録画する。
スクリーンセーバー	メニューや設定画面などを表示中に、本体やリモコンの操作がないまま10分経過すると、スクリーンセーバーの画面に切り換わります。画像の焼き付き（残像現象）を防ぐのに役立ちます。 • 入：スクリーンセーバーを使う。 • 切：スクリーンセーバーを使わない。

次のページにつづく⇨

オプション

DVD-RW 初期化	DVD-RWを入れると自動的に行われる初期化時の記録フォーマットを選ぶ。 • VR:VRモードで初期化する。 • ビデオ:ビデオモードで初期化する。
HDD二重 音声記録	音声多重放送の番組をHDDに録画するときの音声を選ぶ。 • 主音声:主音声を記録する。 • 副音声:副音声を記録する。 • 主+副音声:主音声と副音声を記録する。 **ご注意** • DVDからHDDへの録画モード変換ダビング時は、設定に関わらずダビング元の音声がそのまま記録されます。
DVD二重 音声記録	音声多重放送の番組をDVDに録画するときの音声を選ぶ。 VRモードのDVD-RWおよびDVD-Rに録画時は、設定に関わらず主音声と副音声の両方が記録されます。 • 主音声:主音声を記録する。 • 副音声:副音声を記録する。
表示窓の 明るさ	• 標準:明るくする。通常はこの設定にする。 • 節電:暗くする。電源「切」(待機状態)時に、表示窓を消灯する。 **ご注意** • 設定に関わらず、「低消費スタンバイ」(80ページ)が「入」の場合は、待機状態時に表示窓は消灯します。
低消費 スタンバイ	電源「切」(待機状態)時に、低消費モードにするか選ぶ。 • 入:低消費モードにする。待機状態時、表示窓が消灯し、BSコンバーターの電源が切れる。 • 切:低消費モードにならない。通常はこの設定にする。 **ご注意** • 「入」にして、本機BS-IF出力端子に接続したテレビのBS放送が映らなくなったときは、テレビ側のBSアンテナ電源供給設定を「入」にしてください。
自動画面表示	情報の画面表示のしかたを選ぶ。 • 入:電源を入れたときなど、自動で表示される。 • 切:画面表示ボタンを押したときのみ。
リモコン モード	33ページをご覧ください。
工場出荷設定	選んだ項目ごとに出荷時の設定に戻す。 選んだ項目のすべてがお買い上げ時の設定に戻るため、ご注意ください。 **① 出荷時の設定に戻したい項目を選ぶ。** **② 確認画面で「確認」を選ぶ。**

かんたん設定

かんたん設定をやり直せます。「実行」を選び、「準備6 かんたん設定をする」(22ページ)に従って設定し直してください。

故障かな？と思ったら

まず、以下の中から該当する項目がないか、もう一度点検してください。

それでも解決しないときは、「スゴ録点検シート」(86ページ)にご記入の上、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください(裏表紙)。

故障の場合は、「スゴ録 点検シート」をテープで本体に貼り、ソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

電源

▶ **電源が入らない。**
- ➔ 電源コードがしっかり差し込まれているか確認する。

画像

▶ **映像が出ない、乱れる。**
- ➔ 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認する。
- ➔ 接続コードが断線していないか確認する。
- ➔ テレビを本機接続の入力(「ビデオ」など)に切り換える。
- ➔ ハイビジョンテレビ専用のコンポーネント入力端子(Y/P_B/P_R)に接続しているため。S映像コードまたは映像コードで接続する。
- ➔ プログレッシブ方式に対応していないテレビとD映像コードまたはコンポーネント映像コードで接続しているときに、本機をプログレッシブ方式に設定しているため(本体表示窓にPROGRESSIVE表示が点灯している)。リモコンのプログレッシブボタンを押して表示を消す。
- ➔ プログレッシブ方式に対応しているテレビとD映像コードまたはコンポーネント映像コードで接続していても、プログレッシブを設定していると映像が乱れることがある。リモコンのプログレッシブボタンを押して表示を消す。
- ➔ 本機をビデオデッキ経由でテレビに接続したり、ビデオ一体型テレビに接続すると、DVDソフトのコピー防止信号が画質に悪影響をおよぼす可能性がある。テレビに直接接続する。
- ➔ 本機をテレビに直接接続していても画質に問題が生じる場合は、S映像コードで接続する(16ページ)。
- ➔ ハードディスクの特性上、ごくまれに画像が乱れることがある。故障ではありません。
- ➔ 2層DVDを再生する場合、レイヤー(層)が切り換わるときに映像や音声が一部途切れることがあります。

▶ **テレビのチャンネルを変えられない。**
- ➔ テレビの入力切換で見たいチャンネルに切り換える。
- ➔ 本機の入力切換ボタンで、映像が映るように入力をBS放送か地上波放送にする。
- ➔ チャンネルを飛ばす設定をしている場合は、チャンネル＋/－ボタンでは選局できない(76ページ)。
- ➔ 予約録画や「おまかせ・まる録」が始まってチャンネルが自動的に切り換わったため。テレビの入力を切り換え、テレビ側でチャンネルを切り換える。

▶ **チャンネルを切り換えたとき画像が出るまで時間がかかる。**
- ➔ 番組表データ受信後は、出画までに時間がかかることがある。

▶ **本機の入力端子に接続した機器の画像が映らない。**
- ➔ 入力切換ボタンを押し、接続先が入力1端子のときは「L1」、入力2端子のときは「L2」、入力3端子のときは「L3」、DV入力端子のときは「DV」を本体表示窓に出す。
- ➔ 入力1または入力3のS映像端子に接続した場合は、「セットアップ」の「画面設定」で、「入力映像設定」の「入力1」または「入力3」を「S映像」にする(78ページ)。

▶ **「TVタイプ」で設定した画像サイズで再生できない。**
- ➔ 画像サイズ固定のタイトルを再生している(78ページ)。

▶ **画面の横縦比がおかしい。**
- ➔ テレビ画面の横縦比に画像を合わせる(78ページ)。

TV/BS受信

▶ **本機で受信しているテレビ放送が映らない。**
- ➔ アンテナケーブルをアンテナ出力端子に接続しているため。アンテナ入力端子に接続する。
- ➔ 「基本設定」の「地上波設定」を選び、「手動チャンネル設定」でチャンネルを合わせる(29ページ)。
- ➔ 入力切換ボタンで正しい外部入力を選ぶ。または、チャンネル＋/－ボタンで他の放送局を選ぶ。
- ➔ 地上デジタル放送の開始にともない、「アナログ周波数変更」が行われた地域では、変更前のチャンネルは映らない。変更後のチャンネルに手動で合わせる(29ページ)。

▶ **本機で受信しているテレビ放送の画像が汚い。**
- ➔ アンテナの向きを調節する。
- ➔ アンテナケーブルをアンテナ出力端子に接続しているため。アンテナ入力端子に接続する。
- ➔ 画像を手動で微調整する(76ページ)。
- ➔ 本機とテレビを離して設置する。
- ➔ アンテナ線を本機から離してたばねる。
- ➔ 電波が弱い。別売りアンテナブースターで電波を増幅する。

▶ **本機に接続した他機で再生・受信している画像がゆがむ。**
- ➔ DVDプレーヤーやビデオデッキなどで再生しているソフトや、別売りのチューナーなどで受信している信号に、著作権保護のためのコピー防止信号が含まれているため。プレーヤーやチューナーなどの機器を本機からはずし、テレビに直接接続する。

次のページにつづく⇨

▶ BSアナログ放送の番組が映らない。

- ➔ BSアンテナやBSデコーダーを正しく接続する（14、19ページ）。
- ➔ BSアンテナの向きを調整する（77ページ）。
- ➔ BSアンテナからゴミや雪を取り除く。
- ➔「セットアップ」から「基本設定」の「BS設定」を選び、「チャンネル設定」を「自動」に設定する（77ページ）。
- ➔「セットアップ」の「オプション」で「低消費スタンバイ」を「切」に設定する（80ページ）。

▶ WOWOWが映らない。

- ➔ 本機のみでBSデジタルWOWOW放送の受信はできない。受信契約し、BSデコーダーを正しく接続する（19ページ）。
- ➔ BSデコーダーの電源を入れる。
- ➔「セットアップ」から「基本設定」の「BS設定」を選び、「チャンネル設定」を「自動」に設定する（77ページ）。
- ➔「セットアップ」から「基本設定」の「BS設定」を選び、「チャンネル設定」で「BS5」を「デコーダー」に設定する（77ページ）。

番組表

▶ 番組表が表示されない。

- ➔ 接続と「かんたん設定」が終了した後、番組表データを受信するまでは1日程度かかる。それまでは番組表は表示されない（26ページ）。
- ➔ 日付や時刻を正しく設定する（22ページ）。
- ➔ 番組表データを送信している放送局（26ページ）の受信状態が悪いため、番組表を表示できない。
- ➔ 間違った地域番号が設定されている。「セットアップ」から「かんたん設定」を選び、正しい地域番号でかんたん設定をやり直す（80ページ）。
- ➔ 番組表データを送信している放送局が変わったため。「セットアップ」の「基本設定」で「番組表設定」を選び、「取得チャンネル」を正しい放送局に設定する（30ページ）。
- ➔ 番組表の取得時刻をすべて「取得しない」に設定しているため。「セットアップ」の「基本設定」で「番組表設定」を選び、「取得時刻設定」で少なくとも1つは「取得する」に設定する（77ページ）。
- ➔ 番組表データを送信している放送局が誤った設定になっているため。「セットアップ」の「オプション」から「工場出荷設定」を選び（80ページ）、初期状態に戻してから「かんたん設定」を選び直す（80ページ）。
- ➔ ホスト局以外の2番組を録画中は、番組表データは受信されない。次の番組表データ受信までしばらく待つ。
- ➔ 番組表データの受信中にチャンネルを切り換えたため、番組表データが受信されていない。次の番組表データ受信までしばらく待つ。
- ➔ お住まいの地域によっては、番組表データを受信できない場合があります。

▶ 番組表に表示されない放送局がある。

- ➔「セットアップ」の「基本設定」の「地上波設定」で、「手動チャンネル設定」の「アップダウン選局」が「しない」に設定されているため（76ページ）。「する」に設定しなおす。
- ➔ 間違った地域番号が設定されているため。「セットアップ」から「かんたん設定」を選び、正しい地域番号でかんたん設定をやり直す（80ページ）。
- ➔ 番組表データに含まれない放送局は表示されない。

▶ 番組表が更新されない。

- ➔ 更新時の受信状態が悪く、最新の番組表データを受信できなかったため。次の番組表データ受信までしばらく待つ。
- ➔ 番組表データの受信中にチャンネルを切り換えたため。次の番組表データ受信までしばらく待つ。
- ➔ 番組表データを送信している放送局が変わったため。「セットアップ」の「基本設定」で「番組表設定」を選び、「取得チャンネル」を正しい放送局に設定する（30ページ）。
- ➔ 受信時刻にホスト局以外を選んで録画をしていたため、番組表データが受信·更新されなかった（26ページ）。次の番組表データ受信までしばらく待つ。

▶ 番組表に表示されない番組がある。

- ➔ 受信状態が悪いため、すべての番組表データを受信できなかった。次の番組表データ受信までしばらく待つ。
- ➔ 時刻別番組表には、短い番組（5分間の番組など）は表示されないため。チャンネル別番組表を使う（34ページ）。

▶ 間違った放送局名が表示される。

- ➔ 間違った地域番号が設定されているため。「セットアップ」から「かんたん設定」を選び、正しい地域番号でかんたん設定をやり直す（80ページ）。
- ➔ 引越して番組表データを受信できない場合などに、前に受信していた放送局名が表示されることがある。「セットアップ」の「オプション」で「工場出荷設定」（80ページ）を行うと、消すことができる。

録画·予約

▶ 録画中、テレビのチャンネルを変えられない。

- ➔ テレビ本体のチャンネルを見たいチャンネルに切り換える。

▶ 録画ボタンを押しても、すぐに録画が始まらない。

- ➔ 表示窓から「LOAD」、「FORMAT」、「INFOWRITE」が消えてから操作する。

▶ 録画中に■（録画停止）ボタンを押してもすぐに止まらない。

- ➔ 録画が止まる前にHDDやDVDにデータを記録するため、数秒かかる。

▶ 録画中に■（停止）ボタンを押しても、録画が止まらない。

- ➔ リモコンのふたを開け、■（録画停止）ボタンを押す。

▶ 予約したのに録画されていない。予約した内容が途中で切れている。

- ➔ 録画中に停電があった。
- ➔ 1時間以上の停電があり、時計が止まったため。時計を合わせ直す（77ページ）。

➔ 予約した後で、予約したチャンネルをとばして映らないようにした（76ページ）。
➔ コピー防止信号が含まれている映像を録画した。
➔ 後から設定した予約、または優先設定や延長設定をした予約が重なっていた（47ページ）。
➔ ダビング中や、DVダビング中は、予約録画ができない（68、73ページ）。
➔ DVDが入っていなかった。
➔ HDDやDVDの残量が足りなかった。
➔ タイトル数が上限に達しているため録画できなかった。

▶ 以前録画した内容がなくなっている。
➔ パソコンで録画したDVDのデータは、DVDを本機に入れたときに消去されることがある。
➔ 予約リスト内の「自動消去」の設定を「入」にしていた（48ページ）。
➔ 毎回録画を設定している番組で、更新録画が行われた（41ページ）。

▶ Gコード番号が入力できない。予約内容が違う。
➔ 間違ったGコード番号が入力されているため。正しいGコード番号を入力する。
➔ 日付や時刻が正しく設定されているか確認する（77ページ）。
➔ 間違った地域番号が設定されているため。「セットアップ」の「かんたん設定」で正しい地域番号を設定する（80ページ）。
➔ 予約したい放送局が本機に登録されていないため。放送局の受信チャンネルを追加し、そのチャンネルのGコード予約の設定をする（30、44ページ）。
➔ ケーブルテレビ（CATV）は、Gコード予約できないことがある。日時指定予約をする（44ページ）。

本機に接続したチューナー/テレビからの録画

▶ シンクロ録画予約したのに録画されていない。
➔ 本機に接続した機器の電源を切り忘れたため。接続機器の電源を切ってからシンクロ録画予約待機にする（72ページ）。
➔ 入力1端子に接続していないため。シンクロ録画予約する機器は、入力1端子に接続する（18ページ）。
➔ シンクロ録画中に停電があった。

▶ シンクロ録画予約した内容が途中から始まる。
➔ 本機と接続した機器の予約が、本体の予約と重なっていた（72ページ）。

▶ チューナーの電源を入れると、本機が自動的に録画を始めてしまう。
➔ シンクロ録画機能が働いているため。チューナーの電源を切って、リモコンのシンクロ録画ボタンを押す。

再生

▶ 再生できない。
➔ DVDやCDが裏返しに入っているため。再生面を下にする。
➔ DVDやCDが斜めにずれて入っていないか確認する。
➔ 結露しているため。しばらく放置する（89ページ）。
➔ 他機で記録したDVDやCDは、ファイナライズされていなければ本機で再生できない（71ページ）。

▶ 再生がHDDやDVDの最初から始まらない。
➔ つづき再生になっている。ツールボタンを押して「頭出し再生」を選ぶ（54ページ）。
➔ DVDによっては自動的にタイトルメニュー、DVDメニューの画面が出る。

▶ 再生が自動的に始まる。
➔ DVDによっては自動的に再生が始まる。

▶ 再生が自動的に止まる。
➔ DVDによってはオートポーズ信号が記録されているものがある。このようなDVDを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まる。

▶ 停止、早送り/早戻し、スロー再生などの操作ができない。
➔ DVDによっては停止などの操作を禁止している。DVDに付属の説明書もあわせて見る。

▶ 音声言語や字幕、アングルを変更できない。
➔ 再生しているディスクに複数の音声言語や字幕、アングルが記録されていない。
➔ DVDによっては音声言語や字幕、アングルの変更を禁止している。
➔ DVDメニューから操作する（55ページ）。
➔ 本機で録画したタイトルでは字幕やアングルを変更できない。
➔ 本体表示窓に 🎥 が表示されていない場面では、アングルを変更できない（55ページ）。

▶ MP3の再生が始まらない。
➔ MP3フォーマットではないので再生できない。

音声

▶ 音が出ない。
➔ 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認する。
➔ 接続コードが断線していないか確認する。
➔ 本機に接続したアンプの入力を切り換え、本機の音声が出るようにする。
➔ 一時停止、スロー再生、早送りまたは早戻し中は、音声が出ない。
➔ デジタル音声出力（同軸または光）端子から音声が出ないときは、「セットアップ」の「音声設定」にある「音声出力」を確認する（78ページ）。

▶ 音がひずむ。
➔ 「セットアップ」の「音声設定」で「オーディオATT」を「入」に設定する（78ページ）。

次のページにつづく⇨

▶ 音が小さい。

- ➔ DVDによっては、再生時の音量が小さい場合がある。「セットアップ」の「音声設定」で「オーディオDRC」を「テレビ」に設定（78ページ）すると、改善されることがある。
- ➔ 「セットアップ」の「音声設定」で「オーディオATT」を「切」に設定する（78ページ）。
- ➔ サラウンドを「TVS OFF」に設定する（55ページ）。

▶ 音声多重放送の音声が切り換えられない。

- ➔ 音声多重放送（主音声および副音声）の音声をDVD+RWやDVD-RW（ビデオモード）、DVD+R、DVD-Rに記録することはできない。録画/ダビングする前に、「セットアップ」の「オプション」で「DVD二重音声記録」を「主音声」または「副音声」に設定する（80ページ）。
- ➔ 主音声と副音声の両方を記録するには、HDDまたはVRモードのDVD-RW/DVD-Rに録画する。HDDに記録するときは、「セットアップ」の「オプション」で「HDD二重音声記録」を「主＋副音声」に設定する（80ページ）。
- ➔ 外部入力をしているときは、ツールボタンを押して「外部入力音声」から「二重音声」を選ぶ（72ページ）。
- ➔ 電波が弱いためモノラルまたは主音声だけで録画されていた。アンテナの向きを調節するか、別売りのアンテナブースターで電波を増幅する。
- ➔ デジタル音声出力（同軸または光）端子にアンプを接続している場合、HDDまたはDVD-RW（VRモード）で音声を切り換えるには、「セットアップ」の「音声設定」にある「音声出力」で「ドルビーデジタル（HDD/DVDのみ）」を「ダウンミックスPCM」に設定する（78ページ）。
- ➔ 録画するときに「セットアップ」の「基本設定」で「地上波設定」の「自動ステレオ受信」を「入」に設定する（77ページ）。

リモコン

▶ リモコンが働かない。

- ➔ 乾電池が消耗していないか確認する。
- ➔ 乾電池を交換すると、テレビのメーカー設定はお買い上げ時の設定に戻る場合がある。リモコンのメーカー指定ボタンを合わせ直す（32ページ）。
- ➔ リモコンを本体に向けて操作する（13ページ）。
- ➔ 本体とリモコンのリモコンモードが違っているため。同じリモコンモードにする（33ページ）。お買い上げ時は「DVD3」になっている。
- ➔ リモコンを本体から遠いところで操作している。
- ➔ TV/DVDスイッチが「TV」になっている。

▶ 本機のリモコンで操作したら、本機と他のソニー製DVD プレーヤーが同時に動いてしまった。

- ➔ 本機と他機のリモコンモードが同じになっているため。本機のリモコンモードを変える（33ページ）。

▶ リモコンの数字ボタンでチャンネルを選ぶことができない。

- ➔ ソニー製、アイワ製の対応機器以外では、数字ボタンはGコード予約するとき以外使えない。チャンネルは、チャンネル＋/－ボタンで選ぶ。

表示

▶ 時計が止まっている、ずれている。

- ➔ 時計を合わせる（77ページ）。
- ➔ 「セットアップ」から「基本設定」の「時刻設定」を選び、「ジャストクロック」を「入」に設定する（78ページ）。
- ➔ 1時間以上の停電があったため。時計を合わせ直す（77ページ）。

▶ 本体の録画予約ランプが点滅している。

- ➔ HDDやDVDに空きがない。
- ➔ 本機に録画可能なDVDが入っていない。
- ➔ DVDが保護（プロテクト）されている（71ページ）。

▶ 録画モードが正しく表示されない。

- ➔ 10分未満の録画やダビングをしたときや、10分以上でも静止画などの動きの少ない映像では、録画モードを正しく表示できないことがある。設定した録画モードで録画やダビングがされるが、表示が変わることがある。
- ➔ SLP、SEPで録画したタイトルを再生した場合、録画した映像によっては録画モードの表示が変わることがある。

▶ 電源を切っているときに、本機の表示窓に時計が表示されない。

- ➔ 「セットアップ」の「オプション」で「表示窓の明るさ」を「節電」に設定している（80ページ）。
- ➔ 「セットアップ」の「オプション」で「低消費スタンバイ」が「入」に設定され、本機が待機状態である（80ページ）。

▶ アルファベットと数字で5桁の番号が本体表示窓に出ている。

- ➔ 自己診断機能が働いている（85ページ）。

▶ 「LOCKED」が本体表示窓に出ている。

- ➔ ディスクトレイがロックされているため。ロックを解除する（40ページ）。

▶ 「TRAY LOCKED」が本体表示窓に出ている。

- ➔ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

▶ 「RECOVERY」が本体表示窓に出ている。

- ➔ 録画中に停電などで電源が切れてから電源が入ると、本機の修復機能が働くため。表示窓から「RECOVERY」が消えるまで待つ。

▶ 「HDD ERROR」が本体表示窓に出ている。

- ➔ ハードディスクの動作エラーが起きているため。①表示窓に「WELCOME」が表示されるまで約10秒間本体の電源ボタンを押し続け、本機を再起動させる。②それでも解決しないときは、本体表示窓に「FORMAT」が表示されるまで本体HDDボタンを約10秒間押し続けてハードディスクを初期化する。ただし、この操作を行うとハードディスクの記録内容はすべて消えます。③それでも解決しないときは、お客様ご相談センターへご連絡ください（裏表紙）。

▶ 「FAN ERROR」が本体表示窓に出ている。

- ➔ ①本体背面のファンがふさがれていないか確認する。②ふさがれていない状態にして、電源コードを抜く。③しばらくしてから再び電源コードをつなぎ、電源を入れる。

その他

▶ **正常に動作しない。**

➔ 本体表示窓に「WELCOME」が表示されるまで本体の電源ボタンを10秒間押し続け、本機を再起動させる。

➔ 静電気などの影響があったため。①電源を切って本体表示窓に時計が表示されてから電源コードを抜く。②しばらくしてから再び電源コードを接続し、電源を入れる。

▶ **自動的に再起動する。**

➔ 本機に不具合が生じたときに、自動的に再起動することがある。

▶ **⏏(開/閉)ボタンを押してもディスクトレイが開かない。**

➔ DVDに録画や編集をしたとき、ディスクトレイが開くのに数秒かかることがある。これは、本機がDVDにディスク情報を追加しているため。

▶ **⏏(開/閉)ボタンを押してもディスクが取り出せない。**

➔ ①電源を切って本体表示窓に時計が表示されてから、電源コードを抜く。②本体の⏏(開/閉)ボタンを押しながら電源コードを接続し直し、ディスクトレイが出たら⏏(開/閉)ボタンをはなす。③ディスクを取り出した後、本体表示窓に「WELCOME」が表示されるまで本体の電源ボタンを10秒間押し続け、本機を再起動させる。

➔ ロックされている。ロックを解除する(40ページ)。

自己診断機能について(アルファベットで始まる表示が出たら)

本機の異常を未然に防ぐため、自己診断機能が働くと、表示窓にアルファベットと数字で5桁のサービス番号(例:C 13 00)が表示されます。その際は次のように対応してください。

サービス番号(最初の3桁)

▶ C 13

➔ HDDに問題がある。お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

➔ DVDが汚れている。柔らかい布でDVDを拭く(89ページ)。

▶ C 31

➔ DVD/CDが正しく入っていない。DVD/CDを正しく入れ直す。

▶ E XX(**XXは任意の数**)

➔ 異常を未然に防ぐため自己診断機能が働いている。

- お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。その際はサービス番号の5桁全てをお知らせください。(例:E 61 10)

スゴ録 点検シート

「故障かな？と思ったら」(81ページ)をご覧になり、もう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、この点検シートにご記入の上、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください(裏表紙の連絡先へ)。

点検シート ご記入のお願い

1 不具合内容について、該当する項目に✓をご記入ください。

いつ症状が起きますか？
□ 今回が初めて　□ いつも　□ 時々
□ 特定の操作を行なったとき
(具体的に:　　　　　　　　　　)

症状が発生した後、どのような状況になりましたか？
□ リモコン、本機のボタンを操作しても反応しない
□ リモコン、本機のボタンによる操作はできた
□ その他(　　　　　　　　　　)

反応しない場合、本体表示窓に「WELCOME」が表示されるまで本体の電源ボタンを10数秒間押し続け、症状が改善されますか？
□ はい　□ いいえ

2 症状について、「A」から「F」の中から該当する項目に✓をご記入ください。

□ A 電源が入らない

「故障かな？と思ったら」の「電源」(81ページ)をもう一度点検してください。

いつ症状が起きますか？
□ 電源プラグをコンセントにさしてから
□ 電源ボタンを押して画面がでるまでの間
□ その他(　　　　　　　　　　)

画面、表示窓にどのような表示が出ていますか？
(　　　　　　　　　　)

□ B 画面が映らない

「故障かな？と思ったら」の「画像」(81ページ)、「TV/BS受信」(81ページ)をもう一度点検してください。

どの映像が映りませんか？
□ BS放送　□ 地上波放送　□ DV入力端子
□ 映像/音声入力端子(□ S端子　□ 映像コード)

ケーブルテレビ(CATV)をお使いですか？
□ 使用している　□ 使用していない

どのようなコードでテレビに接続されていますか？
□ 映像コード　□ S映像コード　□ D映像コード
□ コンポーネント映像コード
注)機種により使用できるコードは異なります。

本機につないであるアンテナケーブルを直接テレビにつないだとき、画面は正常に映りますか？
□ はい　□ いいえ

□ C 番組表が表示されない

「故障かな？と思ったら」の「番組表」(26, 82ページ)をもう一度点検してください。

どの程度「番組表」が表示されませんか？
□ 全く受信されない　□ 一部のチャンネル　□ 一部の時間帯

過去に受信したことはありますか？
□ 以前は正常に表示されていた　□ 全く表示した事がない

地上波放送は受信できていますか？
□ はい　□ いいえ

ケーブルテレビ(CATV)をお使いですか？
□ 使用している　□ 使用していない

「セットアップ」から「基本設定」の「番組表設定」で、「取得チャンネル」を変えたことがありますか？
□ はい　□ いいえ　□ わからない

□ D 録画ができない

「故障かな？と思ったら」の「録画・予約」(82ページ)、「本機に接続したチューナー/テレビからの録画」(83ページ)をもう一度点検してください。

どの場合に症状が起きますか？
□ HDDへ録画　□ DVDへ録画
□ HDDからDVDへダビング
□ DVDからHDDへダビング
□ DV入力端子からのダビング(□ DVDへ　□ HDDへ)

DVDへ録画/ダビングの場合、どのディスクで起きますか？
□ DVD-R　□ DVD+R　□ DVD-RW　□ DVD+R DL
□ DVD+RW　□ その他
ディスクメーカー名(　　　　)　倍速(　　)

→ 右頁へつづく

→ D 録画ができない(つづき)

DVDへ録画/ダビングの場合、どのようなディスクをお使いですか?
- ☐ 新品　☐ スゴ録で録画したディスク
- ☐ 他の機器で録画したディスク　☐ パソコンで録画したディスク

機種名を教えてください。(　　　　　　)

どのような症状ですか?
- ☐ まったく録画出来ない　☐ 録画できるが途中で止まる
- ☐ 録画できたが再生できない
- ☐ その他(　　　　　　)

どの録画ができませんか?
- ☐ 地上波放送　☐ BS放送
- ☐ 本機の入力端子につないだ他機からの録画
  (☐ 入力1　☐ 入力2　☐ 入力3　☐ DV)
- ☐ その他(　　　　　　)

どの録画モードで症状が起きますか?(複数チェック可)
- ☐ HQ+　☐ HQ　☐ HSP　☐ SP　☐ LSP
- ☐ LP　☐ EP　☐ SLP　☐ SEP

録画はどのようにして行いましたか?
- ☐ 予約録画(☐ 番組表　☐ Gコード　☐ 日時指定)
- ☐ 手動録画(☐ 本体ボタン　☐ リモコンボタン)
- ☐ シンクロ録画　☐ おまかせ･まる録
- ☐ おまかせDVダビング

画面、表示窓にどのような表示が出ていますか?

(　　　　　　)

☐ E 再生ができない

「故障かな?と思ったら」の「再生」(83ページ)をもう一度点検してください。

どのような症状が起きますか?　(複数チェック可)
- ☐ 画像が出ない　☐ 音声が出ない
- ☐ 途中で止まる　☐ メッセージは出る

症状が起きるタイトル数は?
- ☐ 1タイトル　☐ 数タイトル　☐ 全タイトル

どちらで症状が起きますか?　(複数チェック可)
- ☐ HDD　☐ DVD　☐ DV

DVDの場合、どのディスクで起きますか?
- ☐ DVD-R　☐ DVD+R　☐ DVD-RW　☐ DVD+R DL
- ☐ DVD+RW　☐ 音楽CD　☐ DVDソフト
- ☐ CD-R　☐ 8cmDVD　☐ その他(　　　)

DVDの場合、どの機器で録画したディスクですか?
- ☐ スゴ録で録画したディスク
- ☐ 他の機器で録画したディスク
- ☐ パソコンで録画したディスク
  (ソフト名:　　　　バージョン名:　　　)

ディスクのタイトル名を教えてください。〈具体的に〉

(　　　　　　)

書き込みされたディスクメーカー名を教えてください。

(　　　　　　)

☐ F リモコンが働かない

「故障かな?と思ったら」の「リモコン」(84ページ)をもう一度点検してください。

いつ症状が起きますか?
- ☐ 本機の電源が「切」のとき
- ☐ 本機の電源が「入」のとき

リモコンのリモコンモードはいくつですか?
- ☐ DVD1　☐ DVD2　☐ DVD3

本体のリモコンモードはいくつですか?
- ☐ DVD1　☐ DVD2　☐ DVD3

本体のボタンで操作はできますか?
- ☐ はい　☐ いいえ

電池を交換した後、症状は改善されましたか?
- ☐ はい　☐ いいえ

3 その他お気付きの点がございましたら、症状をご記入ください。

4 修理の際に、ハードディスクを初期化して、録画した内容をすべて消去しなければならない場合があります。該当する項目に✓と、お客様のご署名をご記入ください。

ハードディスクの初期化に同意されますか?
- ☐ 同意する　☐ 同意しない(修理できない場合があります)

お客様ご署名 ________________

お客様から記載いただいた署名は、ハードディスクの初期化の同意確認のために使用するものであり、この目的以外の使用は一切行いません。また、いただいた署名は当社が厳重な管理の下で保管し、必要がないと判断した時には、再生不能な形で破棄させていただきます。

■ 弊社サービス担当記入欄 ■

型名:(　　　　　　)

製造番号:(　　　　　　)

本機ご使用地域 ________都･道･府･県

________市･区･町･村

i.LINK(アイリンク)について

本機のi.LINK端子はi.LINKに準拠したデジタルビデオカメラ用DV IN端子です。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。

複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接接続した機器だけでなく、他の機器を介して接続した機器にも、操作やデータのやりとりができます。ただし、接続機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、操作やデータのやりとりができない場合があります。

ちょっと一言

- i.LINK(アイリンク)は、IEEE1394-1995とIEEE1394a-2000を親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。i.LINK、i は商標です。
- IEEE1394は電子技術者協会で標準化された国際標準規格です。

ご注意

- i.LINKは、全対応機器での接続動作を保証するものではありません。i.LINK対応機器間でデータやコントロール信号がやりとり可能かどうかは、それぞれの機器の機能によって異なります。
- i.LINKケーブル(DVケーブル)で本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるDV対応機器と接続するときは、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

i.LINKの最大データ転送速度について

機器によって違い、3種類あります。

　S100(最大転送速度　約100Mbps*)…本機
　S200(最大転送速度　約200Mbps)
　S400(最大転送速度　約400Mbps)

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、i.LINK端子周辺に表記されている場合もあります。転送速度が異なる機器と接続すると、転送速度が表記と異なることがあります。

*** Mbpsとは？**

「Mega bits per second：メガビーピーエス」の略で、1秒間に通信できるデータの容量です。100Mbpsならば、1秒間に100メガビットのデータを送信できます。

本機でのi.LINK操作は

本機のi.LINK端子は、DVC-SD信号の入力専用です。下記とは信号が異なるため、接続できません。

　－MICROMV信号用のi.LINK端子
　　MICROMV方式のデジタルビデオカメラなど
　－MPEG-TS信号用のi.LINK端子
　　BSデジタル対応機器(テレビやチューナー)、SKY PerfecTV!チューナー、D-VHSデッキなど

本機のi.LINK端子の使用方法および対応アプリケーション、接続時のご注意については、21、75ページをご覧いただくと同時に、接続機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

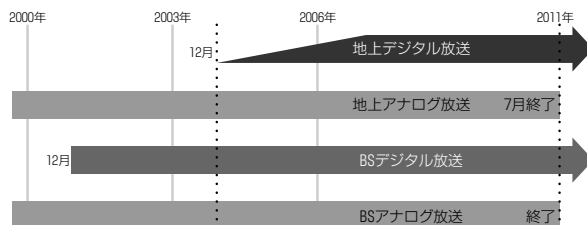
必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください。

4ピン←→4ピン(DVダビング時)

アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始､その他の地域も2006年末までに開始予定です。該当地域での受信可能エリアは、当初は限定、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定しています。

本機でデジタル放送を録画するには

別売のデジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵テレビと、本機を接続すれば、デジタル放送を録画できます(18ページ)。番組によっては、コピー防止信号により、録画や一度録画したタイトルのダビングができない場合があります。デジタルハイビジョン画質では録画できません。

使用上のご注意

設置場所について

次の場所に置かないでください。

- 振動の多い所。
- 直射日光が当る所、湿度が高い所。
- 極端に寒い所。

- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。(チューナーやテレビ、ビデオデッキと一緒に使用時、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいため、屋外アンテナの使用をお勧めします。)

設置場所を変えるときは

DVDやCDを取り出してください。入れたまま動かすと、DVDやCDを傷めることがあります。

結露(露つき)について

結露は、空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きている状態で使用すると、故障の原因になります。

結露がなくなるまで(約1時間)、そのままの状態(電源「入」時は「入」のまま、「切」時は「切」のまま、電源プラグをコンセントに差し込んでいないときは差し込まないまま)で、放置してください。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めるため使わないでください。

音量を調節するときは

再生開始前に、音量を必ず下げてください。上げていると、思わぬ大音量でスピーカーを破損するおそれがあります。

ステレオで聞くときのエチケット

ステレオで音楽を楽しむときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。

窓を閉めたり、ヘッドホンを使ったりなど互いに心配りし、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

クリーニングディスクについて

市販のレンズ用クリーニングディスクは使わないでください。故障の原因になります。

DVDやCDの取り扱い上のご注意

- 再生、録画面に手を触れないように持ちます。

- 直射日光が当るところなど温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- 次のようなディスクは、故障の原因になります。
  - 円形以外の特殊な形状(カード型、ハート型、星型など)をしたディスク
  - 紙やシールの貼られたディスク
  - セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を

「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。
症状が改善されないときは、お客様ご相談センターへご連絡ください(裏表紙)。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

次のページにつづく⇨

部品の保有期間について

当社ではDVDレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：RDR-HX92WまたはRDR-HX82W
- ディスクの種類：DVDビデオ、DVD-RW、DVD+R、DVD-Rなど
- 接続しているアンテナ：VHF/UHF、VHF/UHF/BS混合、CATV
- 接続しているテレビやアンプのメーカーと型名
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：

主な仕様

システム

項目	仕様
形式	DVDレコーダー
信号方式	JEITA標準、NTSCカラー方式
受信チャンネル	VHF：1 ～ 12チャンネル UHF：13 ～ 62チャンネル CATV：C13 ～ C63チャンネル BS：1、3、5、7、9、11、13、15チャンネル
映像受信方式	周波数シンセサイザー方式
音声受信方式	スプリットキャリア方式
アンテナ入出力	地上波：VHF/UHF1軸、75Ω F型コネクター BS-IF：75Ω F型コネクター（コンバーター用電源出力DC15V 最大4W、芯線側＋、メニューにて自動/入/切を切り換え）
タイマー	時計方式：クォーツクロック、12時間デジタル表示 停電補償時間：約1時間
映像圧縮方式	MPEG
音声圧縮方式/ビットレート	Dolby Digital 2チャンネル 256 kbps/128 kbps（SEPモード時）

入・出力端子

項目	仕様
映像入力	入力1、入力2（前面）、入力3/デコーダー入力の3系統、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω
映像出力	出力1、出力2の2系統、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω
S映像入力	入力1、入力2（前面）、入力3/デコーダー入力の3系統、4ピンミニDIN 輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω 色信号：0.286 Vp-p/75 Ω
S1映像出力	出力1、出力2の2系統、4ピンミニDIN 輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω 色信号：0.286 Vp-p/75 Ω
音声入力	入力1、入力2（前面）、入力3/デコーダー入力の3系統、ピンジャック 入力レベル：2 Vrms（入力インピーダンス：22 kΩ以上）
音声出力	出力2系統、ピンジャック 出力レベル：2 Vrms（負荷インピーダンス：10 kΩ）
デジタル音声出力	光：角型光ジャック1系統/-18 dBm（発光波長660 nm） 同軸：ピンジャック1系統/0.5 Vp-p/75 Ω
コンポーネント映像出力	ピンジャック/Y：1.0 Vp-p/75 Ω、P_B/C_B：0.7 Vp-p/75 Ω、P_R/C_R：0.7 Vp-p/75 Ω
D1/D2映像出力	D端子/Y：1.0 Vp-p/75 Ω、 P_B/C_B：0.7 Vp-p/75 Ω、 P_R/C_R：0.7 Vp-p/75 Ω
DV入力	iLINK 4ピン S100 DV IN 1系統
ビットストリーム/検波	検波入力/出力：ピンジャック、0.67 Vp-p/75 Ω ビットストリーム入力/出力：ピンジャック、0.5 Vp-p/75 Ω

電源、その他

項目	仕様
電源	AC100 V、50/60 Hz
消費電力	RDR-HX92W: 67W RDR-HX82W: 64W
許容動作温度	5 ℃～ 35 ℃
許容動作湿度	25 %～ 80 %
最大外形寸法	430 × 85 × 344 mm （幅×高さ×奥行き）最大突起含む
ハードディスク容量	RDR-HX92W: 250ギガバイト RDR-HX82W: 160ギガバイト
本体質量	約5.9kg
付属品	映像・音声コード（1） 電源コード（1） F型コネクター付き同軸ケーブル（1） リモコン（1） 単3形（R6）乾電池（2）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

視聴年齢制限地域/言語コード一覧

詳しくは、79ページをご覧ください。

視聴年齢制限地域コード

使用する地域	地域コード
アルゼンチン	2044
イギリス	2184
イタリア	2254
インド	2248
インドネシア	2238
オーストラリア	2047
オーストリア	2046
オランダ	2376
カナダ	2079
韓国	2304
シンガポール	2501
スイス	2086
スウェーデン	2499
スペイン	2149
タイ	2528
中国	2092
チリ	2090
デンマーク	2115
ドイツ	2109
日本	2276
ニュージーランド	2390
ノルウェー	2379
パキスタン	2427
フィリピン	2424
フィンランド	2165
ブラジル	2070
フランス	2174
ベルギー	2057
ポルトガル	2436
マレーシア	2363
メキシコ	2362
ロシア	2489

言語コード

言語名表記はISO639:1988(E/F)に準拠

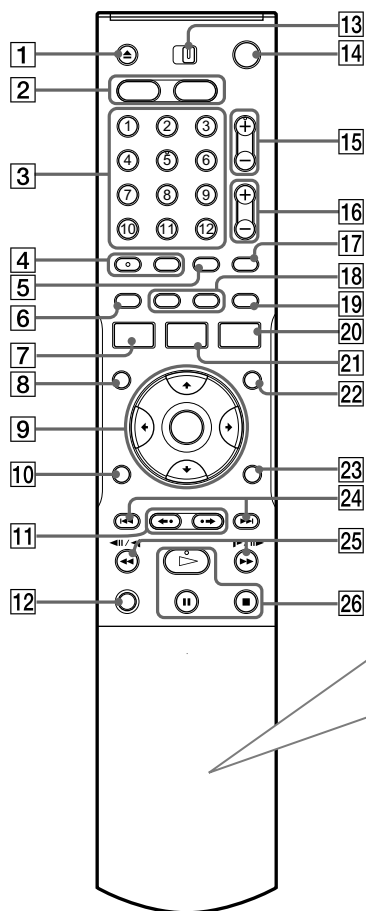
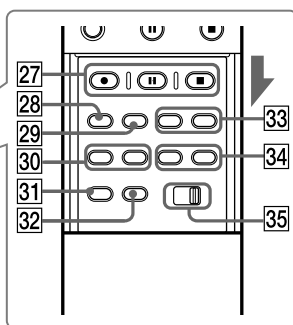
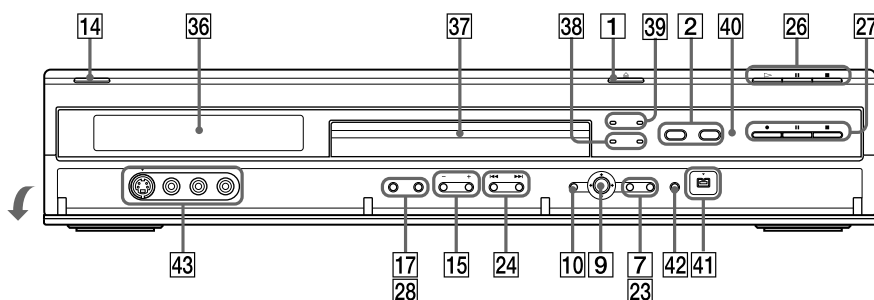
コード	言語
1027	Afar
1028	Abkhazian
1032	Afrikaans
1039	Amharic
1044	Arabic
1045	Assamese
1051	Aymara
1052	Azerbaijani
1053	Bashkir
1057	Byelorussian
1059	Bulgarian
1060	Bihari
1061	Bislama
1066	Bengali; Bangla
1067	Tibetan
1070	Breton
1079	Catalan
1093	Corsican
1097	Czech
1103	Welsh
1105	Danish
1109	German
1130	Bhutani
1142	Greek
1144	English
1145	Esperanto
1149	Spanish
1150	Estonian
1151	Basque
1157	Persian
1165	Finnish
1166	Fiji
1171	Faroese
1174	French
1181	Frisian
1183	Irish
1186	Scots Gaelic
1194	Galician
1196	Guarani
1203	Gujarati
1209	Hausa
1217	Hindi
1226	Croatian
1229	Hungarian
1233	Armenian
1235	Interlingua

コード	言語
1239	Interlingue
1245	Inupiak
1248	Indonesian
1253	Icelandic
1254	Italian
1257	Hebrew
1261	Japanese
1269	Yiddish
1283	Javanese
1287	Georgian
1297	Kazakh
1298	Greenlandic
1299	Cambodian
1300	Kannada
1301	Korean
1305	Kashmiri
1307	Kurdish
1311	Kirghiz
1313	Latin
1326	Lingala
1327	Laothian
1332	Lithuanian
1334	Latvian; Lettish
1345	Malagasy
1347	Maori
1349	Macedonian
1350	Malayalam
1352	Mongolian
1353	Moldavian
1356	Marathi
1357	Malay
1358	Maltese
1363	Burmese
1365	Nauru
1369	Nepali
1376	Dutch
1379	Norwegian
1393	Occitan
1403	(Afan)Oromo
1408	Oriya
1417	Punjabi
1428	Polish
1435	Pashto; Pushto
1436	Portuguese
1463	Quechua
1481	Rhaeto-Romance

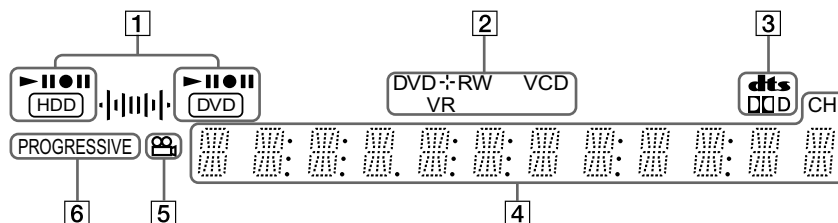
コード	言語
1482	Kirundi
1483	Romanian
1489	Russian
1491	Kinyarwanda
1495	Sanskrit
1498	Sindhi
1501	Sangho
1502	Serbo-Croatian
1503	Singhalese
1505	Slovak
1506	Slovenian
1507	Samoan
1508	Shona
1509	Somali
1511	Albanian
1512	Serbian
1513	Siswati
1514	Sesotho
1515	Sundanese
1516	Swedish
1517	Swahili
1521	Tamil
1525	Telugu
1527	Tajik
1528	Thai
1529	Tigrinya
1531	Turkmen
1532	Tagalog
1534	Setswana
1535	Tonga
1538	Turkish
1539	Tsonga
1540	Tatar
1543	Twi
1557	Ukrainian
1564	Urdu
1572	Uzbek
1581	Vietnamese
1587	Volapük
1613	Wolof
1632	Xhosa
1665	Yoruba
1684	Chinese
1697	Zulu
1703	無指定

各部のなまえ

各部の説明は(　)内のページをご覧ください。
リモコンの上に•印がついているボタンは、TV/DVDスイッチを「TV」に切り換えると、テレビを操作できます。

リモコン

本体前面

1 ⏏(開/閉)(40)
2 HDDボタン(ランプ)(45、54)
DVDボタン(ランプ)(45、54)
3 数字ボタン*(39、44、57)
4 音声*(55)、字幕(55)
5 クリア(39、44、57)
6 予約(44)
7 システムメニュー(10、76)
8 予約リスト(46)
9 ↑↓←→/決定(11)
10 戻る(10)
11 フラッシュ－/＋(55)
12 ビジュアルサーチ(56)
13 TV/DVDスイッチ(32)
14 電源(22、32)
15 チャンネル＋/－*(18、29、45、76)
16 音量＋/－(32)
17 入力切換(32、72、73)
18 トップメニュー、メニュー(55)
19 番組説明(35)
20 番組表(34、40)
21 タイトルリスト(54)
22 おまかせ・まる録(42)
23 ツール(11)
24 ⏮/⏭(前/次)(55)
25 早戻し/早送り、
コマ戻し/コマ送り、スロー(55)
26 ▷(再生)*(54、66)
❚❚(一時停止)(55)
■(停止)(54)
27 ●(録画)(45)
❚❚(録画一時停止)(45)
■(録画停止)(45)
28 録画モード(45)
29 シンクロ録画(72)
30 画面表示(49、61)
時間/テキスト(61)
31 プログレッシブ(55)
32 ワイド切換(32)
33 チャプターマーク 書込み(65)
チャプターマーク 消去(65)
34 アングル(55)
サラウンド(55)
35 リモコンモードスイッチ(33)
お買い上げ時は「DVD3」に設定されています。
36 本体表示窓(49、61)
37 ディスクトレイ(40)
38 録画予約ランプ(41、44)
録画予約が設定されているときに点灯します。
シンクロ録画ランプ(72)
39 録画1/録画2ランプ(46)
録画実行中に点灯します。
40 🅁(リモコン受光部)(13)
41 DV入力端子(21、73)
42 ワンタッチダビング(74)
43 入力2 端子(21)

*のボタンには凸(突起)がついています(リモコンの数字ボタンは「5」のみ、チャンネル＋/－ボタンは「＋」のみ)。操作の目印としてお使いください。

本体表示窓

1 HDD/DVD表示
再生/録画動作を表示します。

2 DVD/CD表示（ディスクの種類）（51、53）

3 音声信号表示（55、61）

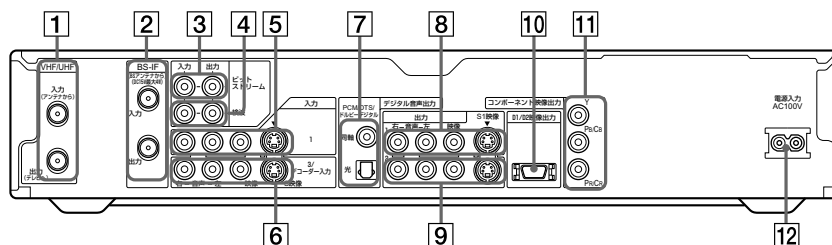
4 主に以下の情報を表示します。
タイトル/チャプター/トラック番号表示（61）
再生経過時間/残量時間表示（61）
録画時経過時間表示（49）
録画モード（50）
ダビング時残り時間表示
現在時刻表示
BSチャンネル表示
チャンネル表示

5 アングル表示（55）

6 PROGRESSIVE表示（55）

ちょっと一言

- 本機の電源が「切」（待機状態）のとき、表示窓が消えるように設定することができます（80ページ）。

本体背面

1 VHF/UHF 入/出力端子（14、15）

2 BS-IF 入/出力端子（14、15）

3 ビットストリーム入/出力端子（19）

4 検波 入/出力端子（19）

5 入力1 音声/映像/S映像端子（18、20）

6 入力3/デコーダー入力 音声/映像/S映像端子（19）

7 デジタル音声出力 同軸/光端子（21）

8 出力1 音声/映像/S1映像端子（16、20）

9 出力2 音声/映像/S1映像端子（21）

10 D1/D2映像出力端子（16）

11 コンポーネント映像出力 Y、PB/CB、PR/CR 端子（17）

12 電源入力端子

索引

五十音順